KENWOOD

Avino

マイクロハイファイコンポーネントシステム

SJ-5WM
KF-7700

MDLP
mp3

SJ-7MS

MDLP
mp3
取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

メモリースティックには、著作権保護技術（Magic Gate（マジックゲート））を搭載したマジックゲート メモリースティックと、汎用のメモリースティックの2種類があります。
本機では、汎用メモリースティックはご使用できません。

この取扱説明書は3機種を共用しておりますので、一部フィーチャー（機能）の異なるものがあります。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-5137-00 00 (CH) (J) CR 0108

はじめに

本機の特長

● CD-R/RW再生機能

● MP3／WMAファイル収録ディスク再生対応

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを再生することができます。

● MDのデジタル長時間録音/再生機能（MDLP対応、LP2、LP4、グループ機能）

標準の2倍（約160分）または4倍（約320分）のデジタル長時間録音/再生ができます。（時間は80分ディスクを使用した場合）

● CD→MD High Speed（倍速）ダビング対応 →67 →70 →80

（High＝ハイ、Speed＝スピード）

● メモリースティックへの録音／再生機能（SJ-7MSのみ）

IC記録メディア・著作権保護機能付きメモリースティック“マジックゲート メモリースティック”に、CD/MD/放送（音声）などから音楽を録音できます。
パソコン内の音楽をUSB接続で、“マジックゲート メモリースティック”にダウンロードし、再生することができます。

● メモリースティックへのパソコン・データ書き込み／読み出し機能 →102

● 多彩なメディア間の組み合わせが可能（3メディア対応機能搭載）*1

CD→MD、CD→メモリースティック*2、メモリースティック→MD*2、MD→メモリースティック*2などの組み合わせによるダビングができます。

*1　メモリースティック機能はSJ-7MSのみ搭載
*2　SJ-7MS専用機能

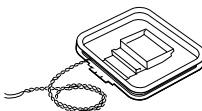
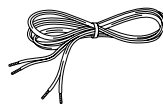
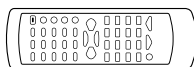
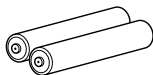
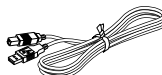
● サンプリング・レート・コンバーター搭載

BS/CSチューナーなど、衛星放送のデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM 室内アンテナ（1本）

AM ループアンテナ（1個）

スピーカーコード（2本）

リモートコントロール（リモコン）ユニット（1個）

リモコン用単3電池（2本）

USBコード（1本）

（SJ-7MSのみ）

付属アプリケーション "Mulia"（1枚）

（SJ-7MSのみ）

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のためにお読みください。

5. 知　識　編

知っていると何かと便利です

- 本書では、ことわりのない限りSJ-7MSの本体およびリモコンのイラストを使用して説明しています。
- 本書では、ことわりのない限りSJ-7MSの表示ディスプレイを使用して説明しています。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

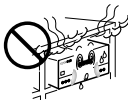
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

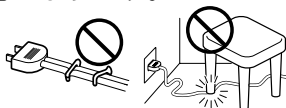
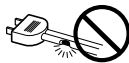
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

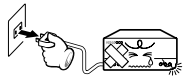
警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

きれいにしましょう

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は放置しない

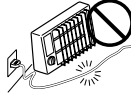
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

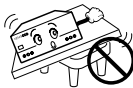
乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

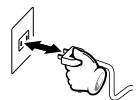
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

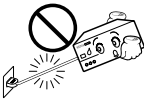
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

2.1 接続のしかた

2.1.1 システム(本体)と付属品の接続

⚠ 注意　接続のご注意

接続をするときは、図のように行なってください。アンテナ、スピーカなどの接続が終了してから、最後に電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

⚠ 注意　設置のご注意

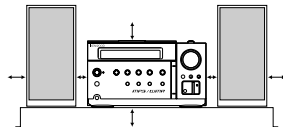
本機底面には放熱用の空気取り入れ口があるため､じゅうたんなど柔らかい平面に本機を置くと空気取り入れ口がふさがれ､充分な放熱効果が得られません。かならず棚の上などかたい平面に置いてください。

マイコンの誤動作について

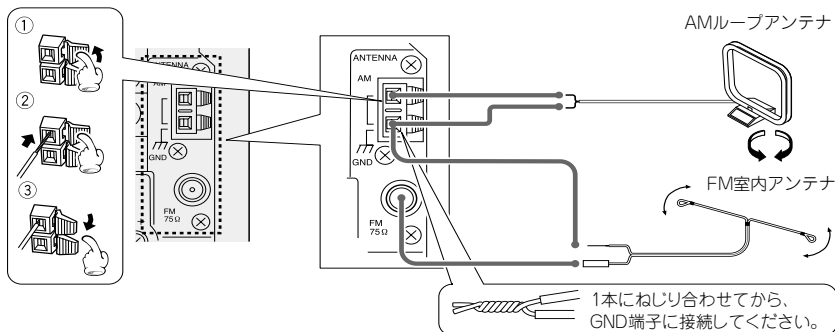
正しく接続したのに動作しなかったり、表示部が誤った表示をする場合は､"マイコンをリセットするには（本体）"を参照してマイコンをリセットしてください。 →143

スピーカー設置について

セット本体とスピーカー

本体とスピーカーは、密着させないでください。少しすき間を設けてください。

テレビとスピーカー

- 本機スピーカーの近くにテレビが設置されている場合、設置の仕方によっては､色ムラを生じる場合があります。この時は､1度テレビの電源を切り､15分～30分後に再び電源をオンしてください｡テレビの自己消磁機能により､色ムラが改善されます｡この後も色ムラが残るような場合には､テレビからスピーカーを離してください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には､スピーカーとの相互作用により､テレビに色ムラが発生することがありますので､設置の際にはご注意ください。
- テレビからの電磁波誘導作用により､本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも､スピーカーから音が聞こえるときがあります｡その場合も､テレビからスピーカーの位置を離してください。

付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本体、テレビ、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続するときは、室内アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のよい位置をさがす
❸ 固定する

スピーカー接続

本体部

右側スピーカー

①

②

③

④

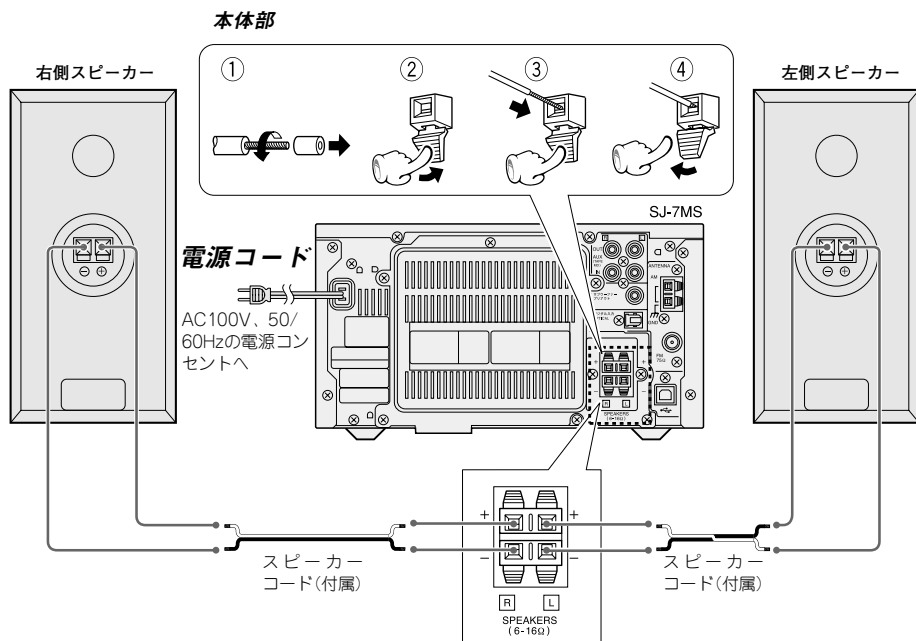
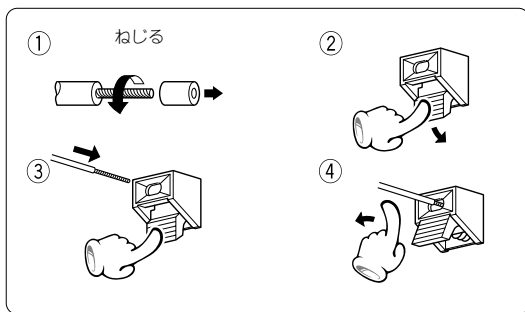
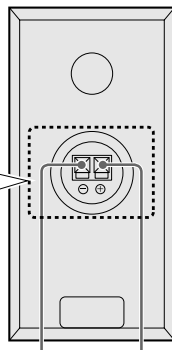
左側スピーカー

SJ-7MS

電源コード

AC100V、50/60Hzの電源コンセントへ

SPEAKERS (6-16Ω)

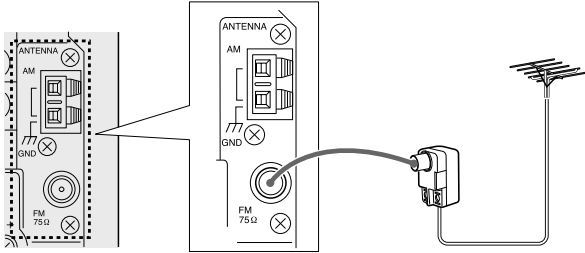
R L

スピーカーコード(付属)

スピーカーコード(付属)

POINT

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
- スピーカーコードの＋とーは絶対にショートさせないでください。
- 極性(＋とー)を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。

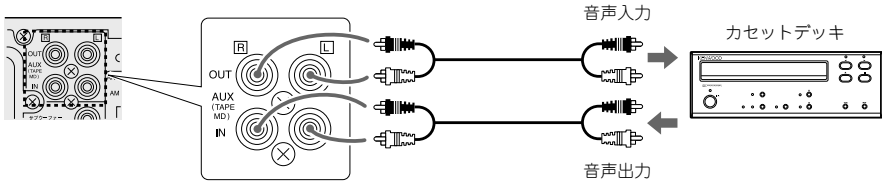
2.1.2 他の機器(別売品・市販品)との接続

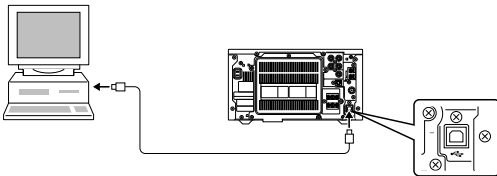
FM屋外アンテナとの接続

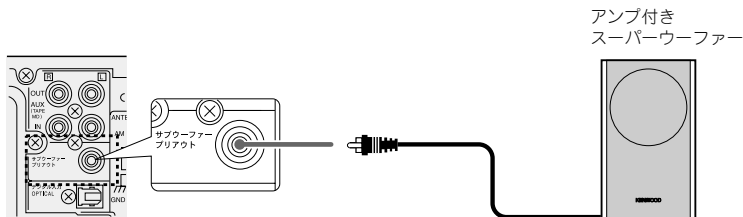
75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠ 注意　屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要なので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因になることがあります。

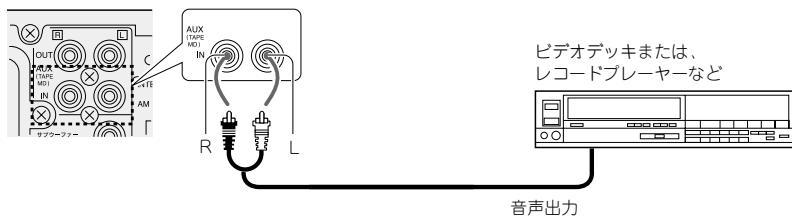
カセットデッキとの接続

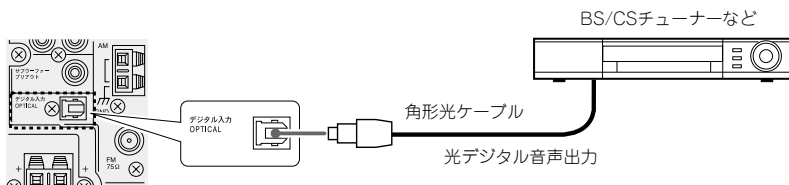
カセットデッキにオーディオ接続コードを使って、本機背面のAUX (TAPE(テープ)) 出力、入力端子に接続します。カセットデッキの取扱説明書も併せてご覧ください。

パソコンの接続 SJ-7MSのみ

パソコンのUSB接続端子と本機のUSB接続端子を接続します。お使いのパソコンの取扱説明書も併せてご覧ください。

アンプ付きスーパーウーファーとの接続

重低音を力強く再生します。どのような再生のときでも使用できます。

外部ソース(音源)機器との接続

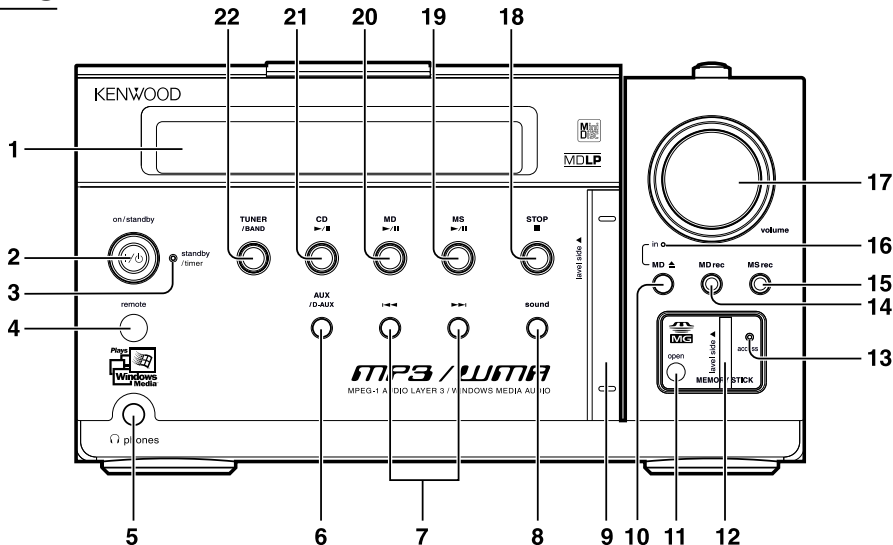
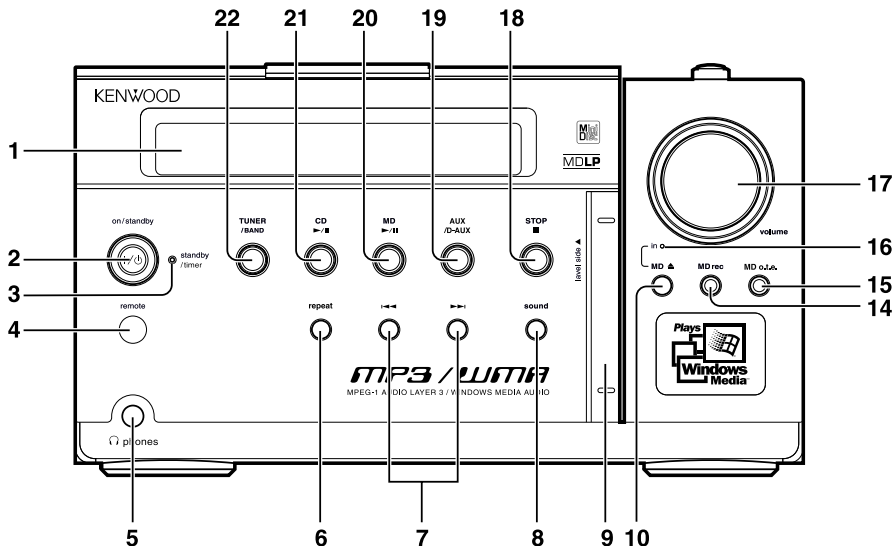
アナログ接続の場合

本機背面のAUX (TAPE)入力 端子を使って、ビデオデッキやRIAAイコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー(P-110)(別売)などを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。

光ジャックは、ゴミ・ホコリからの保護のためにプラグ挿入部にドアカバーが付いています。プラグ側の向きとコネクタ側の向きを確認して、光プラグを差し込みます。ドアカバーが内側に開いて、光プラグが光ジャック部に差し込まれます。

2.2 各部のなまえと働き

2.2.1 本体

SJ-7MS

SJ-5WM/KF-7700

スタンバイ・モード(状態)について

本機は電源プラグがコンセントに接続されているとき、電源をオフにすると**standby/timer**(スタンバイ/タイマー)インジケーターが点灯します。メモリー保護のため、微弱な通電を行っているためです。これを"スタンバイ・モード(状態)"といいます。

- **standby/timer**(スタンバイ/タイマー)インジケーターが点灯しているときは、リモコン操作によっても電源のオンができます。

1 表示ディスプレー
2 on/standby(オン/スタンバイ)キー
電源のオン／オフ(スタンバイ)を切り換えます。→24
3 standby/timer(スタンバイ/タイマー)インジケーター
電源オンのとき　:消灯
電源オフ(スタンバイ)のとき　:赤色の点灯
タイマースタンバイ状態　:緑色の点灯 →20
4 リモコン受光部
5 phones(ホンズ)端子
ステレオミニプラグ付きのヘッドホン(別売)を接続します。→25

SJ-7MS

6 AUX/D-AUX(デジタル)(外部入力)キー
電源オンのとき:
AUX端子、デジタル入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。→13 →14 →65
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源がオンになり、入力がAUX/D-AUXに切り換ります。

SJ-5WM/KF-7700

6 repeat(リピート)キー
CD、MDで繰り返し再生するときに使います。→31 →47
7 ⏮、⏭キー
CD、MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)で再生中のとき:
再生中の曲のスキップに使います。→27 →41 →50
チューナー放送受信中のとき:
プリセット選局に使います。→55
8 sound(サウンド)キー
N.B.1、N.B.2(ナチュラル バス ナチュラル バス)およびOFFを選ぶときに使います。→25
9 MD挿入口
10 MD取出し(⏏)キー
MDを取り出すときに使います。→41 →58
11 メモリースティックカバー(SJ-7MSのみ) →49
12 メモリースティック挿入口(SJ-7MSのみ) →49
13 メモリースティックアクセス(ACCESS)(アクセス)インジケーター(SJ-7MSのみ)
メモリースティックと本体がデータをやりとりしているとき、点滅します。→49
14 MD rec(レコーディング)キー
MDに録音するときに使います。→58

SJ-7MS

15 MS rec(レコーディング)キー
メモリースティックに録音するときに使います。→62 →63

SJ-5WM/KF-7700

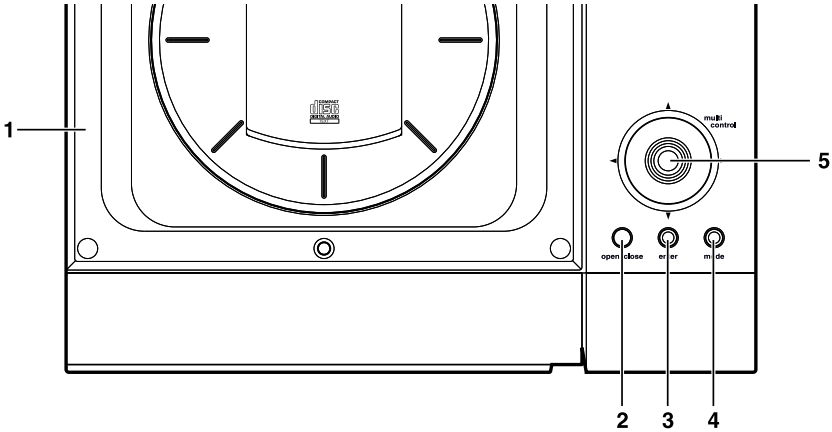
15 MD O.T.E.(ワンタッチエディット)キー
CD再生中に押すと再生中の曲だけを、停止中に押すと全曲をワンタッチでMDに録音します。→67 ～ →82

16 MD INインジケーター
MDディスクがセットされて、再生、録音可能状態になると点灯します。→40
17 volume(ボリューム)ツマミ
音量を調整するときに使います。→24
18 STOP■(ストップ)(停止)キー
電源オフ(スタンバイ)のとき:
5秒間の時計表示をします。→20
CD、MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)で再生中のとき:
再生を停止します。→27 →41 →50
MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)で録音中のとき:
録音を停止します。→59 →64

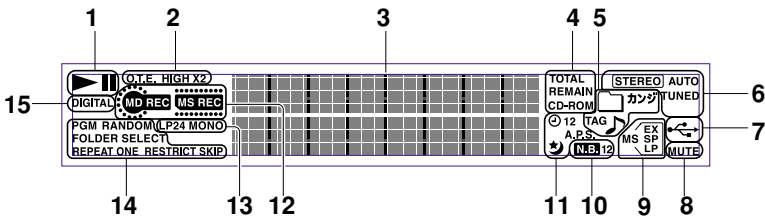
SJ-7MS

19 MS ►/❚❚(再生／一時停止)キー
電源オンのとき:
入力がメモリースティックに切り換わります。→50
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源がオンになり、入力がメモリースティックに切り換ります。→24
メモリースティック入力中のとき:
再生／一時停止に使います。→50

SJ-5WM/KF-7700

19 AUX/D-AUX(デジタル)(外部入力)キー
電源オンのとき:
AUX端子、デジタル入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。→13 →14 →65
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源がオンになり、入力がAUX/D-AUXに切り換ります。
20 MD ►/❚❚(再生／一時停止)キー
電源オンのとき:入力がMDに切り換わります。→40
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源がオンになり、入力がMDに切り換ります。→24
MD入力中のとき:再生／一時停止に使います。→41
21 CD ►/❚❚(再生／一時停止)キー
電源オンのとき:入力がCDに切り換わります。→26
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源がオンになり、入力がCDに切り換ります。→24
CD入力中のとき:
再生／一時停止に使います。→27
22 TUNER/BAND(チューナー/バンド)キー
電源オンのとき:
入力がTUNER(チューナー)に切り換わります。→53
電源オフ(スタンバイ)のとき:
システム電源をオンにして、放送を受信します。→24
放送受信中のとき:放送バンドを切り換えます。→53

1 CDプレーヤーカバー
2 open/close(オープン/クローズ)キー
CDプレーヤーカバーを開閉するときに使います。→26
3 enter(エンター)キー
各機能の設定を確定するときなどに使います。
→20 →21 →22

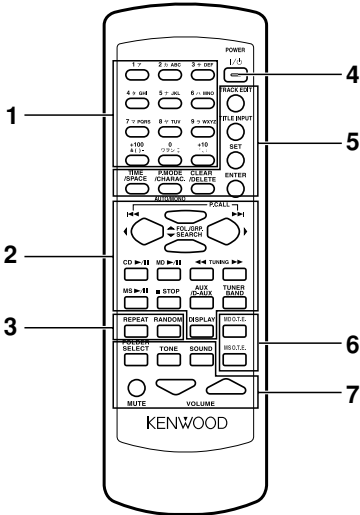
4 mode(モード)キー
各種機能の設定などをおこなうモードに入るときや、モードを解除するときに使います。 →20 →21 →22
5 multi control(マルチ コントロール)キー
各種設定の選択、時刻合わせ、タイマー予約などに使います。 →20 →21 →22

2.2.2 表示ディスプレイ

1 ►(再生)、II(一時停止)表示
2 ワンタッチ録音関連表示
(O.T.E.、HIGH)
3 文字情報表示部
(入力表示、再生時間、タイトル、時間表示など)
4 CD、CD-ROM、MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)関連表示
5 MP3、WMAファイル再生関連表示
"🗀" MDグループ再生のとき点灯します。
"カンジ" MD時タイトル表示が漢字エリア表示にあるとき点灯します。
6 チューナー関連表示
7 外部接続表示(SJ-7MSのみ)

8 MUTE(ミュート)表示
9 メモリースティック録音モード関連表示(SJ-7MSのみ)
10 音質調整関連表示
(N.B.1(ナチュラル バス)、N.B.2(ナチュラル バス))
11 タイマー関連、A.P.S.(オートパワーセーブ)表示
(SLEEP(スリープ)、PROG.(プログラム))
12 MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)録音表示
13 MD REC MODE(レコーディング モード)表示
(LP2、LP4、MONO(モノラル))
14 CD、MD、メモリースティック(SJ-7MSのみ)再生モード表示
15 DIGITAL(デジタル)表示

2.2.3 リモコン

SJ-7MS

SJ-5WM / KF-7700

1 数字、文字入力キー

CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）入力のとき:
数字キーとして使います。 →27 →41 →50
放送受信中のとき:
放送局を呼び出すときまたはプリセットするときに使います。 →55
MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）にタイトル入力するとき：
文字や記号の選択に使います。 →106

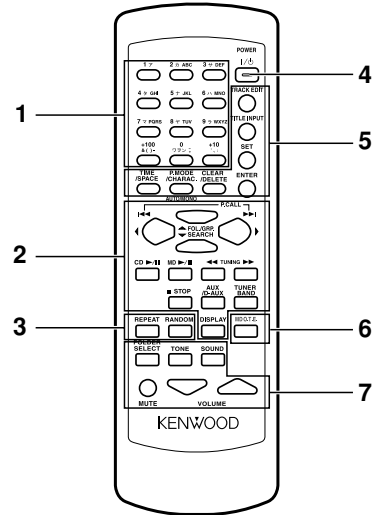
2 基本操作キー

I◄◄、►►Iキー
CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）のとき:
スキップ（曲の飛び越し）に使います。 →27 →41 →50
MDやメモリースティック（SJ-7MSのみ）の編集に使用します。 →103 →109
チューナーのとき:
記憶させた放送局を受信するときに使います。 →55

▲▼FOL.（フォルダ）/GRP.（グループ） SEARCH（サーチ）キー
MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダ、MDのグループを探すときなどに使います。→34 →44

CD ►/II（再生／一時停止）キー
CDの再生／一時停止をするときに使います。 →26 →27

MD ►/II（再生／一時停止）キー
MDの再生／一時停止をするときに使います。 →40 →41

MS ►/II（再生／一時停止）キー（SJ-7MSのみ）
メモリースティックの再生／一時停止をするときに使います。 →49

■STOP（ストップ）（停止）キー
電源オフ（スタンバイ）のとき：
5秒間の時計表示をします。 →20
CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）で再生中のとき：
再生を停止します。 →27 →41 →50
MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）で録音中のとき：
録音を停止します。 →59 →64

◄◄TUNING（チューニング）►►キー
CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）のとき：
早送り、早戻しに使います。 →27 →41 →50
MDやメモリースティック（SJ-7MSのみ）のタイトル入力のとき:
カーソルの移動に使います。 →106
チューナーのとき:放送局の選択に使います。 →53

AUX/D-AUX（外部入力）キー
AUX端子、デジタル入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。 →65

TUNER（チューナー）/BAND（バンド）キー
入力をTUNER（チューナー）に切り換えます。 →53
放送バンドを切り換えます。 →53

DISPLAY（ディスプレイ）キー
CD／MP3／WMA再生のとき:
ディスク情報表示動作を切り換えます。 →28 →33
MD再生のとき:タイトル表示（カナ／漢字）を切り換えます。
録音のとき:録音時間表示を切り換えます。

3 CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）再生関連キー

REPEAT（リピート）キー
CD、MD、メモリースティックでくり返し再生するときに使います。 →31 →47 →52

RANDOM（ランダム）キー
CD、MDで曲順を順不同に再生します。 →31 →47

4 POWER (I / ⏻) キー →24

5 CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）編集関連キー

TRACK EDITキー

MDの曲を編集するとき、曲の入れ換え、消去などに使います。 →111〜→127

メモリースティックの曲を編集するとき、曲の入れ換え、消去などに使います。 →128〜→133

停止時：ERASE、MOVE

再生時：MOVE、ERASE、DIVIDE、COMBINE

MD、メモリースティック録音時、手動でトラック番号を繰り上げるときに使います。 →59 →61 →64

TITLE INPUTキー

MDやメモリースティック（SJ-7MSのみ）にタイトル入力をするときに使います。 →103 →109

SETキー

CD、MD、メモリースティック入力（SJ-7MSのみ）のとき：

各機能設定に使います。

放送受信中のとき:

オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。→54

ENTERキー

MD入力のとき：

MD編集の確定などに使います。 →113〜→127

メモリースティック入力（SJ-7MSのみ）のとき：

メモリースティック編集の確定などに使います。 →128〜→133

放送受信中のとき：

オートプリセット、マニュアルプリセットなどの確定に使います。 →54 →55

TIME/SPACEキー

CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）入力のとき：

再生、録音時間表示を切り換えるときや、タイトル入力（MDやメモリースティック）のとき1文字分の空白を入れます。 →28 →42 →51 →158

P.MODE/CHARAC.（AUTO/MONO）キー

CD、MD、メモリースティック入力（SJ-7MSのみ）のとき：

再生モード（CD、MD）や、入力文字キャラクタの選択（MDやメモリースティック）に使います。

→29 →34 →37 →43 →103〜→107

放送受信中のとき：選局方法を選ぶときに使います。 →53

CLEAR/DELETEキー

CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）入力のとき：

プログラム曲や文字入力の取り消し（MD、メモリースティック）に使います。 →30 →46 →106

6 O.T.E.関連キー

MS O.T.E.キー（SJ-7MSのみ）

CDの再生中に押すと再生中の曲だけを、停止中に押すと、全曲をワンタッチでメモリースティックに録音します。

→83 →85 →87

MD O.T.E.キー

CDの再生中に押すと再生中の曲だけを、停止中に押すと、全曲をワンタッチでMDに録音します。→67〜→82

7 音質関連キー

FOLDER SELECTキー

MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダを選択するときに使います。 →35

SOUNDキー

SOUND OFF、N.B.1、N.B.2を選ぶときに使います。→25

TONEキー

低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。→25

MUTEキー

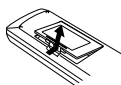
一時的に音を消すときに使います。 →25

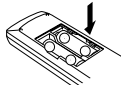
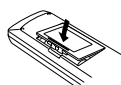
VOLUMEキー

音量、音質の調整に使います。 →24 →25

2.2.4 リモコンの使いかた

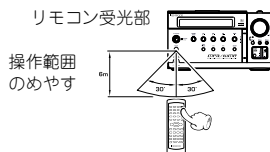
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単3電池2個を極性（＋と－）マークにしたがって入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの POWER(I/⏻) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

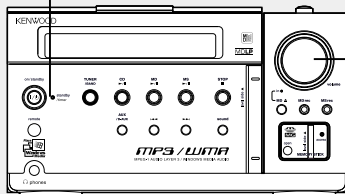
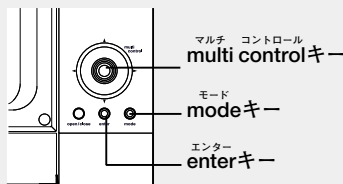
電源をスタンバイにするときは、再度 POWER(I/⏻) キーを押します。

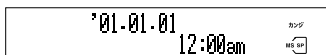
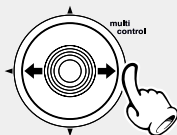
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

POINT

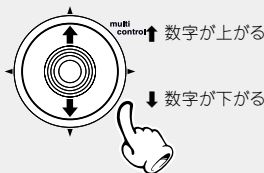
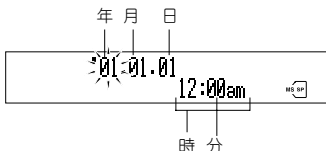
- 付属の電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

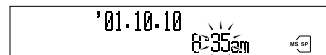
2.3 日付、時間を合わせる・修正する

時計機能以外にも、タイマー機能を使うために時刻合わせが必要です。あらかじめ日付・時刻合わせを済ませてください。

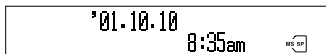
> メモリースティックに記録されている"再生期限付き音楽データ"を再生する場合、時刻設定をしていないと再生出来ないケースがあります。必ず、現在日時・時刻を必ず設定してください。 **SJ-7MSのみ**

1 電源がオンのとき、本体のmodeキーを2秒以上押す

'01.01.01
12:00am

工場出荷時は日付・時間は設定されていません。ご購入後すみやかに設定してください。

2 multi controlキーを左右に操作し、合わせる年、月、日、時、分を点滅させる

年 月 日
'01.01.01
12:00am
時 分

3 multi controlキーを上下に操作し、点滅させた日付、時間を合わせる

'01.10.10
8:35am

時間は12時間（AM/PM）で表示されます。

4 enterキーを押して確定する

'01.10.10
8:35am

時報と同時にenterキーを押すと正確な時刻設定ができます。

POINT

- 設定の途中で間違えたときは、multi controlキーを左右に操作して、合わせる数字の場所を点滅させてからmulti controlキーを上下に操作して数字を直してください。
- 手順で間違えてenterキーを押したときは、手順1からやり直してください。
- タイマー設定後、電源がオフ（スタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、stanby/timerインジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。
- 電源がオフ（スタンバイ）のとき、本体のSTOP■（停止）キーまたはリモコンの■STOPキーを押すと5秒間時刻を表示します。

2.4 モードについて

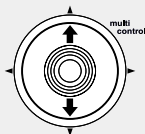
本機での各種機能、操作機能の設定、調整を行うことができます。

2.4.1 モードの操作

❶ mode(モード)キーを押す。

（本体）

❷ 設定したい項目を選ぶ。
本体のmulti(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作します。
（本体）

❸ enter(エンター)キーを押して確定する。
（本体）

❶～❸をくり返し、設定します。

- モードでの各設定を途中でやめる場合はもう一度mode(モード)キーを押します。
- 録音中はモードの切り換えはできません。

2.4.2 モード機能一覧

各「モード名」は設定できる機能です。選択中のソース（音源）により、modeキーを押しても表示されない機能があります。

◎ ： SJ-5WM／KF-7700、SJ-7MSで表示されます。
○ ： SJ-7MSのみ表示されます。SJ-5WM／KF-7700ご使用時は表示されません。
× ： 表示されません。

モード選択時概略と機能組み合せ一覧

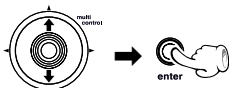
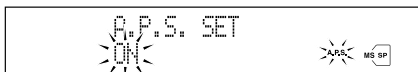
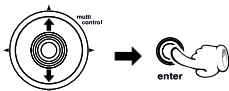
モード名	概略	選択中のソース（音源）				
		SJ-5WM/KF-7700、SJ-7MS				SJ-7MSのみ
		CD	チューナー	MD	AUX/D-AUX	MS
O.T.E. MODE	O.T.E.機能。カンタンな操作でCD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）間の録音ができる機能。→66	○	○	○	○	○
O.T.E. SPEED	カンタンな操作で倍速ダビングや通常のダビング速度を設定できる機能。→66	◎	◎	◎	◎	◎
TITLE COPY	O.T.E.機能を使って録音した後にタイトルコピーをする機能。→69	◎	◎	◎	◎	◎
REC INPUT	CDからMDまたはメモリースティック（SJ-7MSのみ）間の録音モード（DIGITAL又はANALOG）を設定する機能。→59	◎	×	×	×	×
MS REC MODE	メモリースティックの録音モード（SP、LP、EX）を設定する機能。→83	○	○	○	○	○
MD REC MODE	MDの録音モード（STEREO、LP2、LP4、MONO）を設定する機能。→67	◎	◎	◎	◎	◎
MD GROUP MAKE	O.T.E.機能を使って、MDへの全曲ダビング動作時、自動的にグループを作成する機能。→69	◎	◎	◎	◎	◎
RESTRICT SKIP	メモリースティック（SJ-7MSのみ）で再生回数制限付きの曲を無条件でスキップするかどうかを設定する機能。→51	×	×	×	×	○
県名設定	本機を使用してチューナーを受信する都道府県エリアを設定する。また設定したエリアの受信可能な周波数を自動で選局する機能。→54	×	◎	×	×	×
AUX INPUT	外部入力のレベル調整をする機能。→65	×	×	×	◎ ／ ×	×
REC GAIN	外部入力の状況を調整する機能。→61	×	×	×	◎ ／ ×	×
MD D-REC LEVEL	MDへの録音レベルを調整する機能。→61	◎注2	×	×	× ／ ◎	×
BALANCE	左右のスピーカー出力のバランスを調整する機能。→25	◎	◎	◎	◎	◎
CONTRAST	本体の表示部のコントラストを調整する機能。→23	◎	◎	◎	◎	◎
BACK LIGHT	本体表示部のバックライトを調整する機能。→23	◎	◎	◎	◎	◎
A.P.S. SET	AUTO POWER SAVE（約30分機能を何も操作しないときに、自動で電源をオフ（スタンバイ）にする設定機能。→23	◎	◎	◎	◎	◎
TIMER SET	タイマーを使って再生、録音を行う機能。→135	◎	◎	◎	◎	◎
PC CONNECT	USBで接続されたパソコンから音楽データをメモリースティックにチェックイン/チェックアウトする機能。（SJ-7MSのみ）→102	×	×	×	×	○注1

注1）メモリースティック再生中は表示されません。
注2）音楽CD再生中で、尚かつ**MODE"REC INPUT"**を**DIGITAL**に設定されているとき。

AUTO POWER SAVE機能について（本体のみ）

電源がオンのとき、録音も再生もしていない状態で、約30分以上放置すると自動的に電源がオフ（スタンバイ）になる機能です。次の操作で、使う（ON）／使わない（OFF）を選びます。

❶ modeキーを押す。

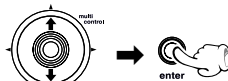
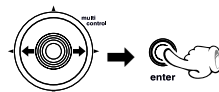
❷ multi controlキーを上下に操作して、"A.P.S. SET"を選択し、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して、"ON"または"OFF"を選択し、enterキーを押す。

- この機能が設定されているときは、表示部に**"A.P.S."**が点灯します。
- ソース（音源）がTUNERまたはD-AUX、AUXの場合、音量が**"0"**のときに限りオートパワーセーブが働きます。

表示部の調節について（本体のみ）

CONTRASTの調節

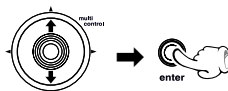
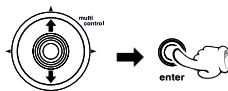
本体表示部のコントラストを調節することができます。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して、"CONTRAST"を選択し、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを左右に操作して、お好みのコントラスト（0～10）を選び、enterキーを押す。

BACK LIGHTの調節

本体表示部の明るさを調節することができます。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して、"BACK LIGHT"を選択し、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して、お好みの明るさ（"HIGH"、"LOW"）を選択し、enterキーを押す。

- SLEEPタイマー動作中は、BACK LIGHTの調節をすることはできません。

3.1 基本的な使いかた

- 本書では、ことわりのない限りSJ-7MSの本体およびリモコンのイラストを使用して説明しています。
- 本書では、ことわりのない限りSJ-7MSの表示ディスプレイを使用して説明しています。

（本体）　（リモコン）

1 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときにon/standbyキー（リモコンではPOWER I / ⏻ キー）を押すとオフ（スタンバイ）になります。

- TUNER/BAND、CD►/II、MD►/II、MS►/IIキーまたは、AUX/D-AUXキーを押しても、電源がオンになり、再生（受信）します。（ワンタッチオペレーション機能）
- CD、MD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）を選んだとき、すでにディスクやメモリースティックが入っている場合は、再生が始まります。

（本体）
（例）CDを選んだ場合

（リモコン）
CD ►/II

2 聴きたいソース（音源）を選ぶ

(入力を切り換える)	ソース表示
CD	CD → 27
MD	MD → 40
メモリースティック（MS）	MS → 49
TUNER（ラジオ放送）	FM AM → 53
AUX（外部アナログ機器）	AUX → 65
D-AUX（外部デジタル機器）	D-AUX → 65

► CD 00 2:19

- CD ►/II、MD ►/II、MS ►/IIを押すとディスクの再生が始まります。CD、MDが入っていない場合は、"NO DISC"メモリースティックが入っていない場合は"NO STICK"が表示されます。

（本体）
音量を下げる　音量を上げる

（リモコン）
VOLUME

3 音量を調節する

- 早く回すと、変化量が大きくなります。（AI VOLUME機能）
- 表示部に目安の数字（0～40 MAX.）が表示されます。

目安の数字

一時的に音を消す（MUTE）（リモコン）

点滅

- 元の音量に戻すにはもう一度MUTEキーを押します。
- volume（本体）つまみまたはVOLUME（リモコン）キーで音量を操作したときもミュートが解除されます。

ヘッドホン（別売）で聴く

❶ ヘッドホンのプラグをphones端子に差し込む。

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

❷ volume（本体）つまみまたはVOLUME（リモコン）キーで音量を調整する。

- プラグの抜き差しをするときは、あらかじめ音量を下げておいてください。

音質の調節（TONE）（リモコン）

低音域（BASS）、中音域（MID）、高音域（TREBLE）の調整ができます。調整をした場合はN.B.（ナチュラルバス）効果は解除されます。

❶ TONEキーを押す。

押すたびに表示が切り換ります。

- BASS .... 低音域
- MID .... 中音域
- TREBLE .... 高音域

❷ 各音域表示中にVOLUMEキーでレベルを設定する。

- BASS、MID、TREBLEともに-4～+4の範囲で調整できます。
- 本体のvolumeツマミでは調整できません。

❸ TONEキーを押して、調整を終了する。

低音と高音を補正する（N.B. : Natural Bass）

（本体）　　sound

（リモコン）　　SOUND

N.B.1
点灯

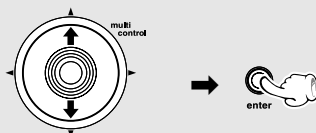
押すたびに表示が切り換わります。

① "N.B.1" .... 音量に応じて低音と高音を強調します。
② "N.B.2" .... 低音のみ強調します。
③ "SOUND OFF" .. 補正をオフします。

バランスの調整（BALANCE）（本体）

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"BALANCE"を選び、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを左右に操作して、左右のバランスを調整する。

- multi controlキーを左に操作して左（L）側、右に操作して右（R）側の出力を上げて調整します。

❹ enterキーを押す。

3.2 CDを聴く

本機では、次のような再生操作が出来ます。

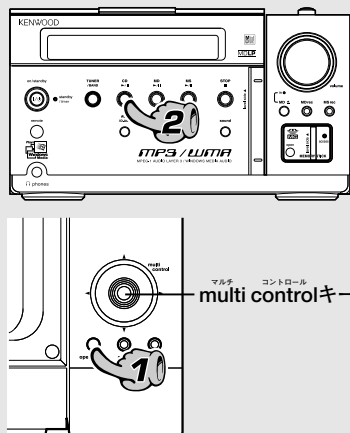
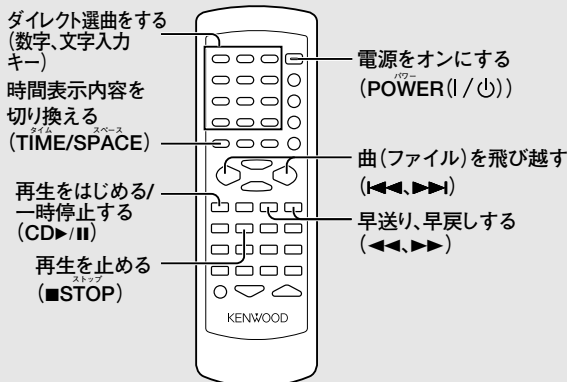
- 通常再生(トラック再生):基本操作→26
- プログラム再生　:曲を並べ換えて再生する→29
- 繰り返し曲を再生する"リピート機能"→31
- 曲順不同で曲を再生する"ランダム機能"→31

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CD-G/CD-EG(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

3.2.1 CDの通常再生(トラック再生)

再生面には、触れないでください。

CD プレーヤーカバーを直接手で開閉しないでください。無理にCD プレーヤーカバーを開閉すると、故障の原因になります。

1 open/closeキーを押し、CDプレーヤーカバーをあける

2 ディスクを入れ、open/closeキーを押し、CDプレーヤーカバーを閉める

- 数秒間"READING"と点滅表示されます。
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- CDプレーヤーはファイナライズ処理済みのCD-R/RWも再生できますが、オーディオ信号以外のディスクは再生できません。

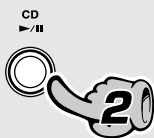
ディスクの置きかた
ディスクは、正しく置いてください。(ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。)

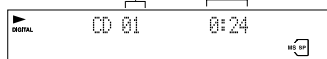
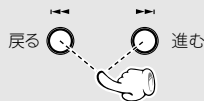
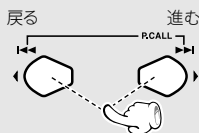
⚠ 注意　レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

（本体）

CD ►/II

（リモコン）

CD ►/II

3 再生をはじめる

● トラック番号が表示されているディスクの再生がはじまります。
● CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

曲を飛び越す（スキップ）

● 再生中に|◄◄または►►|キーを押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。再生中の前曲に戻るには、|◄◄キーを連続して素早く押します。
● 再生中に|◄◄キーを1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
● 停止中でもリモコンの|◄◄または►►|キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

好きな曲から聞く（リモコン）

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

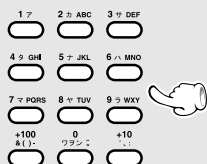
早送り・早戻しする（リモコン）

早戻し　早送り

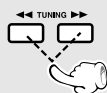
● 再生中に押しつづけ、手を離したところで再生に戻ります。
● 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

再生／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

ディスクを取り出す

（本体）

CDプレーヤーカバーを直接手で開閉しないでください。無理にCDプレーヤーカバーを開閉すると、故障の原因になります。

CDプレーヤーの時間表示について

リモコンのみ

TIME/SPACEキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

再生中の曲の経過時間 ....
CD 02 0:07

再生中の曲の残り時間 ....
CD 02 4:53 REMAIN

ディスク全体の経過時間 ....
CD 02 5:07 TOTAL

ディスク全体の残り時間 ....
CD 02 54:53 TOTAL REMAIN

プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"- - - : - -" と表示され時間表示ができません。

タイトル表示について

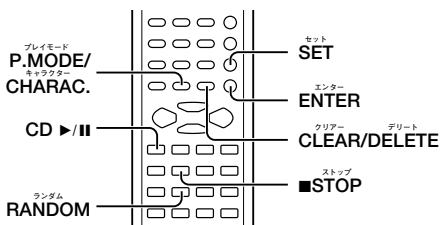
リモコンのみ

CD TEXT対応ディスクを再生する場合、CD再生中(または停止中)にDISPLAYキーを押すと、CDに記録されている文字情報を表示部に再スクロールすることができます。

CD-TEXT情報表示の際、CD再生中は曲のタイトルが、CD停止中はディスクタイトルがスクロール表示されます。

全角文字(日本語)と半角文字(英数字)が入っているCD TEXT対応ディスクは自動的に全角文字(日本語)が選択されます。

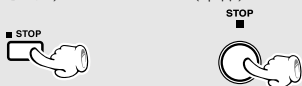
3.2.2 CDのプログラム再生

CDの中から好きな曲を、好きな順序で再生する機能です。

入力切り換えを"CD"にする→26

曲順をプログラムする

1 停止を確認する（再生中のとき）

■STOPキーを押す（本体STOP■キー）。

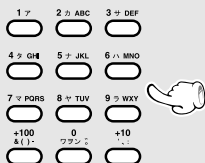
（リモコン）　（本体）

2 P.MODE/CHARAC.キーを押し、プログラム再生を選ぶ（リモコン）

"PGM"を点滅する。

PGMが点滅

3 聴きたい順に曲を選ぶ（リモコン）

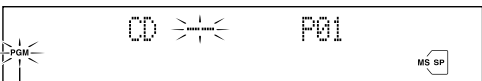
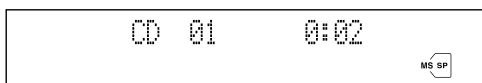
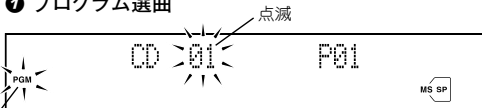
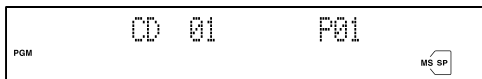
❶ 数字キーで曲番号を選ぶ。

曲番を選んだ後、20秒以内にSETキーを押してください。

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

❷ SETキーを押す。

2曲以上の曲をプログラムするときは、この操作を繰り返します。

❶ プログラム選曲

❷ プログラム確定

- 確定後、時間表示に切りかわります。
- 曲番号は|◄◄,►►|キーでも選ぶことができます。
- "PROGRAM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 最大32曲までプログラム登録できます。
- トラック番号表示の点滅中20秒以内にSETキーを押さないと入力が中止されます。

4 再生する

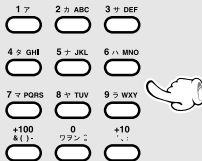
CD▶/❚❚キーを押す。

（リモコン）　　　　　　（本体）

- プログラムで選んだ順（PGM-番号順）に再生します。
- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

停止中に押す

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ。（リモコン）

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

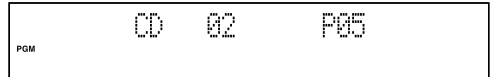
20曲目なら .... +10, +10, 0

❷ SETキーを押す。

（リモコン）

2曲以上の曲を追加でプログラムするときは、この操作を繰り返します。

- 追加したい曲はプログラムの最後に追加されます。

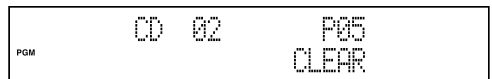
CD　02　　P05
PGM

- 曲番号は⏮、⏭キーでも選ぶことができます。
- 32曲（ファイル）まで選べます。**"PROGRAM FULL"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

プログラムした曲を取り消すには（リモコン）

CLEAR/DELETEキーを押す。

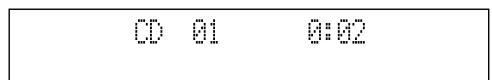
停止中に押す

- **CLEAR/DELETE**キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

CD　02　　P05
PGM　　CLEAR

通常再生に戻すには（プログラムを解除）（リモコン）

P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させる。

停止中に押す

CD　01　　0:02

POINT ● 電源をオフ（スタンバイ）にすると、プログラム再生は解除されます。

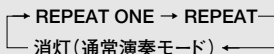
3.2.3 その他の再生機能（リモコンのみ）

リピート機能

- 曲を繰り返し聴く機能です。
- REPEATキーを押し、希望のCDを繰り返し再生します。
- SJ-5WM／KF-7700には本体にもrepeatキーがあります。

CDの通常再生（トラック再生）時；

❶ 停止を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPAET ONE"（1曲リピート動作）"REPEAT"（全曲リピート動作）を選ぶ。

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

※ ランダム機能が働いている時、リピート機能切換作業を行うと、REPEAT ONE機能はなくなります。

CDのプログラム再生時；

❶ 停止を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPEAT"（プログラム曲リピート動作）を選ぶ。

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

ランダム機能

- 順不同に曲を聴く機能です。
- RANDOMキーを押します。

CDの通常再生（トラック再生）時；

❶ 停止を確かめる。
❷ RANDOMキーを押す。

- RANDOMキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

CDのプログラム再生時；

ランダム機能は、働きません。

ランダムリピート機能

順不同に曲を繰り返し聴く機能です。

CDの通常再生（トラック再生）時；

ランダム再生中にREPEATキーを押して"REPEAT"表示を点灯させる。

- ランダムリピートをやめるときは、REPEATキーを押して"REPEAT"表示を消灯させます。繰り返しが終り、元のランダム再生に戻ります。

CDのプログラム再生時；

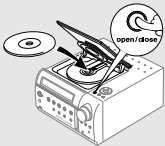
ランダムリピート機能は、働きません。

3.3 MP3／WMAファイル収録ディスクを聴く

本機では、次のような再生動作ができます。

- 通常再生(トラック再生) →基本操作→32
- フォルダ再生 →フォルダ再生→34
- FOLDER SELECT機能による再生 →選択フォルダ再生→35
- プログラム再生 →曲を並び換えて再生→37
- 繰り返し曲を再生するリピート機能→39
- 順不同で曲を再生するランダム機能→39

3.3.1 MP3／WMAファイル収録ディスクの通常再生

MP3／WMAファイル収録ディスクをオーディオCDと同様に収録された順序で再生します。

1 ディスクを入れる

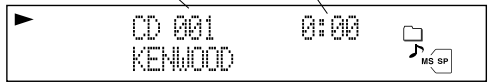
CDプレーヤーにディスクを入れます。→26

（本体)）

（リモコン

CD ►/II

2 再生をはじめる

再生中のファイル番号　再生中のファイルの経過時間

- 選択中のフォルダにファイルがあるときは、"♪"が点灯します。
- 選択中のフォルダにファイルがないときは、"NO FILES"が表示されます。
- 次の階層にフォルダがあるときは"□"が点灯します。
- ファイルは収録された順序で再生されます。
- 各ファイル再生時、ディスク情報を表示し、DISPLAYキーで切り換えられます。

再生/一時停止する

（本体）　（リモコン）

CD ►/II

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

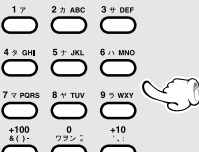
再生を停止する

（本体）　（リモコン）

STOP ■

好きなファイルから聴く

リモコンのみ

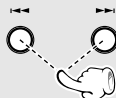
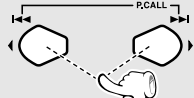
ファイル番号で選ぶ

数字キーを押す順序は

ファイル番号12を選ぶ ...... +10, 2

ファイル番号20を選ぶ ...... +10, +10, 0

ファイル番号213を選ぶ .... +100, +100, +10, 3

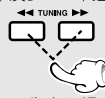
- 数字キーを押すと自動的に再生が始まります。

ファイルを飛び越す

（本体）　（リモコン）

- 押した方向に飛び越して、選んだファイルの最初から再生します。
- 再生中に⏮キーを押すと、そのファイルの最初に戻ります。
- さらに手前のファイルにスキップするときは素早く⏮キーを押します。
- 停止中でも⏮、⏭キーを押してファイルをスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

（本体）

早送り・早戻しする(リモコン)

早戻し　早送り

- 再生中に押しつづけ、手を離したところで再生に戻ります。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

補足

本機では音楽用CD以外に、MP3/WMAファイル型式で記録されたCD-R、CD-RWディスクの再生ができます。MP3／WMAファイル収録ディスクではディレクトリ構造を持ったフォルダから構成されていて、ファイルはフォルダ内に格納されています。

CD-R、CD-RWディスクについて

- お客様が編集したCD-R、CD-RWディスクは、ファイナライズされているディスクのみ本機でご使用いただけます。
- ファイナライズされていないディスクを使用すると、表示ディスプレイに**"CHECK DISC"**が表示されます。
- ディスクの特性･記録状態･傷･汚れなどにより、本機で再生できないことがあります。

MP3/WMAファイルについて

- MP3やWMAファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンでそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込まれたファイルは正しく再生されることを確認してください。
- MP3やWMAファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、音楽用CDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させせることができます。複数のジャンルやアーチストの曲を1枚のメディアに収録するときは、ジャンルやアーチスト、アルバム別のフォルダに分けてから収録すると検索やリピート再生をするときに便利です。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。
- MP3やWMAの圧縮ソフトによっては、それぞれのファイルの付加情報として、タイトルやアーチストまたはその他の情報を音声ファイルといっしょに保存することができます。
- 書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

MP3／WMAファイル収録ディスク情報の表示について

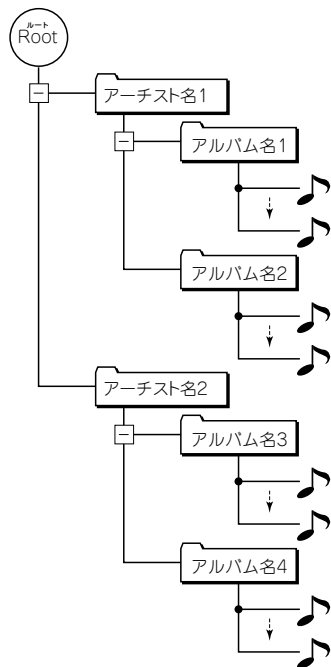
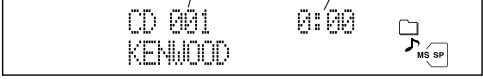
リモコンのみ

再生中、DISPLAYキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

再生中:

- ファイル名 ....MUSIC.MP3 または MUSIC.WMA
- TAG情報（タイトル）............TITLE:MY MUSIC
- TAG情報（アーチスト）........ARTIST:KENWOOD
- 再生フォルダタイトル ....MUSIC

- **".MP3"**はMP3のファイルを、**".WMA"**はWMAのファイルであることを表示しています。
- 各タイトル名称はスクロール表示されます。
- TAG情報（タイトル）がスクロール表示するときは、タイトル名の前に**"TITLE:"**がつきます。
- TAG情報（アーチスト）がスクロール表示するときは、アーチスト名の前に**"ARTIST:"**がつきます。

フォルダ概念図

POINT

- MP3／WMAファイル収録ディスクは、再生スタート直後のディスク情報読み取り処理に時間がかかります。
- 現在のフォルダから前または次のフォルダに移動（FOLDER SEARCH／FOLDER SELECT機能）するとき、ディスクのフォルダ数やフォルダ構成によって、時間がかかる場合があります。
  フォルダ数を30位に抑え、右イラストのようなフォルダ構成でディスクを作成することをお奨めします。
- WMAファイル収録ディスクで著作権管理が有効設定されているファイルは、**"PROTECED FILE"**と表示され、次のファイルへ移動します。

3 基礎編

3.3.2 フォルダ再生

選択したフォルダ内のファイルを再生する機能です。選択したフォルダ内にある下位階層フォルダは再生しません。

フォルダ再生に切り換えるには

1 停止を確認する

2 P.MODE/CHARAC.(プレイモード/キャラクター)キーを押し、"FOLDER(フォルダ)"を表示させる

- P.MODE/CHARAC.(プレイモード/キャラクター)キーを押すごとに表示が切り換ります。

表示なし .... 通常再生
FOLDER(フォルダ) .... フォルダ再生
PGM(プログラム) .... プログラム再生

3 ⬍FOL./GRP. SEARCH(フォルダ/グループ サーチ)キーを押してフォルダを選び、CD►/IIキーを押す。

フォルダ名を確認しながら、▲、▼キーを押して、フォルダを選ぶ。

- ファイルのないフォルダはスキップされます。
- ファイル数およびフォルダ階層の状態によっては、フォルダサーチに時間がかかる場合があります。

3

基礎編

再生操作

再生

再生／一時停止、フォルダ内ファイルの飛び越し、曲早送り／早戻し、停止が行なえます。基本再生・操作説明部分を参照してください。
ファイルの飛び越しは、フォルダ内に限られます。他のフォルダ内ファイルへの飛び越しには、再生するフォルダを選択し直す必要があります。
フォルダ内最後のファイルの再生が終ると停止します。
フォルダ再生・停止時は、選択しているフォルダ内最初のファイル(ファイル番号が最も小さいファイル)に戻ります。
再生するフォルダを変更する。

ファイル"♪"およびフォルダ"🗀"の表示について

MP3／WMAファイル収録ディスク使用時、ファイル"♪"およびフォルダ"🗀"は次のように点灯します。

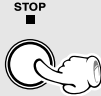
♪ ：ディスクにファイルがあるときに点灯します。
🗀 ：現在のフォルダの次の階層に、フォルダがあるときに点灯します。

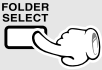
フォルダセレクト操作(→35)によるフォルダ選択中の表示：

♪ ：選択中のフォルダにファイルがあるときに点灯します。ファイルがないときは**"NO FILES(ノー ファイルズ)"**が表示されます。
🗀 ：現在のフォルダの次の階層に、フォルダがあるときに点灯します。

3.3.3 FOLDER SELECT機能による再生

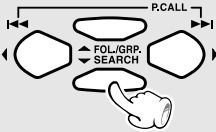
任意にフォルダを選択し、選択したフォルダ内及びその下位階層フォルダ（子フォルダ／孫フォルダ）内にあるファイルを全てファイル番号順に、最小ファイル番号のファイルから再生できます。
ファイルを持たないフォルダも選択可能です。

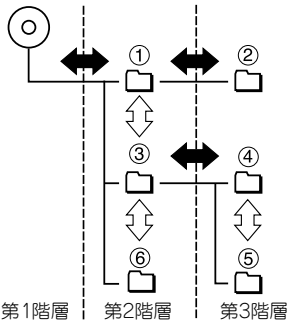
（リモコン）　（本体）

1 停止を確認する

（リモコン）

2 FOLDER SELECTキーを押す

現在のフォルダタイトル

- 現在のフォルダタイトルが表示されます。
- フォルダセレクトをキャンセルしたいときは、FOLDER SELECTキーをもう一度押して、**"FOLDER SELECT"**を消灯させます。

（リモコン）

3 ◀キー・▶キー・▲キー・▼キーを操作し、希望のフォルダを選ぶ

ディスク内の各フォルダを自由に選ぶことができます。

4 SETキーまたはCD ►/IIキーを押す

フォルダタイトル

- 例えば、前述の図でフォルダ"③"を選んだときは、ファイル"♪003"から再生が始まります。
- 選んだフォルダにファイルがない場合は、次のフォルダのファイルが再生されます。
- 選択しているフォルダ内全ファイル再生後、自動的に再生が停止します。例では、"♪003"～"♪005"が再生されます。

再生/一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

- 第一階層（ROOT）に戻ります。

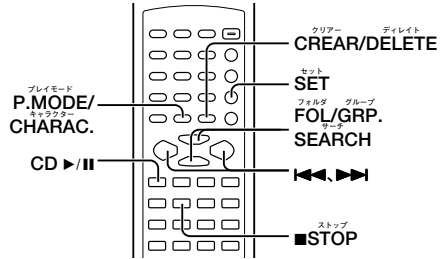
ディスクを取り出す

MP3／WMAファイル収録ディスク情報の表示について

リモコンのみ

DISPLAYキーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

3.3.4 MP3／WMAファイル収録ディスクのプログラム再生（リモコンのみ）

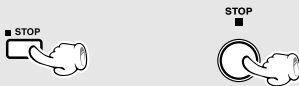
MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダおよびフォルダ内のファイルを、好きな順序で再生する機能です。ファイルとフォルダ合わせて32までプログラム登録できます。

入力切り換えを"CD"にする→26

曲順をプログラム再生する

1 停止を確認する

再生中のとき

■STOPキーを押す（本体はSTOP■キー）。

（リモコン）　（本体）

2 P.MODE/CHARAC.キーを押し、プログラム再生を選ぶ

"PGM"を点滅させる。このとき"FOLDER SELECT"が点灯する。

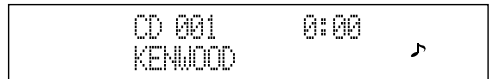
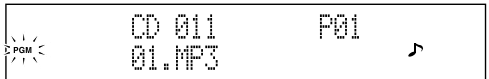
点滅

3 聴きたい順にフォルダ／ファイルを選ぶ（リモコン）

❶ ◄キー・►キー・▲キー・▼キーを操作し、フォルダタイトルを確認しながら希望のフォルダを選ぶ。SETキーを押し確定する。
20秒以内に手順❷を行う。

❷ ◄◄、►►キーを押し、聴きたいファイルを選ぶ。SETキーを押し確認する。
20秒以内に手順❸を行う。

❸ 手順❶～❷を繰り返す。

CD 011 P01
PGM
01.MP3

- 選んだフォルダ内に別のフォルダがあるときは"□"が点灯します。
- 選んだフォルダ内にファイルがあるときは"♪"が点灯します。
- 選んだフォルダにファイルがないときは"NO FILES"と表示されます。
- 1プログラム番号に「フォルダ内のファイル」または「下位階層フォルダのファイルも含めた全ファイル」を一括登録可能です。ファイル選択の操作中は、"FOLDER ONLY"または"FOLDER ALL"を選び確定する。

FOLDER ONLYを選んだとき

フォルダ内の最小ファイル番号
‥
FOLDER ONLY（選んだフォルダ内の全ファイル）
FOLDER ALL（選んだフォルダと、その下層に属する全フォルダと全ファイル）

- フォルダとファイル合わせて32まで登録することができます。

3 基礎編

4 再生する

CD►/❚❚キーを押す。

（リモコン）

（本体）

- プログラムで選んだ順（**PGM-**番号順）に再生します。
- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、プログラムした順にファイルを飛び越します。
- 再生中に⏮キーを1回押すと、再生中ファイルの最初に戻ります。
- **DISPLAY**キーを押して、ディスクタイトルなどの情報を見ることができます。→33

フォルダまたはファイルを追加するには

停止中に押す

手順3を行い、フォルダまたはファイルを選ぶ。

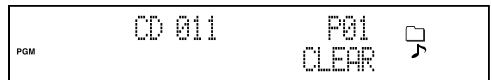
- 32（フォルダ＋ファイル）まで選べます。**"PROGRAM FULL"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けられません。

プログラムしたフォルダまたはファイルを取り消すには（リモコン）

CLEAR/DELETEキーを押す。

停止中に押す

- **CLEAR/DELETE**キーを押すたびに、最後にプログラムしたフォルダまたはファイルから1つずつ消えていきます。

CD 011　P01
PGM　CLEAR

基本再生またはフォルダ再生に切り換えるには（プログラム解除）

停止中に、**P.MODE/CHARAC.キーを押す。**

→基本再生→フォルダ再生→プログラム再生

POINT
- 電源をオフ（スタンバイ）にする、または本体の**open/close**キーを押すと設定したPGMモード再生は解除されます。

3.3.5 その他の再生機能(リモコンのみ)

リピート機能

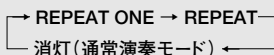
- 曲を繰り返し聴く機能です。
- REPEATキーを押し、希望のCDを繰り返し再生します。
- SJ-5WM／KF-7700には本体にもrepeatキーがあります。

通常再生(トラック再生)フォルダ再生時;

❶ 停止中を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPEAT ONE"(1曲リピート動作)"REPEAT"(全曲リピート動作)を選ぶ。

REPEAT

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

→ REPEAT ONE → REPEAT
消灯(通常演奏モード) ←

※ ランダム機能が働いている時、リピート機能切換作業を行うと、REPEAT ONE機能はなくなります。

プログラム再生時;

❶ 停止中を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPEAT"(プログラム曲リピート動作)を選ぶ。

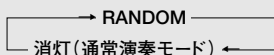
- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

ランダム機能

- 順不同に曲を聴く機能です。
- RANDOMキーを押します。

通常再生(トラック再生)フォルダ再生時;

❶ 停止中を確かめる。
❷ RANDOMキーを押す。

- RANDOMキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

プログラム再生時;

ランダム機能は、働きません。

ランダムリピート機能

順不同に曲を繰り返し聴く機能です。

通常再生(トラック再生)フォルダ再生時;

ランダム再生中にREPEATキーを押して"REPEAT"表示を点灯させる。

- ランダムリピートをやめるときは、REPEATキーを押して"REPEAT"表示を消灯させます。繰り返しが終り、元のランダム再生に戻ります。
- MP3／WMAファイル収録ディスクでフォルダ単位のランダム再生をしているときは、そのフォルダ内でランダム再生が繰り返されます。

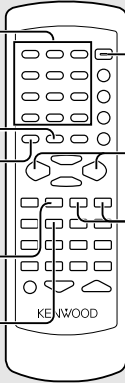
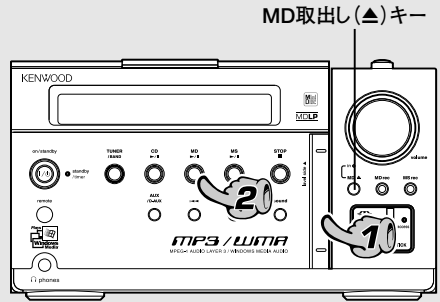
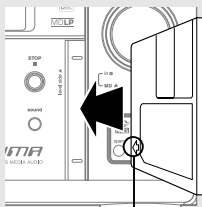
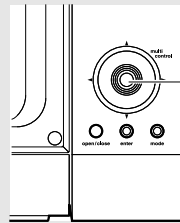
プログラム再生時;

ランダムリピート機能は、働きません。

3.4 MDを聴く

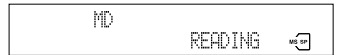
本機では、次のような再生操作が出来ます。

- 通常再生(トラック再生) ： 基本操作→40
- グループ再生 ： グループ編集されたMDにて、指定したグループ内の曲を再生します。→43
- プログラム再生 ： 曲を並び換えて再生→45
- 繰り返し曲を再生する"リピート機能"→47
- 曲順不同で曲を再生する"ランダム機能"→47

3.4.1 MDの通常再生(トラック再生)

1 MDを入れる

矢印の方向に入れる

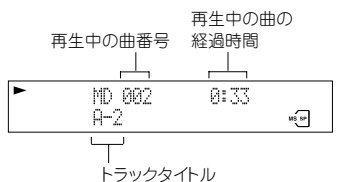
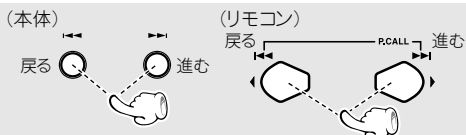
- MDは、MD挿入口に確実に差し込んでください。
- MDの方向をよく確認して挿入してください。

- 数秒間"READING"が点滅表示されます。(ソース(音源)が"MD"選択のとき)その後、ディスクタイトルが表示されます。(ディスクタイトルが記録されているとき)
- MD INインジケーターが点灯しているとき、MDが挿入されています。

電源がオフ(スタンバイ)状態のときは、MDの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2 再生をはじめる

(本体)

(リモコン)

- MDを再生するとその曲の録音モード(MD Rec Mode)が自動で認識され、表示します(LP2、LP4、MONO)。また、ステレオ録音モード(STEREO)のときは表示は消灯します。

曲を飛び越す（スキップ）

- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。再生中前曲に戻るには、⏮キーを連続して素早く押します。
- 再生中に⏮キーを1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- 停止中でも⏮、⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

好きな曲から聴く（リモコンのみ）

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0
213曲目なら .... +100, +100, +10, 3

早送り、早戻しする（リモコンのみ）

- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- 一時停止中に早送り、早戻しした場合、手を離したところで一時停止に戻ります。

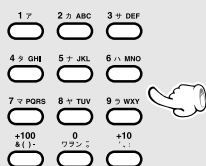
再生／一時停止する

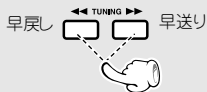
（本体）　　（リモコン）

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

MDを取り出す（本体）

- MDディスクを取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

MDの再生モードについて

MDの曲は、録音したときの録音モード（REC MODE）に従って再生されます。
MDLPはMD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤーまたは、ATRAC3により音声録音されているMDメディア（再生専用MD）に表示されています。

MDの時間表示について

リモコンのみ

TIME／SPACE（タイム／スペース）キーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

→ 再生中の曲の経過時間 ....

MD 002　　0:07

再生中の曲の残り時間 ....

MD 002　　4:53 REMAIN

ディスク全体の経過時間 ....
（グループ再生中はグループ全体の経過時間）

MD 002　　5:02 TOTAL

ディスク全体の残り時間 ....
（グループ再生中はグループ全体の再生残り時間）

MD 002　　54:53 TOTAL REMAIN

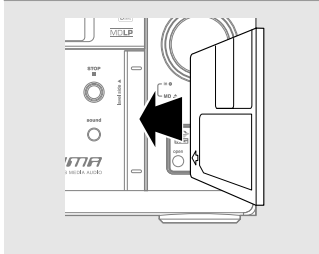
ディスク全体の録音可能な残り時間 ....
設定されている録音モード（MD REC MODE（レコーディング モード） →22 →60）での録音可能時間を表示します。

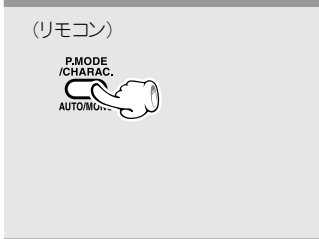
MD 002　R14:00

- プログラム再生などで、トータル1000分以上になると"- - - : - -"と表示され時間表示ができません。

3.4.2 グループ再生

グループ機能を使って録音・編集されたMDの再生をすることができます。グループが登録されているMDでは、グループを選んでグループ内の曲を再生できます。

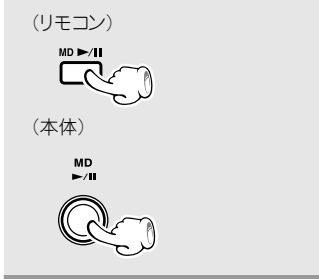
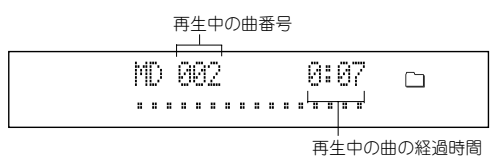
グループ録音→69
グループ編集→122～→127
MDタイトル編集→103～→108

1 グループ録音したMDを入れる

- MDをMD挿入口に入れます。→40
- MD停止中に行います。

（リモコン）

2 P.MODE/CHARAC.（プレイモード/キャラクター）キーを押して"□"を点灯させる

- ボタンを押すごとに、表示は次のように変わります。

（リモコン）

（本体）

3 最初のグループが表示され再生をはじめる

グループ再生を解除するには（リモコン）

停止状態を確認します。
P.MODE/CHARAC.（プレイモード/キャラクター）キーを繰り返し押して"□"を消灯する。

（リモコン）

4 ▲▼FOL./GRP. SEARCHキーを操作してグループを選ぶ

● グループが登録されているMDでは、グループをサーチできます。

再生するグループを選ぶ
▲: 前のグループを選ぶ
▼: 次のグループを選ぶ

● 再生中は、サーチしたグループの最初の曲から再生が始まります。
● 停止中は、サーチ後に**MD▶/II**キーを押すと、グループの最初の曲から再生が始まります。

3.4.3 MDのプログラム再生

好きな曲を、好きな順序で聴くことができます。

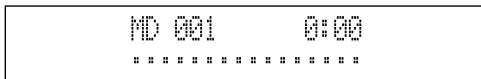
入力切り換えを"MD"にする。→40

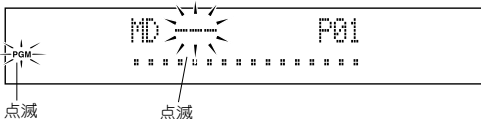
1 停止を確認する（再生中のとき）

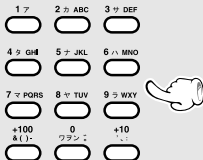
■STOPキーを押す（本体はSTOP■キー）。

（リモコン）

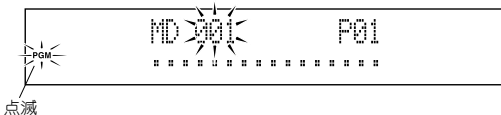
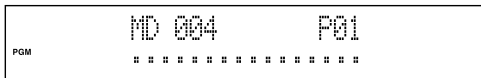
（本体）

MD 001　0:00

2 P.MODE/CHARAC.キーを押し、プログラム再生を選ぶ（リモコン）

"PGM"を点滅する。

3 聴きたい順に曲を選ぶ（リモコン）

❶ 数字キーで曲番号を選ぶ。

数字キーを押す順序は
- 12曲目なら .... +10, 2
- 20曲目なら .... +10, +10, 0

❷ SETキーを押す。

2曲以上の曲をプログラムするときは、この操作をくり返します。

❶ 選曲

❷ 確定

- 確定後、時間表示に切りかわります。
- 曲番号は⏮,⏭キーでも選ぶことができます。
- "PROGRAM FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 最大32曲までプログラム登録できます。
- トラック番号表示の点滅中20秒以内にSETキーを押さないと入力が中止されます。
- グループは選択できません。

4 再生する

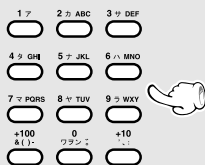
MD►/IIキーを押す。

（リモコン）　（本体）

- プログラムで選んだ順（PGM-番号順）に再生します。
- 再生中に|◄◄または►►|キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に|◄◄キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

停止中に押す

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ。（リモコン）

数字キーを押す順序は

12曲目なら............ +10, 2

20曲目なら............ +10, +10, 0

112曲目なら.......... +100, +10, 2

❷ SETキーを押す。

（リモコン）

点滅

- 曲番号は|◄◄、►►|キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。**"PROGRAM FULL"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには（リモコン）

CLEAR/DELETEキーを押す。

停止中に押す

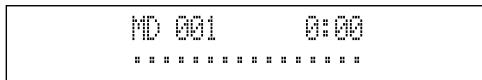
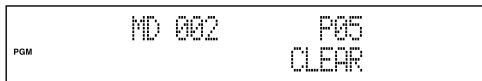
- **CLEAR/DELETE**キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

MD 002 P05
PGM CLEAR

プログラムを解除するには（リモコン）

P.MODE/CHARAC.キーを押して"PGM"を消灯させる。

停止中に押す

MD 001 0:00

POINT
- 電源をオフ（スタンバイ）にする、または各ソースの取り出し操作を行うと設定したPGMモード再生は解除されます。
- MDで録音操作をすると、MDのPGMモードは解除されます。

3 基礎編

3.4.4 その他の再生機能（リモコンのみ）

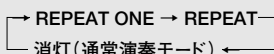
リピート機能

- 曲を繰り返し聴く機能です。
- REPEATキーを押し、希望のMDを繰り返し再生します。
- SJ-5WM／KF-7700には本体にもrepeatキーがあります。

MDの通常再生（トラック再生／グループ再生）時；

❶ 停止中を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPAET ONE"（1曲リピート動作）"REPEAT"（全曲リピート動作）を選ぶ。

REPEAT

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

※ ランダム機能が働いている時、リピート機能切換作業を行うと、REPEAT ONE機能はなくなります。

MDのプログラム再生時；

❶ 停止中を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPEAT"（プログラム曲リピート動作）を選ぶ。

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

ランダム機能

- 順不同に曲を聴く機能です。
- RANDOMキーを押します。

MDの通常再生（トラック再生／グループ再生）時；

❶ 停止中を確かめる。
❷ RANDOMキーを押す。

- RANDOMキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

MDのプログラム再生時；

ランダム機能は、働きません。

ランダムリピート機能

順不同に曲を繰り返し聴く機能です。

MDの通常再生（トラック再生／グループ再生）時；

ランダム再生中にREPEATキーを押して"REPEAT"表示を点灯させる。

- ランダムリピートをやめるときは、REPEATキーを押して"REPEAT"表示を消灯させます。繰り返しが終り、元のランダム再生に戻ります。
- グループ登録されたMDで、グループ単位のランダム再生をしているときは、そのグループ内でランダム再生が繰り返されます。

MDのプログラム再生時；

ランダムリピート機能は、働きません。

3.4.5 MDのステレオ長時間録音と再生について

本機は、MDのステレオ長時間録音と再生に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について（LP2、LP4）

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO）で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。
ステレオ2倍長時間録音（LP2）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。
ステレオ4倍長時間録音（LP4）：
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。
モノラル長時間録音（MONO）：
録音される音声はモノラルになりますが、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ（STAMP）機能

本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に「**LP:**」を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「**LP:**」が表示されます。
「**LP:**」は本機での再生中には表示されません。タイトル編集時のみ表示されます。
「**LP:**」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ（STAMP）機能のON（「**LP:**」をつける）またはOFF（「**LP:**」をつけない）の設定もすることができます。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

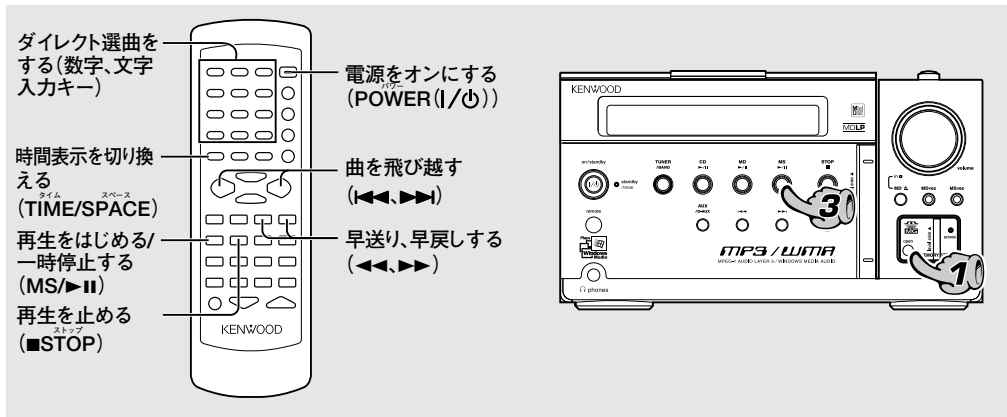
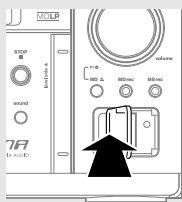
POINT

- 異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ（CONBINE）" →118

3.5 メモリースティックを聴く SJ-7MSのみ

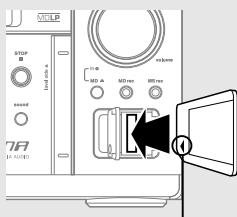
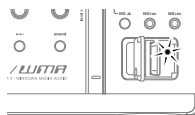
本機では、次のような再生操作が出来ます。

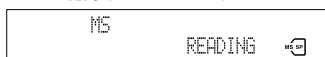
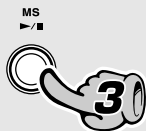
- 通常再生(トラック再生) ： 基本操作→49
- 繰り返しで曲を再生する"リピート機能"→52

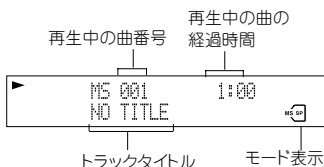
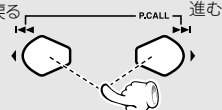
3.5.1 メモリースティックの通常再生(トラック再生)

1 メモリースティック挿入口の左側を押して、メモリースティックカバーを開ける

矢印の方向に入れる

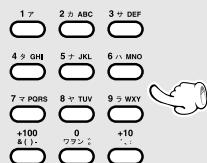
2 メモリースティックを入れる

著作権保護機能付きメモリースティック"マジックゲート メモリースティック"をお使いください。

- メモリースティックは、メモリースティック挿入口に、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。
- メモリースティックの方向をよく確認して挿入してください。
- メモリースティックアクセス(ACCESS)インジケーターが点滅／点灯しているときにアクセスしています。

- 数秒間"**READING**"が点滅表示されます。(ソース(音源)が"**MS**"(メモリースティック)選択のとき)
  その後、タイトルが表示されます。(タイトルが記録されているとき)

```
MS
                READING   MS SP
```

3 再生をはじめる

- メモリースティックを再生するとその曲の録音モード（MS Rec Mode）が自動で認識され、表示します（SP、LP、EX）。

曲を飛び越す（スキップ）

- 再生中に⏮または⏭キーを押すと、曲を飛び越して選んだ曲の最初から再生します。再生中前曲に戻るには、⏮キーを連続して素早く押します。
- 再生中に⏮キーを1回だけ押すと、その曲の最初に戻り再生します。
- 停止中でもリモコンの⏮、⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合、スキップした後自動的に再生がはじまります。

好きな曲から聴く（リモコン）

数字キーを押す順序は

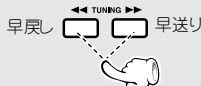
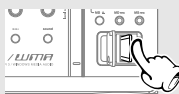
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0
213曲目なら .... +100, +100, +10, 3

早送り、早戻しする（リモコン）

- 再生中に押しつづけ、手を離したところで再生に戻ります。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音は出ません。
- 一時停止中に早送り、早戻しした場合、手を離したところで一時停止に戻ります。

再生／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

メモリースティックを取り出す（本体）

- メモリースティック本体をカチッと音がするまで押して、手を離してください。
- メモリースティックを無理にひっぱらないでください。故障の原因となります。
- メモリースティックを取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

メモリースティックの再生モードについて

メモリースティックの曲は、録音したときの録音モード（REC MODE）に従って再生されます。
録音するときのビットレート*1をEX（132kbps）、SP（105kbps）、LP（66kbps）から選ぶことができます。
ビットレートは数値の高い方が高音質となります。又数値の低い方が長時間録音可能となります。

*1 64MBのメモリースティックを使用したときの、最大録音時間は：
EX（132kbps） 約60分
SP（105kbps） 約80分
LP（66kbps） 約120分

メモリースティックの時間表示について

リモコンのみ

TIME／SPACEキーを押すたびに表示部の時間表示が切り換わります。

再生中の曲の経過時間 ....
MS 002 0:07

再生中の曲の残り時間 ....
MS 002 4:53 REMAIN

メモリースティック全体の経過時間 ....
MS 002 22:48 TOTAL

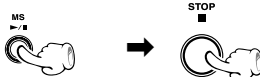
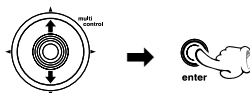
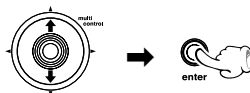
メモリースティック全体の残り時間 ....
MS 002 54:53 TOTAL REMAIN

メモリースティック全体の録音可能な残り時間 ......
設定されている録音モード（MS REC MODE →22→63）での録音可能時間を表示します。
MS 002 R14:00

- トータル1000分以上になると"- - - : - -"と表示され時間表示ができません。

RESTRICT SKIPについて（本体のみ）

本機のメモリースティック機能では、メモリースティック内に著作権保護の制限により再生回数制限のかかった曲があるとき、無条件でそれらの曲をスキップさせる機能があります。

❶ ソース音源をMS（メモリースティック）にあわせ、停止状態を確認する。

❷ modeキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作し、"RESTRICT SKIP"を選び、enterキーを押す。

❹ multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押し、確定する。

- multi controlキーを上下に操作するたびに切り換ります。
  - ON......... 再生回数制限の曲をスキップする
  - OFF .... 再生回数制限の曲をスキップしない

3.5.2 その他の再生機能（リモコンのみ）

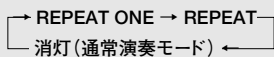
リピート機能

- 曲を繰り返し聴く機能です。
- REPEATキーを押し、希望のメモリースティックを繰り返し再生します。

通常再生（トラック再生）時；

❶ 停止中を確かめる。
❷ REPEATキーを押して"REPAET ONE"（1曲リピート動作）"REPEAT"（全曲リピート動作）を選ぶ。

- REPEATキーを押すごとに表示部のプレイモード表示は、次のように切り換わります。

→ REPEAT ONE → REPEAT
消灯（通常演奏モード） ←

3.6 ラジオ放送を聴く

放送局を選ぶには、聴く放送局を変更するたびごとに局に合わせる操作を行う"マニュアル選局／オート選局"と、あらかじめ局をメモリーしておく"プリセット選局"があります。

- マニュアル選局／オート選局操作 →53
- FM放送ステレオ／モノラル切り換え →53
- プリセット選局操作 →55
- 放送局プリセット入力操作 →54 →55

3.6.1 マニュアル選局／オート選局

1 放送入力をチューナーにする

バンド（FMまたAM）は、TUNER/BANDキーを押すたびに表示が切り換ります。

2 オート選局、マニュアル選局を選んで放送局を合わせる

❶ AUTO/MONOを押すごとに表示が切り換ります。

- AUTO .... オート選局を選んでいる
- 表示なし .... マニュアル選局を選んでいる

❷ リモコンの◀◀TUNING▶▶のボタンを押す。

- オート選局のときは自動的に放送局を探し、受信すると止まります。
- マニュアル選局のときはボタンを押すごとに、次のように周波数が変わります。

FM放送	0.1MHzづつ	76.0 ～ 90.0 MHz
AM放送	9kHzづつ	531 ～1629 kHz

POINT

- FM放送を聞くときは…
  ステレオ放送を受信すると、表示部に"STEREO"が表示され、ステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいなどのときは、リモコンの（P.MODE/CHARAC.）キーを押し"STEREO"表示を消してモノラル放送に切り換えてください。
- AM放送はステレオ対応していません。

3.6.2 放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

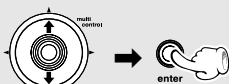
❶ TUNER/BANDキー（リモコンはTUNER BANDキー）を押して入力をチューナーにする。

（本体）　（リモコン）

❷ modeキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"県名設定"を選び enterキーを押す。

（本体）

❹ multi controlキーを上下に操作して、お住まいの都道府県名を選ぶ。

（本体）

❺ enterキー（リモコンはENTERキー）を押して確定する。

（本体）　（リモコン）

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押して隣接する地域（都道府県）のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域（都道府県）に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

SET

POINT

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"→56**に載っているFM放送局のみに対応しています。**

- オートプリセット中は他の操作をしないでください。

❸

MD GROUP MAKE
>県名 設定

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**県名未設定？**"と表示されます。

❹

"**東京**"を選択したとき

県名 設定
東京　?

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**"に従ってオートプリセットされます。→56

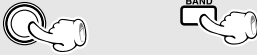
❺

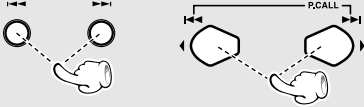
- 順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"**TUNED**"が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- 県名設定が終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示します。
- 県名設定をおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

3.6.3 プリセット選局

オートプリセット、マニュアルプリセットで設定した放送局を選局します。

❶ TUNER/BANDキー（リモコンはTUNER BANDキー）を押す。

（本体）　　　　　（リモコン）

❷ ⏮キーまたは⏭キーを押す（リモコンは⏮、⏭キー）。

（本体）　　　　　（リモコン）

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮キーまたは⏭キーを押して選局します。押すたびに記憶されている放送局が順に切り換ります。
  ⏭キーを押すと .... **1→2→3 … 38→39→40→1**
  ⏮キーを押すと .... **40→39→38 … 3→2→1→40**
- リモコンでは⏮、⏭キー、または数字、文字入力キーを押して選局します。

3.6.4 マニュアルプリセット

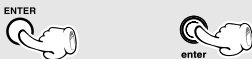
❶ "ラジオ放送を聴く"の手順❶～❷を行なって記憶させたい放送局を受信する。

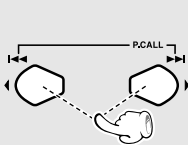
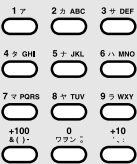
❷ 受信中にENTERキー（本体はenterキー）を押し、確定する。

（リモコン）　　　　　（本体）

❷

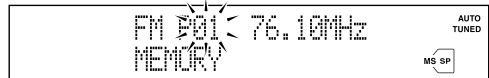
FM P-- 76.10MHz
MEMORY
AUTO TUNED
MS SP

- プリセットを続けるときは、手順❶～❹を繰り返します。
- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。
- 40を超えるプリセット番号は選択できません。

❸ リモコンの⏮、⏭キーまたは数字キーででで1～40までのプリセット番号を任意に選ぶ。（リモコン）

P.CALL

数字キーを押す順序は
　12番目なら .... +10, 2
　20番目なら .... +10, +10, 0

❸

❹ ENTERキー（本体はenterキー）を押し、確定する。

（リモコン）　　　　　（本体）

操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

エリア別FM（エフエム）放送局名自動表示リスト

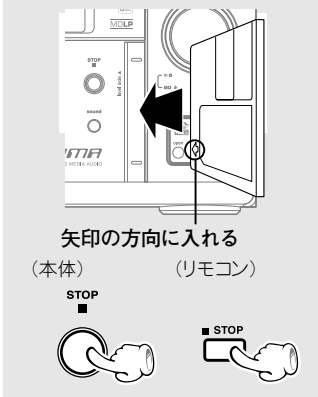
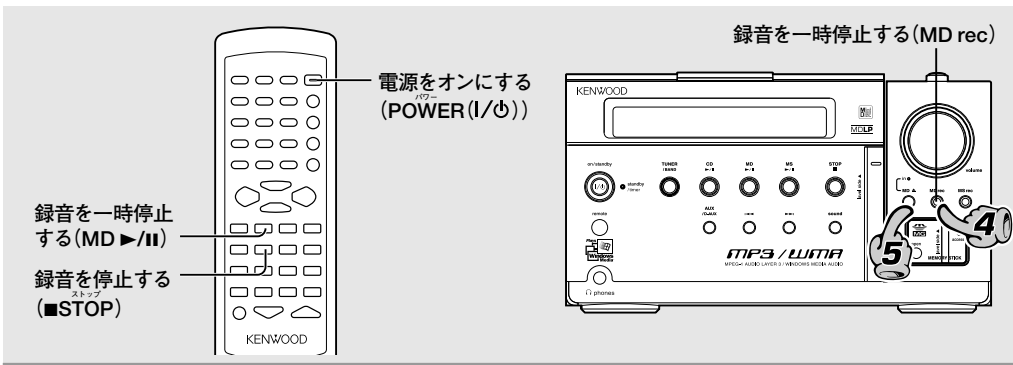
2001年6月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	Air - G'
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
東北地方	エフエム青森	エフエム青森
	エフエム岩手	エフエム岩手
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	エフエム秋田
	エフエム山形	BOY - FM
	エフエム福島	ふくしまFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	放送大学
	エフエム群馬	FMぐんま
	エフエム栃木	RADiO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	BayFM
	横浜エフエム放送	FM yokohama 84.7
	エフエム富士	FM FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM - NIIGATA
	新潟県民エフエム	FmPort.Com
	長野エフエム放送	FM NAGANO
	北日本放送	KNB北日本放送
	富山エフエム放送	FMとやま
	エフエム石川	FM石川
	福井エフエム放送	FM福井
	静岡エフエム放送	K - MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
	岐阜エフエム放送	FM岐阜
近畿地方	三重エフエム放送	FM三重
	エフエム京都	α-STATION
	エフエム滋賀	E - RADIO
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエム802	FM802
	関西インターメディア	FM CO･CO･LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM KOBE
中国・四国地方	エフエム山陰	エフエム山陰
	岡山エフエム放送	FM岡山
	広島エフエム放送	広島FM
	エフエム山口	エフエム山口
	エフエム徳島	fm - tokushima
	エフエム香川	FM香川
	エフエム愛媛	FM愛媛
	エフエム高知	Hi - Six
九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FM佐賀
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FM中九州
	エフエム大分	FM大分
	エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム鹿児島	エフエム鹿児島
	エフエム沖縄	FM - Okinawa
	NHK 第一	NHKラジオ 第1
	FEN 沖縄	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

3.7 MDに録音する

矢印の方向に入れる

（本体）　（リモコン）

STOP ■　　■ STOP

1 MDの録音準備をする

- 録音可能なMDをMD挿入口に確実に入れてください。
- すでにMDを再生しているときは、STOP■キー（リモコンは■STOPキー）を押してください。

> ⚠ **注意** 電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、MDの出し入れはできません。必ず電源をオンにしてください。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

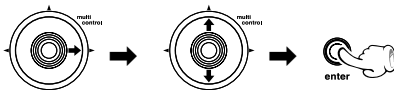
2 録音モードを設定する

❶ mode キーを押す。

❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。

❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>

multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON　：　曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る

OFF　：　曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>

enterキーを押す。

3 録音するソース(音源)を選ぶ

TUNER(ラジオ放送)	: TUNER/BANDキーを押す
CD	: CD ▶/❚❚キーを押す
メモリースティック	: MS ▶/❚❚キーを押す(SJ-7MSのみ)
AUX(外部アナログ機器)	: AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX(外部デジタル機器)	: AUX/D-AUXキーを"DIGITAL AUX"と表示されるまで繰り返し押す

- CDまたはメモリースティックからの録音を選択した場合、ストップ状態にしてください。
- CDからの録音時、アナログ録音/デジタル録音を選択できます。選択操作は、MODE "REC INPUT"操作を行います。(工場出荷時は、デジタル録音に設定されています) →59
- CDからのデジタル録音時、MD録音レベルを調整することができます。CD再生中に、MODE"MD D-REC LEVEL"を選択します。
- AUX/D-AUX入力信号を録音するとき、録音レベルが調節できます。録音する音楽内容によっては、調節を行う必要があります。調節操作は、MODE "REC GAIN"操作を行います。 →61
- SCMSにより、デジタル録音が禁止されるケースがあります。
- D-AUX入力信号から録音時、「DIGITAL UNLOCK」と表示されたときには、メッセージ一覧をご覧ください。 →146

(本体)

4 録音をはじめる

❶ MD recキーを押す(録音一時停止状態になります)。
❷ 再度MD recキーを押す(録音がはじまります)。

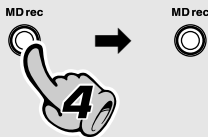
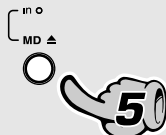
❸ ソース(音源)の再生をはじめる。*

*チューナーの場合、この手順は不要です。

(本体)

5 録音終了後、MDを取り出す

- 録音が終わったら、必ずMDを取り出してください。"WRITING"表示中に録音情報がMDに書き込まれた後、取り出されます。

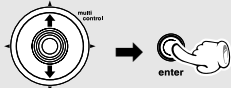
"WRITING"表示中は、情報をMDに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止する

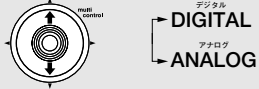
- 再度録音をはじめるには、リモコンMD►/IIキーを押します。このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。

録音を停止する

CD-TEXTが記録されているCDの場合、TEXTデータは記録されません。

録音時のトラック番号について（リモコン）

入力ソース（音源）がCD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）、D-AUXからの録音の場合：
トラック番号等の情報ごとアナログ信号に変換されるため、その信号をもとに録音元の音源と同じところに自動的にトラック番号がつきます。
入力ソース（音源）がTUNERからの録音の場合：
10分ごとにトラック番号を自動的に"1"繰り上げます。さらに、任意のところでトラック番号を繰り上げることができます。録音中にTRACK EDITキーを押してください。
入力ソース（音源）がAUXからの録音の場合：
トラック番号は"1"つとなります。任意で複数のトラック番号をつけたい場合は、録音中にTRACK EDITキーを押してください。

CDの録音形式を選ぶ（ソースがCDのとき）（本体）

市販のCDをMDに録音する場合、録音形式はお買い上げ時と同じ"DIGITAL"（デジタル録音）を選びます。しかし、CDをMDに録音する場合、SCMS*によりデジタルで録音ができないことがあります。この場合は、録音形式を"ANALOG"（アナログ録音）に切り換えてください。

*詳しくは"デジタル録音とSCMSについて"をご覧ください。→142

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"REC INPUT"を選択しenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して"ANALOG"を選択しenterキーを押す。

"DIGITAL"に戻すには❶～❸の操作をしてDIGITALを選択しenterキーを押します。

- MP3／WMAファイル形式で録音されたディスクをMDに録音するときは、自動で"ANALOG"（アナログ録音）に切り換ります。この場合、上記の操作は必要ありません。

MDに長時間録音をする（MD REC MODE）

必要に合わせてMDの録音モードをかえることができます。
また、ステレオ長時間録音（LP2、LP4）で録音するときのみ、曲のタイトルの始めの部分に "LP：" というタイトルを自動的に入力する、入力しないを選ぶことができます（MD スタンプ機能）。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"MD REC MODE"を選びenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

"STEREO"または"MONO"を選択したときは設定終了
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ multi controlキーを上下に操作してMDスタンプ機能の"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

❷

```
 MS REC MODE
>MD REC MODE
```

❸

- STEREO（ステレオ録音モード）
- LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）
- LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）
- MONO（モノラル録音モード）

❹

OFFのとき

```
"LP:" STAMP
 OFF
```

ONのとき

```
"LP:" STAMP
 ON
```

- ON .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
- OFF ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

REC MODE（録音モード）	REC MODE表示
STEREO（ステレオ録音モード）	消灯
LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）	LP2
LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）	LP4
MONO（モノラル録音モード）	MONO

● REC MODE表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

MDスタンプ機能について

本機でステレオ長時間録音（LP2/LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に "LP：" を自動的につける機能です。
"LP：" というタイトルはステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません（MD スタンプ機能を使っているときは、その曲のタイトルの始めの部分に "LP：" と表示されます）。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このような MD を再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

POINT 異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ（COMBINE）→118

3.8 外部アナログ機器、外部デジタル機器からの録音について

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して録音することができます。

外部アナログ機器入力信号の録音レベル

外部アナログ機器入力の録音レベルは、HIGH/NORMAL、2段階選択できます。以下の手順です。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"REC GAIN"を選び、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して"NORMAL"または"HIGH"を選択します。

❹ enterキーを押して確定する。

外部デジタル機器入力信号の録音レベル

メモリースティックへの録音レベルは、固定です（SJ-7MSのみ）。MDへの録音レベルは下記の手順で調整できます。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"MD D REC LEVEL"を選び、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作してお好みのレベルに調整する。
- -12〜+12の範囲で調整ができます。

❹ enterキーを押して確定する。

基礎編

録音時のトラック番号について（リモコン）

入力ソース（音源）がCD、メモリースティック（SJ-7MSのみ）、MD、D-AUXからの録音の場合：
トラック番号等の情報ごとアナログ信号に変換されるため、その信号をもとに録音元の音源と同じところに自動的にトラック番号がつきます。

入力ソース（音源）がTUNERからの録音の場合：
10分ごとトラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。
さらに任意のところでトラック番号を繰り上げることができます。録音中に**TRACK EDIT**キーを押してください。

入力ソース（音源）がAUXからの録音の場合：
トラック番号は**"1"**つとなります。任意で複数のトラック番号をつけたい場合は、**TRACK EDIT**キーを押してください。

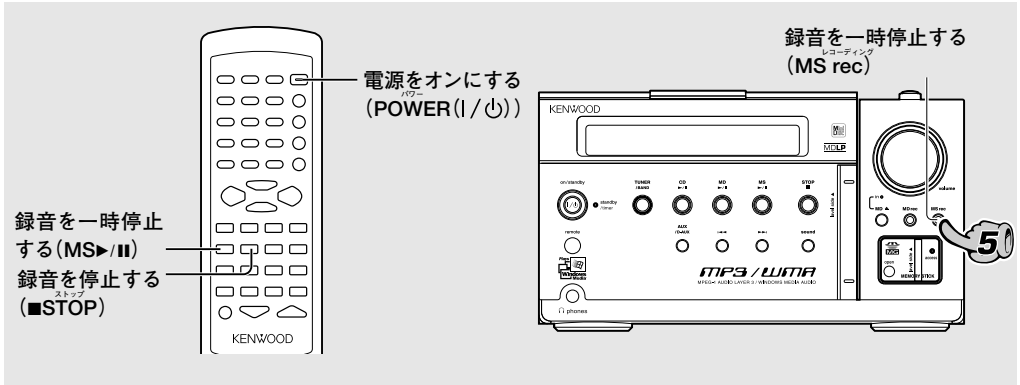
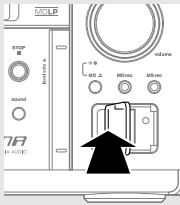
* CDの規格により、メモリースティックの場合4秒以内の曲にはトラック番号を付けることができません。また、TWIN REC（→89〜→99）中に**TRACK EDIT**キーを押すと、メモリースティック（SJ-7MSのみ）、MD同時にトラック番号が付きます。

サンプリングレートコンバータ

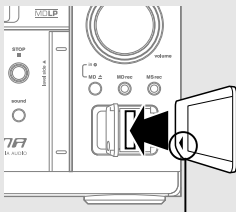
サンプリングレートコンバータが、CS/BSチューナやDATなどのサンプリング周波数が違う（32kHz、48kHz）ディジタル機器に接続しても、自動的に44.1 kHz（本機の周波数）に変換してディジタル録音できます。
DVDプレーヤーのデジタル音声出力を録音する時について・ディスクにコピーガードがかかっている場合は、ディジタル録音できません。DVDプレーヤー側の「96/48kHz LPCM→48kHz/16bit変換」機能をONすることが必要です。DVDプレーヤー・取扱説明書を参照ください。

3.9 メモリースティックに録音する SJ-7MSのみ

メモリースティックには、著作権保護技術（Magic Gate）を搭載したマジックゲート メモリースティックと、搭載していない汎用のメモリースティックの2種類があります。
本機では、マジックゲートを搭載していないメモリースティックはご使用できません。

3
基礎編

1 メモリースティック挿入口の左側を押して、カバーを開ける

2 メモリースティックの録音準備をする

> 著作権保護機能付きメモリースティック"マジックゲート メモリースティック"をお使いください。

- 録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に確実に入れてください。
- すでにメモリースティックを再生しているときは、本体のSTOP■キー（リモコンは■STOPキー）を押してください。

（本体）

（リモコン）

（本体）

3 録音モードを設定する

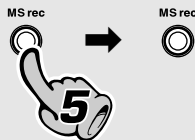
❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選びenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して、好みの録音モードを選びenterキーを押す。

LP (66kbps)
SP (105kbps)
EX (132kbps)

4 録音するソース（音源）を選ぶ

TUNER（ラジオ放送）	:	TUNER/BANDキーを押す
CD	:	CD ▶/❚❚キーを押す
MD	:	MD ▶/❚❚キーを押す
AUX（外部アナログ機器）	:	AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX（外部デジタル機器）	:	AUX/D-AUXキーを"DIGITAL-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

● CDまたはMDからの録音を選択した場合、ストップ状態にしてください。
● CDからの録音時、アナログ録音／デジタル録音を選択できます。選択操作は、MODE "REC INPUT"操作を行います。（工場出荷時は、デジタル録音に設定されています） →64
● AUX/D-AUX入力信号を録音するとき、録音レベルが調節できます。録音する音楽内容によっては、調節を行う必要があります。調節操作は、MODE "REC GAIN"操作を行います。 →61
● SCMSにより、デジタル録音が禁止されるケースがあります。
● D-AUX入力信号から録音時、「DIGITAL UNLOCK」と表示されたときには、メッセージ一覧をご覧ください。 →146

（本体）

5 録音をはじめる

❶ MS recキーを押す（録音一時停止状態になります）。
❷ 再度MS recキーを押す（録音がはじまります）。

MS REC

❸ ソース（音源）の再生をはじめる。*

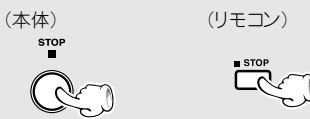
＊ソース（音源）がチューナーのとき、この手順は不要です。

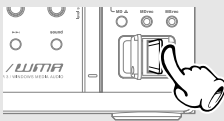
録音を一時停止する

（本体）　　　　　　　　　（リモコン）

- 再度録音をはじめるには、**MS rec**キー（リモコン**MS►/II**キー）を押します。このとき、トラック番号は**"1"**繰り上がります。
- CD録音中のみ、**CD►/II**キー（リモコン **CD►/II**キー）を押して録音とCD再生を一時停止することができます。録音とCD再生を再開するには**CD►/II**キーを押します。

録音を停止する

（本体）　　　　　　　　　（リモコン）

CD-TEXTが記録されているCDの場合、TEXTデータは記録されません。

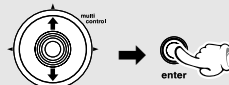
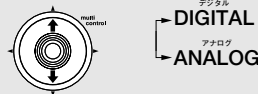
メモリースティックを取り出す

- メモリースティック本体をカチッと音がするまで押し、手を離してください。
- メモリースティックを無理にひっぱらないでください。故障の原因となります。
- メモリースティックを取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

CDの録音形式を選ぶ（ソースがCDのとき）（本体）

市販のCDをメモリースティックに録音する場合、録音形式はお買い上げ時と同じ"DIGITAL"（デジタル録音）を選びます。しかし、CDをメモリースティックに録音する場合、SCMS*によりデジタルで録音ができないことがあります。この場合は、録音形式を"ANALOG"（アナログ録音）に切り換えてください。

*詳しくは**"デジタル録音とSCMSについて"**をご覧ください。→142

❶ **modeキーを押す。**

❷ **multi controlキーを上下に操作して"REC INPUT"を選択しenterキーを押す。**

❸ **multi controlキーを上下に操作して"ANALOG"を選択しenterキーを押す。**

"DIGITAL"に戻すには❶～❸の操作をしてDIGITALを選択しenterキーを押します。

- **MP3／WMAファイル形式で録音されたディスクをメモリースティックに録音するときは、自動で"ANALOG"（アナログ録音）に切り換ります。この場合、上記の操作は必要ありません。**

録音時のトラック番号について（リモコン）

入力ソース（音源）がCD、MD、D-AUXからの録音の場合：
トラック番号等の情報ごとアナログ信号に変換されるため、その信号をもとに録音元の音源と同じところに自動的にトラック番号がつきます。

入力ソース（音源）がTUNERからの録音の場合：
10分ごとにトラック番号を自動的に**"1"**繰り上げます。さらに任意のところでトラック番号を繰り上げることができます。録音中に**TRACK EDIT**キーを押してください。

入力ソース（音源）がAUXからの録音の場合：
トラック番号は**"1"**つとなります。任意で複数のトラック番号をつけたい場合は、録音中に**TRACK EDIT**キーを押してください。

3.10外部機器ソースを聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して聴くことができます。

"2.1.2 他の機器(別売品・市販品)との接続"→13 を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。

アナログ機器を聴くとき

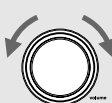
❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す。

(本体)　(リモコン)

❷ 外部アナログ機器の演奏を始める。

❸ 本体のVOLUMEツマミ(リモコンはvolumeキー)で、音量を調整する。

(本体)

(リモコン)

デジタル機器を聴くとき

❶ AUX/D-AUXキーを"D-AUX"が表示されるまで繰り返し押す。

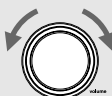
(本体)　(リモコン)

- D-AUXを選んだとき、"DIGITAL UNLOCK"と表示された場合は、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。 →146

❷ 外部デジタル機器の演奏を始める。

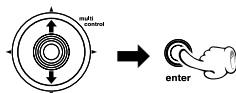
❸ 音量を調整する。

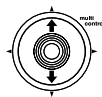
(本体)

(リモコン)

外部アナログ機器の入力レベルを調整する(外部デジタル機器は調整できません)

外部アナログ機器の音量が、本機のCDやMDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"AUX INPUT"を選び、enterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作してお好みのレベルに調整する。

- -5～+2の範囲で調整ができます。

❹ enterキーを押して確定する。

POINT 入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部アナログ機器からの録音の入力レベルも変化します。 →61

基礎編

4.1 便利な録音

CD、MD、メモリースティックの全曲や1曲をワンタッチ(O.T.E)のカンタンな操作で録音することができます。また CD → MD には倍速で録音することもできます。
本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

説明文中の CD MD MS は、再生または録音する機器を示しています。 ※ MS はSJ-7MSのみ

CD .... CDプレーヤー(CD-DA、MP3/WMAファイル収録ディスクを再生)
MS .... メモリースティック
MD .... MDレコーダー

ダビング区分	可能なO.T.E.録音動作	選択できる録音形式※1	該当説明ページ	モデル
CD → MD	CD全曲をMDに通常速で録音する	A/D	→ 74	SJ-5WM/KF-7700 & SJ-7MS
	CD全曲をMDに倍速で録音する	Dのみ	→ 67	
	CDの中の1曲をMDに通常速で録音する	A/D	→ 72	
	CDの中の1曲をMDに倍速で録音する	Dのみ	→ 70	
	CD曲順を並べ換えて、MDに通常速で録音する	A/D	→ 77	
	CD曲順を並べ換えて、MDに倍速で録音する	Dのみ	→ 80	
CD → MS	CD全曲をメモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 83	SJ-7MSのみ
	CDの中の1曲をメモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 85	
	CD曲順を並べ換えて、メモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 87	
CD → MD & MS	CD全曲をMD/メモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 89	
	CDの中の1曲をMD/メモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 92	
	CD曲順を並べ換えてMD/メモリースティックに通常速で録音する	A/D	→ 95	
MD → MS	MD全曲をメモリースティックに通常速で録音する	Aのみ	→ 98	
	MDの中の1曲をメモリースティックに通常速で録音する	Aのみ	→ 98	
	MD曲順を並べ換えて、メモリースティックに通常速で録音する	Aのみ	→ 98	
	MDグループ全曲を、メモリースティックに通常速で録音する	Aのみ	→ 98	
MS → MD	メモリースティック全曲をMDに通常速で録音する	Aのみ	→ 100	
	メモリースティックの中の1曲をMDに通常速で録音する	Aのみ	→ 100	

※1. Aはアナログ、Dはデジタル

POINT

知っておくと便利な機能
- MD GROUP MAKE設定を"ON"にしておくと、自動的に録音曲が1グループとして録音できます。→ 69
- タイトルコピー機能を"ON"に設定しておくと、MP3/WMAファイル収録ディスクに登録されているタイトルがO.T.E機能を使って録音した後に、MDまたはメモリースティック(SJ-7MSのみ)録音にタイトルコピーされます。→ 69

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

"メモリースティックアクセス(ACCESS)インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

4.1.1 CD → MD CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する

(ワンタッチエディット全曲録音)(O.T.E.)(HIGH)

CDからMDにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142
MP3/WMAファイル収録ディスクは倍速録音できません。

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

● 必要に応じて、グループ録音のON/OFFを切り換えます。 →69

2 録音スピードを選ぶ(本体)

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して"HIGH SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① NORMAL SPEED ... (通常速度で録音する)
② HIGH SPEED.......... (倍速で録音する)

HIGH 点灯

3 録音モードを選ぶ(本体)

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>
multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON :曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入る
OFF :曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>
enterキーを押す。

● 録音モードを変更しないときは手順 4 に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO"または"MONO"で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
ON......録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
OFF ....録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

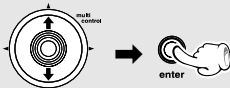
4 CDの停止状態を確認する

再生中の時は停止させる。

（リモコン）　　　　（本体）

5 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD＜HIGH＞"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

リモコン

MD O.T.E.キーを押す。

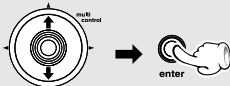
SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　　　　（本体）

MD O.T.E.キーを押す。

6 録音終了後MDを取り出す

（本体）

5-❸

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。(SJ-7MSのみ)

- ① CD→MD＜HIGH＞
- ② CD→MS＜NORMAL＞
- ③ TWIN REC
- ④ MD→MS＜NORMAL＞
- ⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS(→142)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→59

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→142)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(HIGH)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 73MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音(NORMAL)で録音してください。

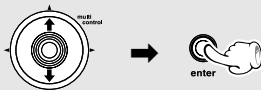
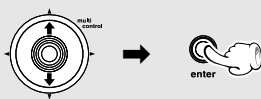
POINT 本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー(またはリモコン■STOPキー)を押します。
(録音、再生ともに停止します。)

MD GROUP MAKEを使うには（本体）

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"MD GROUP MAKE"を選んでenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作してONを選び、enterキーを押す。

グループを登録しないときは"OFF"を選ぶ。

- グループ登録をONに選んでおくと、自動的にCDの全曲が1グループとしてMDに録音されます。
- MD長時間録音で複数枚のCDを1枚のMDに録音するときに便利です。
- グループとして登録しておくと、グループタイトルをつけて、グループ再生や編集などができます。

→43 →103 〜 →108

❷

```
 MD REC MODE
>MD GROUP MAKE
```

❸

ON（グループ登録する）

```
MD GROUP MAKE
ON
```

OFF（グループ登録しない）

```
MD GROUP MAKE
OFF
```

- グループとして登録しない場合は、"OFF"を選びます。

タイトルのコピー（TITLE COPY）

タイトルコピー機能を"ON"に設定しておくと、MP3／WMAファイル収録ディスクに登録されているタイトルがO.T.E機能を使って録音した後に、MDまたはメモリースティック（SJ-7MSのみ）にタイトルコピーされます。

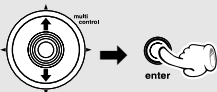
・タイトルコピーを行うには、あらかじめタイトルコピー機能を設定しておく必要があります。

機能を設定する

1 機能を設定する

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して、"TITLE COPY"でenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して、"ON"を選択し、enterキーを押す。

- CD→MD、CD→メモリースティックへのO.T.E機能を使っての録音方法は→66〜→100
- O.T.E機能で、全曲を録音したときは、CDの全タイトルを録音先にコピーします。
- O.T.E機能で、1曲のみを録音したときは、CDの1曲を録音先にコピーします。

POINT

各ソースの（録音元）の全角文字、半角文字について

- メモリースティックへのタイトルコピーは表示されている文字がコピーされます。
- MDカナエリアへのタイトルコピーは変換されてコピーされます。変換できない文字は"*"に置き換えられます。
- MD漢字エリアへのタイトルコピーは、表示されている文字がコピーされます。

4 応用編

4.1.2 CD → MD CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する
（ワンタッチエディット1曲録音）（O.T.E.）（HIGH）

CDからMDにカンタン操作で倍速録音することができます。（アナログでは倍速録音できません。）
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142
MP3／WMAファイル収録ディスクは倍速録音できません。

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

2 録音スピードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して"HIGH SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① NORMAL SPEED ...（通常速度で録音する）
② HIGH SPEED..........（倍速で録音する）

HIGH 点灯

3 録音モードを選ぶ（本体）

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

＜LP2、LP4を選んだときは＞
multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

＜STEREO、MONOを選んだときは＞
enterキーを押す。

● 録音モードを変更しないときは手順 4 に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
ON......録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF ....録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

4 録音したい曲を再生する

❶ CDを再生する。

（リモコン）　　　　　（本体）

❷ 録音したい曲を再生する。

5 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD <HIGH>"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

リモコン

MD O.T.E.キーを押す。

SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　　　　　（本体）

MD O.T.E.キーを押す。

6 録音終了後MDを取り出す

（本体）

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<HIGH>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→59
- 録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（HIGH）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

WAIT 73MIN.

続けて録音したい場合は、通常速録音（NORMAL）で録音してください。

POINT 本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.3 CD → MD CDの中の1曲をMDに通常速で録音する
(ワンタッチエディット1曲録音)(O.T.E.)(NORMAL)

CDからMDにカンタン操作で通常速録音することができます。
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

2 録音スピードを選ぶ(本体)

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して"NORMAL SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① NORMAL SPEED ... (通常速度で録音する)
② HIGH SPEED.......... (倍速で録音する)

3 録音モードを選ぶ(本体)

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>
multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON :曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入る
OFF :曲タイトルの頭の部分に「LP:」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>
enterキーを押す。

- 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON...... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

4 録音したい曲を再生する

❶ CDを再生する。

（リモコン）　　　　（本体）

❷ 録音したい曲を再生する。

5 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD ＜NORMAL＞"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

リモコン

MD O.T.E.キーを押す。

SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　　　　（本体）

MD o.t.e.

MD O.T.E.キーを押す。

6 録音終了後MDを取り出す

（本体）

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD＜NORMAL＞
② CD→MS＜NORMAL＞
③ TWIN REC
④ MD→MS＜NORMAL＞
⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→59
- 録音が終了するとCDは一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.4 CD → MD CDをワンタッチで録音する
（ワンタッチエディット通常速録音）（O.T.E.）（NORMAL）

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。（全曲録音）
同様に、MP3／WMAファイル収録ディスクのファイルも録音することができます。
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に
デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

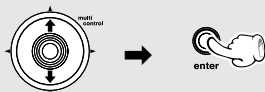
- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。（CDプレーヤーのみ）

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。 →26

- 必要に応じて、グループ録音のON/OFFを切り換えます。 →69

2 録音スピードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーで上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸ multi controlキーで上下に操作して"NORMAL SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① NORMAL SPEED ...（通常速度で録音する）
② HIGH SPEED..........（倍速で録音する）

3 録音モードを選ぶ（本体）

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

＜LP2、LP4を選んだときは＞

multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

＜STEREO、MONOを選んだときは＞

enterキーを押す。

● 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON ...... 録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

4 CDの停止状態を確認する

全曲（全ファイル）録音するとき

再生中のときは停止させる。

（リモコン）　　（本体）

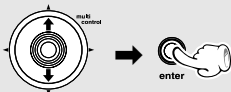
選択したフォルダのみを録音するとき（MP3／WMAファイル収録ディスクのみ）

録音したいフォルダを選ぶ。

● フォルダ再生モードの手順1～3を行います →34

5 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。
（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD <NORMAL>"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。
（本体）

リモコン

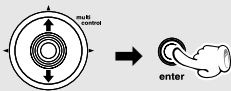
MD O.T.E.キーを押す。

SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　（本体）

MD o.t.e.

MD O.T.E.キーを押す。

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<NORMAL>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- CD再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了するとCDプレーヤーは一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。→59

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後MDを取り出す

（本体）

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4
応用編

4.1.5 CD → MD 曲順を並べ換えて通常速録音する（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）（NORMAL）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに録音することができます（倍速録音はできません）。
MP3／WMAファイル収録ディスクでは、プログラムしたフォルダとファイルの順で録音できます。
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。 →26

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる 。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。 →26

- 必要に応じて、グループ録音のON/OFF を切り換えます。 →69

2 録音スピードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して"NORMAL SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① NORMAL SPEED ... （通常速度で録音する）
② HIGH SPEED.......... （倍速で録音する）

3 録音モードを選ぶ(本体)

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

＜LP2、LP4を選んだときは＞
multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

＜STEREO、MONOを選んだときは＞
enterキーを押す。

● 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON ......録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF ....録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

4 CDの停止状態を確認する

再生中の時は停止させる。
(本体) (リモコン)

5 CDの曲順をプログラムする

通常のプログラム

"3.2.2 CDのプログラム再生"の手順2～3で録音する曲をプログラムする。 →29

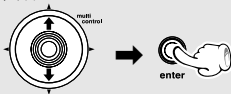
● MP3／WMAファイル収録ディスクではこの操作はできません。

MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダプログラム

"3.3.4 MP3／WMAファイル収録ディスクのプログラム再生"の手順2～3で録音するフォルダとファイルのプログラムをする →37

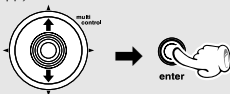
6 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD ＜NORMAL＞"を選んでenterキーを押すと通常録音が始まります。

（本体）

リモコン

MD O.T.E.キーを押す。

SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　（本体）

MD O.T.E.キーを押す。

7 録音終了後MDを取り出す（本体）

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

6

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

①CD→MD＜NORMAL＞
②CD→MS＜NORMAL＞
③TWIN REC
④MD→MS＜NORMAL＞
⑤MS→MD＜NORMAL＞

- プログラムの1曲目（1ファイル目）から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- CDプログラム再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →59

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

4.1.6 CD → MD 曲順を並べ換えて倍速録音する（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）（HIGH）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに録音することができます。
MP3／WMAファイル収録ディスクでは、倍速録音はできません。
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる 。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

● 必要に応じて、グループ録音のON/OFFを切り換えます。 →69

2 録音スピードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. SPEED"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して"HIGH SPEED"を選んでenterキーを押す。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。
① NORMAL SPEED ...（通常速度で録音する）
② HIGH SPEED..........（倍速で録音する）

HIGH
点灯

3 録音モードを選ぶ（本体）

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>
multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>
enterキーを押す。

- 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO ....モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON......録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF ....録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

4 CDの停止状態を確認する

再生中の時は停止させる。

（本体）　　　　　　　（リモコン）

5 CDの曲順をプログラムする

通常のプログラム

"3.2.2 CDのプログラム再生"の手順2～3で録音する曲をプログラムする。 →29

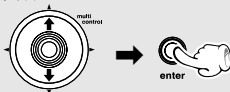
- MP3／WMAファイル収録ディスクではこの操作はできません。

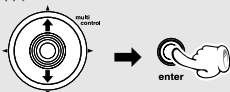
6 録音を始める

SJ-7MS

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MD＜HIGH＞"を選んでenterキーを押すと倍速録音が始まります。

（本体）

リモコン

MD O.T.E.キーを押す。

SJ-5WM/KF-7700

（リモコン）　　（本体）

MD o.t.e.

MD O.T.E.キーを押す。

6

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD＜HIGH＞
② CD→MS＜NORMAL＞
③ TWIN REC
④ MD→MS＜NORMAL＞
⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- プログラムの1曲目から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- CDプログラム再生またはMD録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えてNORMALで録音してください。 →59

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

7 録音終了後MDを取り出す

（本体）

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.7 CD → MS CD全曲をワンタッチで録音する SJ-7MSのみ
（ワンタッチエディット通常速録音）（O.T.E.）（NORMAL）

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。（全曲録音）
同様に、MP3／WMAファイル収録ディスクのファイルも録音することができます。
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティックは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →64

DIGITAL

点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り替ります。

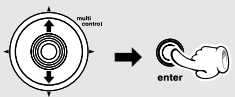
1 録音の準備をする

❶ 録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

2 録音モードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

LP（66kbps）、SP（105kbps）、EX（132kbps）から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP（66kbps）
② SP（105kbps）
③ EX（132kbps）

"メモリースティックの再生モードについて"→50

3 CDの停止状態を確認する

再生中のときは停止させる。

（リモコン）　　　　　　（本体）

選択したフォルダのみを録音するとき（MP3／WMAファイル収録ディスクのみ）

録音したいフォルダを選ぶ。

- フォルダ再生モードの手順1〜3を行います →34

4 録音を始める

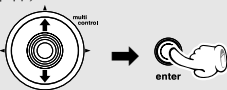
本体

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MS <NORMAL>"を選んでenterキーを押すと通常録音が始まります。

（本体）

リモコン

MS O.T.E.キーを押す。

5 録音終了後メモリースティックを取り出す

4

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<NORMAL>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- CD再生またはメモリースティック録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →64

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.8 CD → MS CDの中の1曲をワンタッチで録音する SJ-7MSのみ

(ワンタッチエディット通常速録音)(O.T.E.)(NORMAL)

CDからメモリースティックにカンタン操作で録音できます。
同様に、MP3/WMAファイル収録ディスクも再生中のファイルを録音することができます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティックは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →64

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3/WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。 →26

2 録音モードを選ぶ(本体)

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

LP(66kbps)、SP(105kbps)、EX(132kbps)から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP(66kbps)
② SP(105kbps)
③ EX(132kbps)

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 録音したい曲を再生する

（リモコン）　　　　　（本体）

- MP3／WMAファイル収録ディスクでは、フォルダサーチ（→34）またはフォルダセレクト（→35）でフォルダを選んでから、I◄◄,►►Iキーで聴きたいファイルを選択することもできます。
- 曲の途中でMS O.T.E.キーを押しても、その曲の初めから録音が始まります。

4 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MS＜NORMAL＞"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

リモコン

MS O.T.E.

MS O.T.E.キーを押す。

5 録音終了後メモリースティックを取り出す

4

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD＜HIGH＞
② CD→MS＜NORMAL＞
③ TWIN REC
④ MD→MS＜NORMAL＞
⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- CD再生またはメモリースティック録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS（→142）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →64

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.9 CD → MS 曲順を並べ換えて録音する SJ-7MSのみ

（プログラム再生(PGM)＋O.T.E.）（NORMAL）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをメモリースティックに録音することができます（倍速録音はできません）。MP3／WMAファイル収録ディスクでは、プログラムしたフォルダとファイルの順で録音できます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティックは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →64

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
❷ CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる。→26

2 録音モードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

LP(66kbps)、SP(105kbps)、EX(132kbps)から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

→ ① LP(66kbps)
② SP(105kbps)
→ ③ EX(132kbps)

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 CDの停止状態を確認する

再生中の時は停止させる。
（リモコン）　（本体）

■ STOP

4 CDの曲順をプログラムする

通常のプログラム

"3.2.2 CDのプログラム再生"の手順❷～❸で録音する曲をプログラムをする。 →29

MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダプログラム

"3.3.4 MP3／WMAファイル収録ディスクのプログラム再生"の手順❷～❸で録音するフォルダとファイルをプログラムする。 →37

5 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"CD→MS <NORMAL>"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

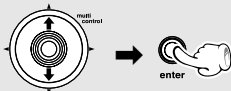
（本体）

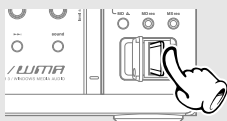
リモコン

MS O.T.E.キーを押す。

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD＜HIGH＞
② CD→MS＜NORMAL＞
③ TWIN REC
④ MD→MS＜NORMAL＞
⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- プログラムの1曲目（1ファイル目）から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- **CD**プログラム再生または**メモリースティック**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

6 録音終了後メモリースティックを取り出す

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体STOP■キー（またはリモコン■STOPキー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.10 CD → MD MS CD全曲をメモリースティックとMDに同時録音する SJ-7MSのみ（NORMAL）

CDの全曲を、メモリースティックとMDに同時に、録音することができます。（全曲同時録音）
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティック、MDは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59 →64

DIGITAL

点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ メモリースティック：録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
MD：録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる。 →26

- 必要に応じて、グループ録音のON/OFFを切り換えます。 →69

2 メモリースティックの録音モードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

"LP（66kbps）"、"SP（105kbps）"、"EX（132kbps）"から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP（66kbps）
② SP（105kbps）
③ EX（132kbps）

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 MDの録音モードを選ぶ(本体)

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>

multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>

enterキーを押す。

4 CDの停止状態を確認する

再生中のときは停止させる。
(リモコン)　　　(本体)

- MDの録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON...... 録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

5 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"TWIN REC"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<NORMAL>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- MDとメモリースティックそれぞれに録音可能な残り時間がないと、MDの場合は"DISC FULL"と表示され、メモリースティックの場合は"STICK FULL"と表示され、録音できません。
- CD再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによってはSCMS（→142）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →59 →64

録音元のディスクにSCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
メモリースティックのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"CAN'T COPY"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後メモリースティックとMDを取り出す（本体）

録音を途中でやめるには

本体■STOPキー（またはリモコンSTOP■キー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

4.1.11 CD → MD MS CDの中の1曲をメモリースティックとMDに同時録音する SJ-7MSのみ（NORMAL）

今聴いている曲だけを、曲の最初からメモリースティックとMDに同時に録音できます。（1曲同時録音）
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティック、MDは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59 →64

DIGITAL

点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ メモリースティック：録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。→62
MD：録音可能なMDをMD挿入口に入れる。→57
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる。→26

2 メモリースティックの録音モードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

"LP（66kbps）"、"SP（105kbps）"、"EX（132kbps）"から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP（66kbps）
② SP（105kbps）
③ EX（132kbps）

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 MDの録音モードを選ぶ（本体）

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

＜LP2、LP4を選んだときは＞

multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON　：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

＜STEREO、MONOを選んだときは＞

enterキーを押す。

4 録音したい曲を再生する

（リモコン）　（本体）

- MDの録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

→ ① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。→48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

→ ON......録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF ....録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

5 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"TWIN REC"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

録音元のディスクにSCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
メモリースティックのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"CAN'T COPY"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後メモリースティックとMDを取り出す（本体）

録音を途中でやめるには

本体■STOPキー（またはリモコンSTOP■キー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

5

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<HIGH>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- MDとメモリースティックそれぞれに録音可能な残り時間がないと、MDは"DISC FULL"、メモリースティックは"STICK FULL"と表示され、録音しません。
- CD再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによってはSCMS（→142）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →59→64

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

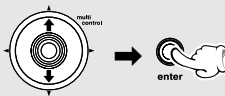
4.1.12 CD → MD MS CDを曲順を並べ換えて同時録音する SJ-7MSのみ

（プログラム再生（PGM）＋ TWIN REC）（NORMAL）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをメモリースティックとMDに録音することができます（倍速録音はできません）。
MP3／WMAファイル収録ディスクでは、プログラムしたフォルダとファイルの順で録音できます。
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできます。
ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →142

入力切り換えを"CD"にする。メモリースティック、MDは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときはアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"CDの録音形式を選ぶ" →59→64

DIGITAL
点灯

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

- MP3／WMAファイル収録ディスクではデジタル録音はできません。デジタル録音を選択しても、自動的にアナログ録音に切り換ります。

1 録音の準備をする

❶ メモリースティック ：録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
MD ：録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる。 →26
❸ 表示部の"HIGH"（録音スピードが倍速になっている）表示が消灯していることを確認する。

- 必要に応じて、グループ録音のON/OFFを切り換えます。 →69

2 メモリースティックの録音モードを選ぶ（本体）

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

"LP（66kbps）"、"SP（105kbps）"、"EX（132kbps）"から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP（66kbps）
② SP（105kbps）
③ EX（132kbps）

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 MDの録音モードを選ぶ（本体）

❶ mode キーを押す。
❷ milti controlキーを上下に操作して、"MD REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ milti controlキーを上下に操作して、「LP2」、「LP4」、「STEREO」、「MONO」の中から録音したいモードを選ぶ。

<LP2、LP4を選んだときは>

multi controlキーを右に操作し、MDスタンプ機能設定に移る。multi controlキーを上下に操作し、"ON"または"OFF"を選び、enterキーを押す。

ON ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入る
OFF ：曲タイトルの頭の部分に「LP：」の文字が入らない

<STEREO、MONOを選んだときは>

enterキーを押す。

- MDの録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

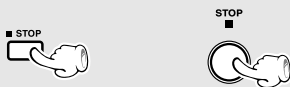
① STEREO .... ステレオ録音モード
② LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
③ LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
④ MONO .... モノラル録音モード

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。 →48

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

ON ...... 録音した曲に"LP："というタイトルを自動的に入力する
OFF .... 録音した曲に"LP："というタイトルを入力しない

4 CDの停止状態を確認する

再生中のときは停止させる。
（リモコン）　　　　　（本体）

5 CDの曲順をプログラムする

通常のプログラム

"3.2.2 CDのプログラム再生"の手順2〜3で録音する曲をプログラムする。 →29

- MP3／WMAファイル収録ディスクでは本操作はできません。

MP3／WMAファイル収録ディスクのフォルダプログラム

"3.3.4 MP3／WMAファイル収録ディスクのプログラム再生"の手順2〜3で録音するフォルダとファイルをプログラムする。 →37

6 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"TWIN REC"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

7 録音終了後メモリースティックとMDを取り出す（本体）

録音を途中でやめるには

本体■STOPキー（またはリモコンSTOP■キー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

---

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<HIGH>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- MDとメモリースティックそれぞれに録音可能な残り時間がないと、MDは**"DISC FULL"**、メモリースティックは**"STICK FULL"**と表示され、録音しません。
- **CD**再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**（→142）により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →59 →64

録音元のディスクにSCMS（→142）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
メモリスティックのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"CAN'T COPY"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"CAN'T COPY"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

4.1.13 MD → MS MDをワンタッチで録音する SJ-7MSのみ
(ワンタッチエディット録音)(O.T.E.)(NORMAL)

MDの全曲を、ワンタッチでメモリースティックに録音できます。(全曲録音)
MDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(1曲録音)
選択中のMDグループ内の全曲をワンタッチで録音できます。(MDグループ録音)
プログラムした曲をワンタッチで録音できます。(プログラム録音)

入力切り換えを"MD"にする。

1 録音の準備をする

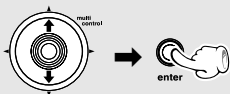
❶ 録音可能なメモリースティックをメモリースティック挿入口に入れる。 →62
❷ MD 挿入口に録音元のMDを入れる。 →40

- 録音は通常速度で行われます。
- デジタル録音はできません。デジタル録音を選択("DIGITAL"点灯)しても、自動的にアナログ録音に切り換えます。

2 録音モードを選ぶ(本体)

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"MS REC MODE"を選んでenterキーを押す。
❸ multi controlキーを上下に操作して録音したいモードを選び、enterキーを押す。

LP(66kbps)、SP(105kbps)、EX(132kbps)から選択します。

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① LP(66kbps)
② SP(105kbps)
③ EX(132kbps)

"メモリースティックの再生モードについて" →50

3 MDの再生状態を確認する

全曲録音するとき

再生中のときは停止させる。
(リモコン) (本体)

1曲録音するとき

録音したい曲を再生する。
(リモコン) (本体)

- FOL./GRP. SEARCHキー(→43)でグループを選んで、|◄◄、►►|キーで録音したい曲を選ぶこともできます。

グループ内の全曲を録音するとき

停止中に

選択したいグループを選ぶ。

- グループ再生モードの手順❶〜❸を行います →43

プログラムした曲を録音するとき

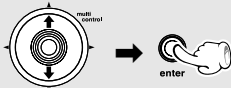
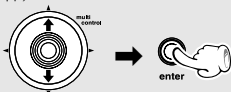
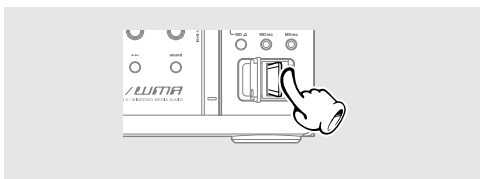
停止中に

"3.4.3 MDのプログラム再生"の手順❷、❸で録音する曲をプログラムする。 →45

4 録音を始める（本体）

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。

（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"MD→MS <NORMAL>"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。

（本体）

4

multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD<NORMAL>
② CD→MS<NORMAL>
③ TWIN REC
④ MD→MS<NORMAL>
⑤ MS→MD<NORMAL>

- 1曲録音のときは、曲の途中で実行しても、その曲の初めから録音が始まります。
- MD再生または**メモリースティック**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了すると**メモリースティック**は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

5 録音終了後メモリースティックを取り出す

"メモリースティックアクセス（ACCESS）インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体■STOPキー（またはリモコンSTOP■キー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.1.14 MS → MD メモリースティックをワンタッチで録音する SJ-7MSのみ（ワンタッチエディット録音）（O.T.E.）（NORMAL）

メモリースティックの全曲を、ワンタッチでMDに録音できます。（全曲録音）
メモリースティックを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（1曲録音）

入力切り換えを"メモリースティック（MS）"にする。

1 録音の準備をする

❶ 録音可能なMDをMD挿入口に入れる。 →57
❷ メモリースティック挿入口に録音元のメモリースティックを入れる。 →49

- 録音は通常速度で行われます。
- デジタル録音はできません。デジタル録音を選択（**"DIGITAL"**点灯）しても、自動的にアナログ録音に切り換えます。

2 メモリースティックの再生状態を確認する

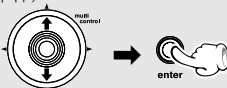
全曲録音するとき

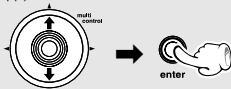
再生中のときは停止させる。
（リモコン）　（本体）

1曲録音するとき

録音したい曲を再生する。
（リモコン）　（本体）

3 録音を始める

本体

❶ modeキーを押す。
❷ multi controlキーを上下に操作して"O.T.E. MODE"を選んでenterキーを押す。
（本体）

❸ multi controlキーを上下に操作して"MS→MD ＜NORMAL＞"を選んでenterキーを押すと録音が始まります。
（本体）

❸
multi controlキーを上下に操作するたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→MD＜NORMAL＞
② CD→MS＜NORMAL＞
③ TWIN REC
④ MD→MS＜NORMAL＞
⑤ MS→MD＜NORMAL＞

- 1曲録音のときは、曲の途中で実行しても、その曲の初めから録音が始まります。
- **メモリースティック**再生または**MD**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 録音が終了すると**MD**は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

4 録音終了後MDを取り出す（本体）

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体■STOPキー（またはリモコンSTOP■キー）を押します。
（録音、再生ともに停止します。）

4.2パソコンからメモリースティックにつなぐ（PC CONNECT（コネクト））SJ-7MSのみ

本機のUSB端子にパソコンからUSB接続し、パソコン内の音楽をメモリースティックにダウンロードすることができます。本機においてパソコンからの音楽を再生するには、付属のソフトウェアを使用して、パソコンのハードディスクから本機のメモリースティックへ音楽データを転送します。

チェックイン/チェックアウトについて

パソコンからメモリースティックへ転送することをチェックアウト、メモリースティックからパソコンへ転送することをチェックインと呼びます。

チェックイン/チェックアウトの制限

- チェックアウトした音楽データは、チェックアウト元のパソコンにのみチェックインできます。他のパソコンにコピーや転送することはできません。
- 3回チェックアウトした曲は、それ以上チェックアウトすることはできません。（ただし一度チェックアウトした曲を「チェックイン」によりパソコンに戻せば、再びチェックアウトすることができます。
- 音楽データ自体に記録や再生方法に制限が付加された状態で配信されるものがあります。本機は著作権者の意図に沿った記録や再生ができるように、著作権保護技術を搭載しています。
  本機の著作権保護技術は、SDMI（Secure Digital Music Initiative）の基準に準拠しています。

付属のソフトウェアについて

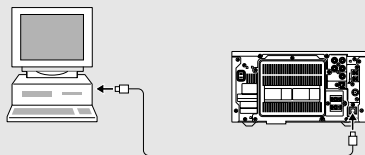
- ソフトウェアの操作は、付属のCD-ROMヘルプをご覧ください。
- インストール／アンインストールの仕方は、CD-ROM同梱のシートをご覧ください。
- 付属ソフトウェアでは、SDMI※の取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことができません。
- 本機の著作権保護技術は、SDMI（Secure Digital Music Initiative）の基準に準拠しています。

SDMI（エスディーエムアイ）（Secure Digital Music Initiative）
全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、約130社以上の企業・団体がレコード業界、コンピュータ業界、民生用エレクトロニクス業界などから集まり構成されたフォーラム。音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法な音楽配信サービスを促進するための枠組作りを行っています。本機の著作権保護技術「OpenMG」と「MagicGate」はSDMIの規格に準拠しています。

使用上の注意

- 読み込み中か書き込み中に、メモリースティックやUSB接続ケーブルや電源コードを抜いた場合、データが破壊されることがあります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが破壊されることがあります。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

4.2.1 パソコンと本機を接続する

1 パソコンのUSB接続端子と本機のUSB接続端子を接続する

USB接続時の注意

パソコンに接続する前に、付属ソフトウェアはインストール終了してください。

- チェックイン、チェックアウトなどの情報のやりとり中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- USB接続ケーブルを抜き差しするときは、パソコンの電源を切ってから行ってください。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。

4.2.2 チェックイン/チェックアウトをできるようにする

本機の電源を入れ、入力切り換えを"MS(メモリースティック)"にする。停止中に操作してください。

1 ダウンロードの準備をする

録音可能なメモリースティックまたはチェックイン用のメモリースティックを、メモリースティック挿入口に入れる → 62

2 メモリースティックの停止状態を確認する

再生中のときは停止させる

(リモコン)

(本体)

3 PC CONNECTをONにする(本体)

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"PC CONNECT"を選択し、enterキーを押す。

PC CONNECT
OK

❸ enterキーを押す。

PC CONNECT

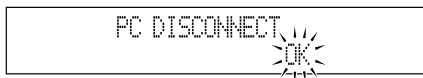
- PC CONNECTをONにしている間は、modeキー、enterキー、POWER(I/⏻)キー以外は操作できません。
- お使いのパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

4 付属ソフトウェア内のヘルプ機能に従ってチェックイン/チェックアウトを行う

パソコンと本機の接続を解除する(PC DISCONNECT)(本体)

❶ パソコン側でUSB接続を解除する操作を行う。

❷ modeキーを押す。

PC DISCONNECT
OK

❸ enterキーを押す。

4.2.3 パソコン・データの書き込み/読み出し

付属ソフトウェア"Mulia"をパソコンにインストールすると、USBドライバーがインストールされます。
本機は、モード設定"PC CONNECT"を「PC CONNECT」状態にすると、メモリースティックのデータ書き込み/読み出し機として働いています。
USB接続し、パソコンのOS基本操作を行うことにより、パソコン・データをパソコン・メモリースティック間で相互に移動できます。

- マジックゲート メモリースティックと汎用メモリースティックが使用可能です。
- 付属ソフトウェアとインストールについては、ソフトウェアに添付されていますインストール/アンストール説明書を参照ください。

4.3 MD、メモリースティックのタイトル編集機能

MD、メモリースティックにディスクタイトル、メモリースティックタイトル、グループタイトル（MD）および曲のタイトル（名前）をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。

4.3.1 MDのディスク、グループおよび曲にタイトルをつける（リモコンのみ）

入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

途中でやめるときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。→40

1 タイトル入力状態にする

入力する文字（全角／半角文字）を選択し、タイトルをつけるディスク名／グループ名／曲名を選びます。

1-1 ディスク名（ディスクタイトル）／曲名（トラックタイトル）をつける

❶ タイトルを入力するMDをセットし、停止状態を確認する。

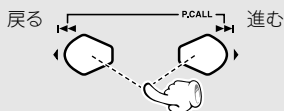
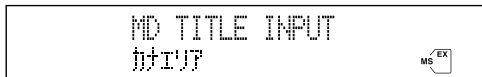
❷ "PGM"および"□"が消えていることを確認する。

❷
"□"が点灯しているときは、P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して"PGM"および"□"を消灯させます。

❸ TITLE INPUTキーを押し、文字エリア選択に移る。

❹ ⏮，⏭キーを押し、"漢字エリア"、"カナエリア"を選ぶ。

❹

MD TITLE INPUT
ｶﾅｴﾘｱ
MS EX

⏮，⏭キーを押すたびに切り換わります。

- ｶﾅｴﾘｱ.................. 半角で入力
- 漢字エリア .... 全角で入力

<カナエリアでは半角の以下の文字が入力できます>

- アルファベット大小文字、特殊文字
- 数字、特殊文字
- カタカナ

<漢字エリアでは全角の以下の文字が入力できます>

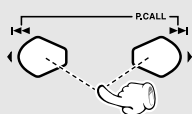
- ひらがな
- カタカナ
- アルファベット大小文字、特殊文字
- 数字、特殊文字
- JISコード［xxxx］（漢字）

❺ SETキーを押し、入力文字エリアを確実にする。

❻ ディスク名入力、または曲名をつける曲を選ぶ。

⏮ , ⏭キーを押す。

❼ SET(セット)キーを押し確定する。タイトル入力に移る。

❻

⏮ , ⏭キーを押すたび切り換わります。

DISC ....ディスクタイトル
001 .... トラックタイトル
↓
最終トラック番号 .... トラックタイトル

● タイトルをつけていないときは、"••••••"と表示されます。

入力できる文字数について

MDレコーダーでは、MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
●スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
● タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート))をご利用ください。 →106

1-2 グループ名（GROUP TITLE）をつける

全角文字は入力できません

❶ グループタイトルを入力するMDをセットし、停止状態を確認する。

- グループ登録されているMDをセットします。

❷ P.MODE/CHARAC. キーを繰り返し押して"□（MD グループ）"を点灯する。

❸ ◆FOL./GRP SEARCHキーを押し、タイトル入力するグループを選ぶ。

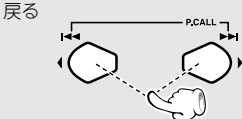
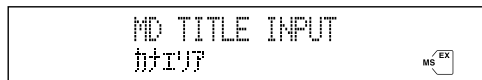
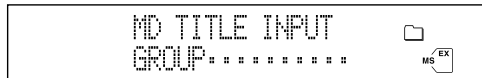
❸
- グループタイトルをつけていないときは、グループ番号が表示されます。

❹ TITLE INPUTキーを押し、入力設定エリア選択に移る。

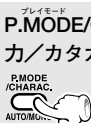
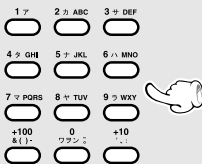
❺ ⏮，⏭キーを押し、"ｶﾅｴﾘｱ"を選ぶ。
戻る　進む

MD TITLE INPUT
ｶﾅｴﾘｱ
MS EX

❻ SETキーを押し、"ｶﾅｴﾘｱ"を確定する。

❻

❼ SETキーを押し、タイトル入力するグループを確定し、タイトル入力に移る。

2 文字を入力する

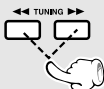
2-1 ひらがな／カタカナ／英数字&記号を入力する

❶ P.MODE/CHARAC.キーを操作し、ひらがな入力／カタカナ入力／英数字＆記号入力を選ぶ。

❷ 文字を選ぶ。

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（Ａａを選んだ例：2 カ ABC（２ヵＡＢＣ）を押したとき
A→B→C→a→b→c と変わります。）

- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押します。
- 詳しい文字の入力のしかた→107→109→110

❸ SETキーを押し、文字を設定する。

❹ 手順❶〜❸を繰り返し、タイトルを入力する。

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

入力される場所
（カーソル点滅）

❶
P.MODE/CHARAC. キーを押すごとに切り換ります。

漢字エリア選択時（全角文字入力）

- あぁ .... ひらがな入力
- アァ .... カタカナ入力
- Aa .... アルファベット入力
- 12 .... 数字入力
- JISコード［＊＊＊＊＊］...... 区点コード入力

カナエリア選択時（半角文字入力）

- Aa .... アルファベット入力
- 12 .... 数字入力
- アァ .... カタカナ入力

- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- TIME/SPACEキーで、1文字分の空白を入力することができます。

入力した文字とカーソルが交互に表示される

タイトルを変更、消去する場合

❶ ◀◀ , ▶▶キーを押し、カーソルを目的の文字に合わせる。

❷ CLEAR/DELETEキーを押す。

❸ タイトルを入力する場合の❶〜❹を行う。

例：ABCのBを削除する場合
ABC..... Bにカーソルを合わせます。

- 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直前の文字にカーソルを合わせます。

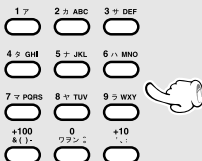
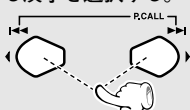
例：ABCのAB間に文字を挿入する場合
ABC..... Bにカーソルを合わせてから文字を入力します。

4

応用編

2-2 漢字入力1(ひらがなから漢字を入力する)

❶ P.MODE/CHARAC.キーを押し、ひらがな入力で"あぁ"を選択する。

❷ 入力したい漢字の"音読み"の一文字を入力する。

❸ ⏮ , ⏭キーを押し、音読みの"か"ではじまる漢字を選択する。

❹ SETキーを押し文字を設定する。

❺ 手順❶〜❹を繰り返し、タイトルを入力する。

- MD機能で漢字入力するには、1-1の❹で漢字エリア(全角入力)を選択していないと入力できません。漢字エリアが選択されていないときは、手順1の操作をし、漢字エリアを選択してから行ってください。

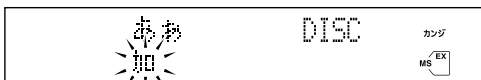
例:"加"という漢字を入力する

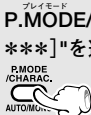
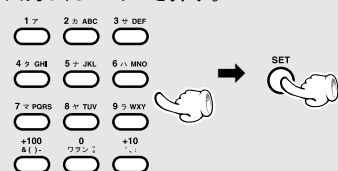
❶

❷

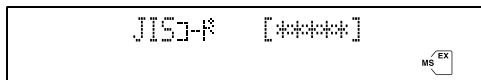
❸

⏮、⏭キーを押すごとに、本機に登録されている漢字を表示します。

❹

2-3 漢字入力2(JISコードから漢字を入力する)

❶ P.MODE/CHARAC.キーを押し、"JISコード[*****]"を選択する。

❷ 入力したい漢字の区点コード(5桁)を数字キーで入力し、SETキーを押す。

❸ SETキーを押し文字を設定する。

❹ 手順❶〜❸を繰り返し、タイトルを入力する。

- MD機能で漢字入力するには、1-1の❹で漢字エリア(全角入力)を選択していないと入力できません。漢字エリアが選択されていないときは、手順1の操作をし、漢字エリアを選択してから行ってください。
- 区点コードは区点コード表(→150〜→158)を参照してください。

3 タイトルの編集を実行する

全ての文字入力設定が終了したらenterキーを押しタイトルを最終確定する。

● 手順❶〜❸を繰り返し、次のタイトル入力を続けます。

● ディスクタイトル入力が終了すると、トラック001のタイトル入力待ち状態に移ります。

4 タイトル編集を終了する

TITLE INPUTキーを押し、終了する。

5 入力したタイトルを記録する

MDを取り出す（本体）

● グループタイトル入力が終了すると、同グループ内最初のトラックのタイトル入力待ち状態になります。

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

4.3.2 メモリースティック、および曲にタイトルをつける(リモコンのみ)

SJ-7MSのみ

入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

途中でやめるときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

入力切り換えを"メモリースティック(MS)"にする。停止中に操作してください。

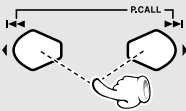
1 タイトル入力状態にする

タイトル入力できる文字種類は、全角文字のみです。

メモリースティックや曲にタイトルをつける

❶ タイトルを入力するメモリースティックをセットし、停止状態を確認する。

❷ TITLE INPUTキーを押す。

❸ スティック名入力または曲名をつける曲を選ぶ。
⏮ , ⏭キーを押す。

❹ SETキーを押し、確定する。タイトル入力に移る。

❷

MS TITLE INPUT
STICK:........

❸

⏮、⏭キーを押すごとに切り換ります。

- STICK .... スティックタイトル
- 001 ....トラックタイトル
- 最終トラック番号 ....トラックタイトル

2 タイトルを入力する

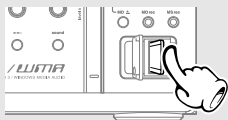
入力できる文字種類は、全角文字のみです。
文字入力操作手順は、「4.3.1 MDのディスク、グループおよび曲にタイトルをつける」の"手順2文字を入力する"を参照ください。→106

3 タイトルの編集を実行する

全ての文字入力設定が終了したらENTERキーを押し、最終タイトルを確定する。

● タイトル入力が終了すると、トラック001のタイトル入力待ち状態へ移ります。

4 入力したタイトルを記録する

メモリースティックを取り出す

● 手順1〜3を繰り返し、次のタイトル入力を続けます。

"メモリースティックアクセス(ACCESS)インジケーター"が急速点滅中は、情報をメモリースティックに書き込んでいることを示します。録音中、または急速点滅中には振動や衝撃を加えないでください。

入力できる文字数について

メモリースティックでは、メモリースティック全体で最高で400曲、1曲につき最大80文字まで入力できます。
●スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
● タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETE)をご利用ください。 →106

4.4 MDの編集機能

市販の録音用MDを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のMDは編集できません。

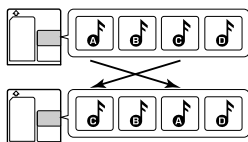
MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずMDを取り出して下さい。

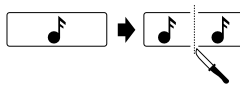
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →144

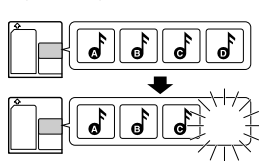
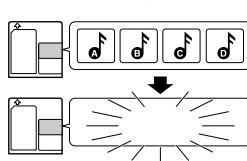
トラック編集機能

曲順の入れ替え

曲順を1曲づつ入れ替える(MOVE) →113

曲の分割と結合

再生中の曲を分ける(DIVIDE) →116

再生中の曲をつなぐ(COMBINE) →118

曲の消去

1曲づつ消す(ERASE) →120

MD内の曲を全て消す(ALL ERASE) →121

MD/グループ編集・登録したMDを、グループ機能を搭載していない機器で再生することについて:

グループ編集・登録したMDのグループ情報は、MDのグループ各情報を書き込む場所に記録されます。グループ機能を搭載していない機器で、ディスクタイトル 表示操作を行うと、グループ名情報も表示されます。これは、故障ではありません。

MD/グループ編集・登録したMDを、グループ機能を搭載していない機器で編集することについて

グループ編集・登録したMDを、グループ機能を搭載していない機器で編集しないでください。

MD/グループ機能の制限について:

本機で扱えるグループ数は、最大99個です。他社のMD機器でグル-プ編集されたMDの中には、グループは設定されているが曲範囲がないグループもあります。このようなMDを本機で再生させた場合、本機は"曲範囲がない"グループをグループとして認証しません。

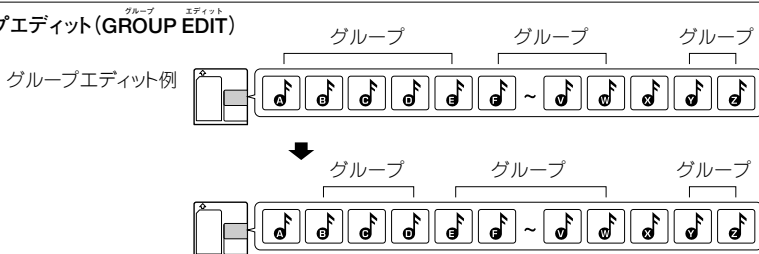
- 下記条件になると、メッセージ「CAN'T EDIT」が表示され、新しいグループ作成は中止されます。

  グループ数の制限 : 最大99個

  DISC NAME・エリアの文字数の制限 : DISC NAME・文字数とグループ情報関係・文字数の合計が、最大100文字

- 他社のMD機器でグループ編集されたMDの中には、「グループ情報はあるが、曲範囲情報がない」と編集されるMDもあります。

  このようなMDを本機で再生させた場合、本機はこのグループをグループとして認識しません。曲編集・タイトル編集には、ご注意ください。

グループ編集機能：

POINT

- 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。
- 曲のグループ登録先を変更するには：
  グループ登録済の曲を他のグループに登録しなおすときは、次のいずれかの操作で、その曲をいったんグループ登録されていない状態に戻してください。
  GROUP CANCELでグループを解除する →124
  GROUP EDITでグループの範囲を変更する →126

4.4.1 曲順を1曲づつ入れ換える(MOVE)(リモコンのみ)

再生中の曲を、お好みの位置へ移動(挿入)することができます。入れ換えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ換えることができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

MD再生中または一時停止中に操作してください。

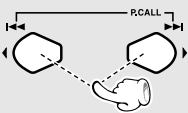
- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 "MOVE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮、⏭キーを押し、"MOVE"を選ぶ。

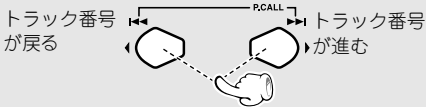
❷

⏮、⏭ キーを押すたびに切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

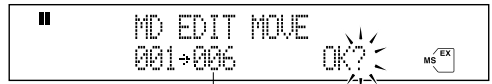
❸ SETキーを押し、設定する。

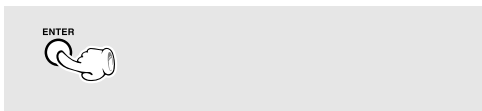
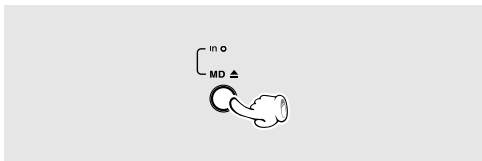
- 第1曲目再生中、"COMBINE"は表示されません。

2 移動先を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ。

❷ SETキーを押し、設定する。

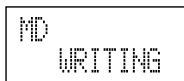
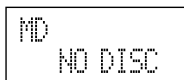
トラックNo.6とNo.7の間に移動する例

- 下図の場合、移動曲のトラック番号は次のようになります。
  No.1〜No.5のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は**"006"**にかわります。
  No.8以降のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は**"007"**にかわります。

移動先のトラック番号

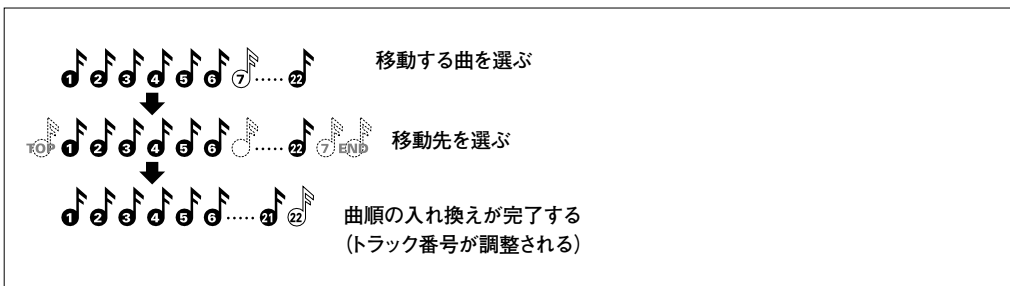
3 ENTERキーを押し曲の移動を実行する(リモコン)

実行後の表示

EDIT NOW ：編集中
COMPLETE ：編集完了
CAN'T EDIT ：編集不可能

- グループ属性について
  あるグループから別のグループに移動したときは、移動先のグループ所属となります。ただし、移動先の1つ前の曲がグループに属していないとき(グループの先頭に移動したときも含みます)は、グループ無所属となります。

4 MDを取り出す(本体)

情報を書き込み中

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ換えるイメージ

移動する曲を選ぶ

移動先を選ぶ

曲順の入れ換えが完了する
(トラック番号が調整される)

停止中に曲を移動する(リモコン)

❶ TRACK EDITキーを押す。
❷ ⏮、⏭キーで"TRACK"、"GROUP"、から"TRACK"を選ぶ。
❸ SETキーを押す。
❹ ⏮、⏭キーで"MOVE"、"COMBINE"、"ERASE"から"MOVE"を選ぶ

```
MD TRACK EDIT
MOVE
```

❺ SETキーを押す。
❻ ⏮、⏭キーで移動する曲を選ぶ。

```
MD TRACK MOVE
001 TRACK
```

❼ SETキーを押す。
❽ ⏮、⏭キーで移動先を選ぶ。
トラックNo.6とNo.7に移動する例

```
MD EDIT MOVE
006 ↑ 007
```

❾ SETキーを押す。

```
MD EDIT MOVE
001→006    OK?
```

❿ ENTERキーを押して曲の移動をする。
⓫ MDを取り出す。

4.4.2 曲を分ける(DIVIDE)(リモコンのみ)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

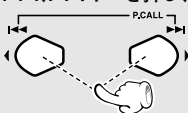
MD再生中または一時停止中に操作してください。

- "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所で TRACK EDITキーを押す

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーを押し、"DIVIDE"を選ぶ。

❸ SETキーを押し、設定する。

- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。
- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

DIVIDE
CONBINE
ERASE
MOVE

- 第1曲目再生中、"COMBINE"は表示されません。

3 曲の分割を実行する

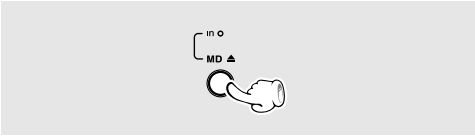
POINT 手順1～3を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

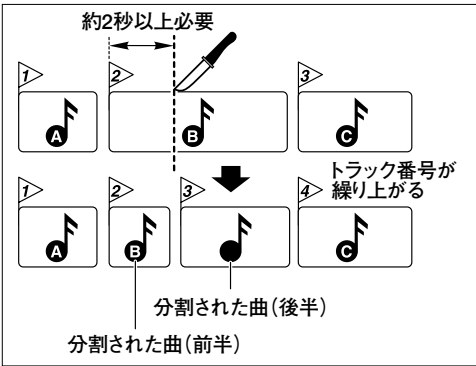
実行後の表示

EDIT NOW ：編集中
COMPLETE ：編集完了
CAN'T EDIT ：編集不可能

- 分割してできた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめから再生します。
- グループ属性について
  分割してでできた曲は、分割する前のグループ所属になります。また、分割する前の曲がグループに属していないときは、分割してでできた曲もグループ無所属となります。

4 MDを取り出す（本体）

MD WRITING	情報を書き込み中
↓	
MD NO DISC	MDを排出

> "WRITING"（ライティング）点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

4.4.3 曲をつなぐ(COMBINE)(リモコンのみ)

2つの曲をつないで1つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

> 異なる録音モードの2つの曲はつなぐことができません。(例:"LP4"+"LP2"等)

> 途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

MD再生中または一時停止中に操作してください。

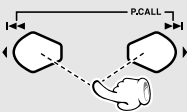
● "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 つなぎたい曲を再生する

(例)
トラック4とトラック5をつなぎたいときは、トラック5を再生します。

2 "COMBINE"を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを押す。

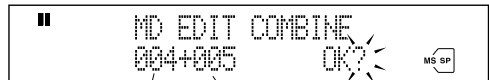
❷ ⏮、⏭キーを押して"COMBINE"を選ぶ。

❸ SETキーを押し、設定する。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。
● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

● 第1曲目再生中は、"COMBINE"を選択できません。

❸

● 現在再生中の曲と前の曲をつなぎます。

3 ENTERキーを押し曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

EDIT NOW　：編集中
COMPLETE　：編集完了
CAN'T EDIT　：編集不可能

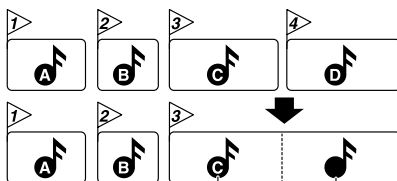
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめから再生します。
- グループ属性について
  結合して新しくできた曲は、結合時に最初に指定した曲のグループ属性と同じになります。

4 MDを取り出す（本体）

情報を書き込み中

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4.4.4 1曲またはMDの全曲を消す(ERASE)(リモコンのみ)

再生中に消したい曲を選び、その曲のみを消すことができます。また停止中には、ディスクの全曲または選んだ曲のみを消すことができます。

1曲を消したときは、その曲以降のトラック番号は調整されます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

再生中に1曲づつ消す

● "PGM"または"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 消したい曲を再生する

2 ⏮、⏭キーを押し"ERASE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーを押し"ERASE"を選ぶ。

❸ SETキーを押して設定する。

❶
● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。
● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

DIVIDE
COMBINE
ERASE
MOVE

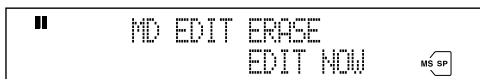
● 第1曲目再生中、"COMBINE"は表示されません。

❸

MD EDIT ERASE
005 TRACK OK?

消去するトラック番号

3 消去を実行する

ENTERキーを押して確定する。

MD EDIT ERASE
EDIT NOW

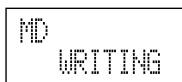
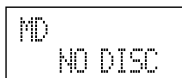
実行後の表示

EDIT NOW ：編集中
COMPLETE ：編集完了
CAN'T EDIT ：編集不可能

4 MDを取り出す(本体)

MD
WRITING

情報を書き込み中

MD
NO DISC

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

停止中にMDの全曲または1曲を消す

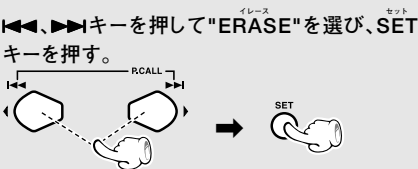
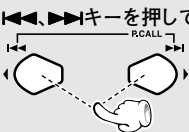
1 停止中を確認する

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

2 "ERASE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーで"TRACK"を選び、SETキーを押す。

❸ ⏮、⏭キーを押して"ERASE"を選び、SETキーを押す。

❶
- "PGM"または"🗀"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❸
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

COMBINE
ERASE
MOVE

3 消したい曲を選び消去する

❶ ⏮、⏭キーを押して消したい曲を選ぶ。

❷ SETキーを押し設定する。

❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示部が切り換わります。

ALL TRACKS ....MDの全曲を消去
001 TRACK 1トラック目を消去
002 TRACK 2トラック目を消去
⋮

消去するトラック番号

4 消去を実行する

ENTERキーを押して確定する。

- 選択した曲が消去される。
- グループ属性について
  消去後にグループ内に曲がなくなったときは、そのグループも消去されます。

5 MDを取り出す

情報を書き込み中

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

4.4.5 グループを登録する(GROUP START)(リモコンのみ)

連続した曲をグループとして登録することができます。(最大99グループ)

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。→40

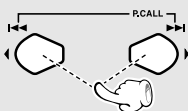
- "PGM"および"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮、⏭キーを押して"GROUP"を選ぶ。

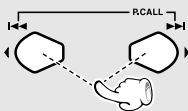
❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

GROUP
TRACK

❸ SETキーを押し、設定する。

❸
MD GROUP EDITが表示される

MD GROUP EDIT

2 "GROUP START"を選ぶ

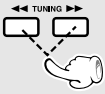
❶ ⏮、⏭キーを押して"GROUP START"を選ぶ。

❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

GROUP EDIT
GROUP START
GROUP CANCEL

- グループ登録されていないMDに始めて登録する場合、GROUP EDIT、GROUP CANCELは選択できません。手順2-❷に進んでください。

❷ SETキーを押し、設定する。

3 グループ登録したい曲を選ぶ

❶ |◀◀、▶▶|キーでグループ登録したい最初の曲番号を選ぶ。

❷ SETキーを押す。

❸ ❶、❷を繰り返し、グループ登録したい最後の曲番号を選ぶ。

❹ ENTERキーを押し、確定する。

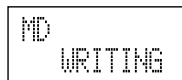
MD GROUP START
NEW 001-001

最初の曲番号の位置　最後の曲番号の位置

最初の曲番号の位置

最後の曲番号の位置

- "COMPLETE"と表示されグループが作られます。
- 曲番号なしのグループをつくることはできません。
- すでに他のグループに属している曲を選んで、SETキーを押します。

実行後の表示

EDIT NOW	：編集中
COMPLETE	：編集完了
CAN'T EDIT	：編集不可能

4 MDを取り出す（本体）

情報を書き込み中

MD
NO DISC

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

4.4.6 グループを解除する(GROUP CANCEL)(リモコンのみ)

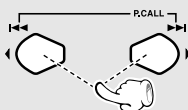
登録したグループを個別にまたは一括して解除することができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを "MD" にする。停止中に操作してください。→40

● "PGM"および"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーを押して"GROUP"を選ぶ。

❸ SETキーを押し、設定する。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

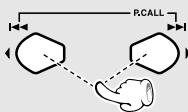
❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

1 TRACK
2 GROUP

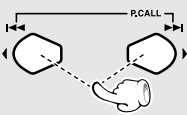
2 "GROUP CANCEL"を選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押して"GROUP CANCEL"を選ぶ。

❷ SET キーを押し、設定する。

❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

1 GROUP START
2 GROUP CANCEL
3 GROUP EDIT

3 解除したいグループを選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押して解除したいグループを選ぶ。

❷ SETキーを押し、設定する。

❸ ENTERキーを押し、確定する。

❶

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

- 1 GROUP:ALL .... 全てのグループを解除
- 2 GROUP01:012-020 .... 最初のグループ例
- 3 GROUP02:021-058 .... 次のグループ例

● 解除実行前に、確認のために"?"が点滅します。解除操作を中止するときは、もう一度ENTERキーを押す前にTRACK/EDITキーを押します。

4 MDを取り出す（本体）

情報を書き込み中

MDを排出

"WRITING"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

4.4.7 グループの範囲を変更する(GROUP EDIT)(リモコンのみ)

グループ登録されている曲を、別のグループに作り変えることができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。→40

● "PGM"および"□"表示が点灯しているときは編集できません。P.MODE/CHARAC.キーを繰り返し押して消灯してください。

1 グループ編集モードを選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

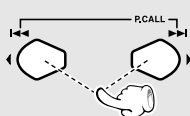
❷ ⏮、⏭キーを押して"GROUP"を選ぶ。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

1 TRACK
2 GROUP

❸ SETキーを押し、設定する。

2 "GROUP" EDITを選ぶ

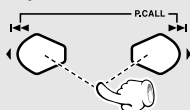
❶ ⏮、⏭キーを押して"GROUP EDIT"を選ぶ。

❶
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

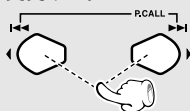
1 GROUP START
2 GROUP CANCEL
3 GROUP EDIT

❷ SETキーを押し、設定する。

3 グループ変更したい曲を選ぶ(リモコン)

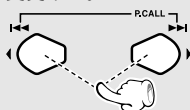
❶ ⏮、⏭キーを押して変更したいグループを選ぶ。

❷ SET(セット)キーを押し、設定する。

❸ ⏮、⏭キーを押してグループの最初の曲番号を変更する。

❹ SET(セット)キーを押し、設定する。

❺ ⏮、⏭キーを押してグループの最後の曲番号を変更する。

❻ SET(セット)キーを押し、設定する。

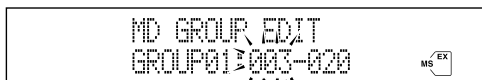
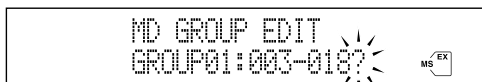
❼ ENTER(エンター)キーを押し、確定する。

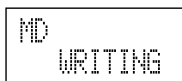
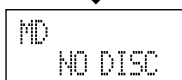
❶

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。
- GROUP01: 012-020 .... 最初のグループ例
- GROUP02: 021-058 .... 次ぎのグループ例

"012"から"003"に変更

❺

"020"から"018"に変更

❻

- 変更確認のために"?"が点滅します。変更操作を中止するときはENTER(エンター)キーを押す前にTRACK(トラック)/EDIT(エディット)キーを押します。
- "COMPLETE(コンプリート)"と表示され選択中のグループが解除されます。

4 MDを取り出す(本体)

情報を書き込み中

MDを排出

"WRITING(ライティング)"点滅表示中は、情報をMDに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。

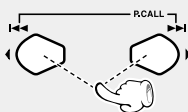
4.5 メモリースティックの編集機能 SJ-7MSのみ

4.5.1 曲順を1曲づつ入れ換える(MOVE)(リモコンのみ)

曲をお好みの位置へ移動(挿入)することができます。入れ換えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ換えることができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

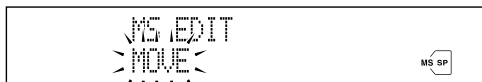
入力切り換えを"MS(メモリースティック)"にする。停止中に操作してください。→49

1 "MOVE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

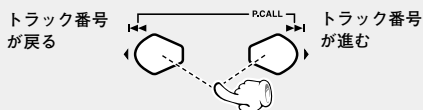
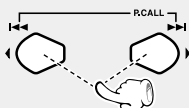
● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ ⏮、⏭キーを押して"MOVE"を選ぶ。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

① MOVE
② CONBINE
③ ERASE
④ FORMAT

❸ SETキーを押して設定する。

2 移動先を選ぶ

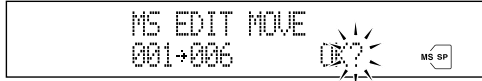
❶ ⏮、⏭キーを押して、移動したい曲(トラック番号)を選ぶ。

❷ SETキーを押して、設定する。

例:トラックNo.1をトラックNo.6とNo.7の間に移動する

選択した曲が現在どこにあるかを表示します。手順❶でトラック3を選んだときは002/1/004と表示され、トラック3がトラック002とトラック004の間にあることを表示します。

❸ ⏮、⏭キーを押して、移動先を選ぶ。

トラック006とトラック007の間に移動することを表示します。

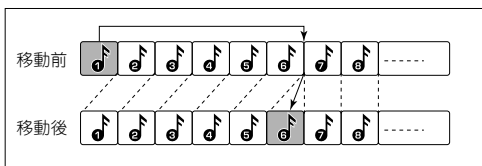
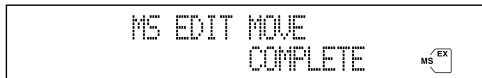
❹ SETキーを押して、設定する。

トラック001とトラック006の後に移動することを表示します。

- 上図の場合、移動後のトラック番号は次のようになります。
  No.1〜No.5のいづれかをNo.6とNo.7の間に移動した後は"006"になります。
  No.8以降のいづれかをNo.6とNo.7の間に移動した後は"007"になります。

4 応用編

3 確定する

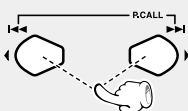
ENTERキーを押す。

MS EDIT MOVE
COMPLETE

4.5.2 曲を消す(ERASE)(リモコンのみ)

選んだ1曲のみを消す、全ての曲(ALL TRACKS)を消すことができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MS(メモリースティック)"にする。停止中に操作してください。→49

1 "ERASE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

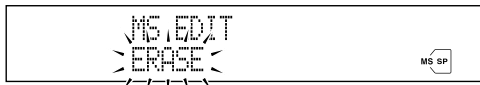
❷ ⏮、⏭キーを押し、"ERASE"を選ぶ。

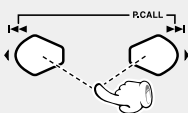
❸ SETキーを押して設定する。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

① MOVE
② CONBINE
③ ERASE
④ FORMAT

2 消去するトラックを選ぶ

❶ ⏮、⏭キーを押し、消去するトラックを選ぶ。
全曲を消去する時、"ALL TRACKS"を選ぶ。

❷ SETキーを押して設定する。

MS EDIT ERASE
ALL TRACKS

❶

⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

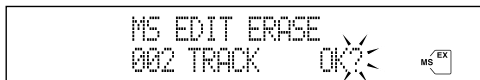
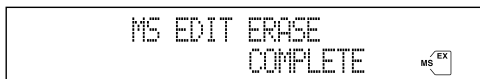
① ALL TRACKS
② 001 TRACK
③ 002 TRACK
⋮

トラック002を選んで消去する例

MS EDIT ERASE
002 TRACK OK?

3 確定する

ENTERキーを押す。

MS EDIT ERASE
COMPLETE

4.5.3 曲をつなぐ(COMBINE)(リモコンのみ)

2つの曲をつないで1つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
チェックアウトした曲(OpenMGで管理されている曲)は、DIVIDE機能・COMBINE機能は働きません。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MS(メモリースティック)"にする。 →49

1 つなぎたい曲を再生する

(例)
トラック4とトラック5をつなぎたいときは、トラック5を再生します。

2 "COMBINE"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーを押し、"COMBINE"を選ぶ。

❸ SETキーを押して設定する。

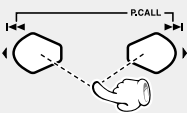
● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

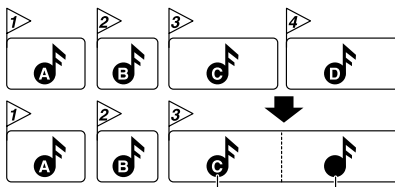
❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。
① MOVE
② DIVIDE
③ COMBINE
④ ERASE

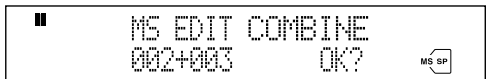
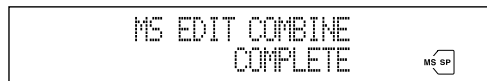
● 第1曲目再生中は、"COMBINE"を選択できません。

❸

3 ENTERキーを押し曲と曲の結合を実行する

MS EDIT COMBINE
COMPLETE
MS SP

曲をつなぐイメージ

3曲目と4曲目をつなぐ場合

トラック番号が調整される

前半部のタイトルが残る　後半部のトラック番号とタイトルは消える

4.5.4 曲を分ける(DIVIDE)(リモコンのみ)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
メモリースティックが最大録音時間いっぱいに曲を録音されているとき、DIVIDE機能は働きません。
チェックアウトした曲(OpenMGで管理されている曲)は、DIVIDE機能・COMBINE機能が働きません。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

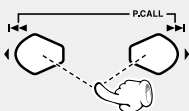
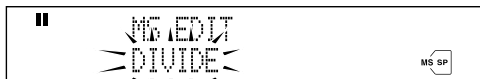
メモリースティック(MS)再生中または一時停止中に操作してください。→49

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所でTRACK EDITキーを押す

❶ TRACK EDITキーを押す。

● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

❷ ⏮、⏭キーを押し、"DIVIDE"を選ぶ。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。

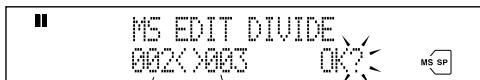
① DIVIDE
② CONBINE
③ ERASE
④ MOVE

● 第1曲目再生中、"COMBINE"は表示されません。

❸ SETキーを押し、設定する。

3 曲の分割を実行する

実行後の表示

EDIT NOW ：編集中
COMPLETE ：編集完了
CAN'T EDIT ：編集不可能

● 分割してできた曲間には、無音部分がありません。

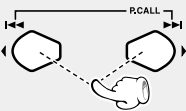
POINT 手順1～3を繰り返して、トラック番号を追加できます。

4.5.5 初期化する(FORMAT)(リモコンのみ)

本機でメモリースティックをフォーマット(初期化)することができます。
フォーマットすると、本機で記録したデータ以外のデータも全て消去されます。フォーマットする前に内容を確認してください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MS(メモリースティック)"にする。停止中に操作してください。→49

1 "FORMAT"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す。

❷ ⏮、⏭キーを押して"FORMAT"を選ぶ。

❸ SETキーを押して設定する。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷
⏮、⏭キーを押すたびに文字表示が切り換わります。
① MOVE
② CONBINE
③ ERASE
④ FORMAT

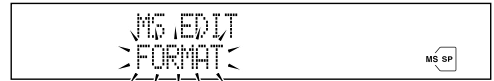
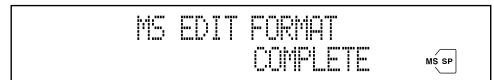
MS EDIT
FORMAT

❸

MS EDIT FORMAT
OK?

2 確定する

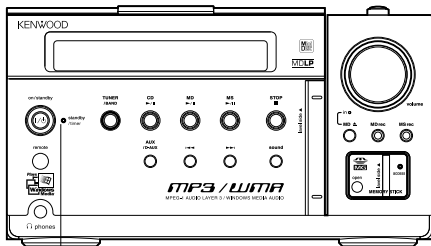
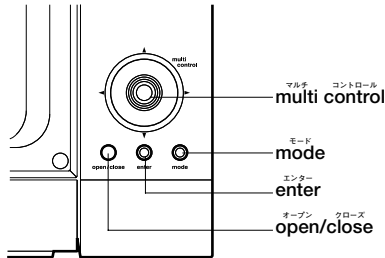
ENTERキーを押す。

MS EDIT FORMAT
COMPLETE

POINT

初期化(FORMAT)についてのご注意：

メモリースティックは、標準フォーマットとしてFATフォーマットで出荷されています。
初期化は、必ずメモリースティック専用機器で行ってください。付属以外のソフトウェアを使って初期化を行うと、"FORMAT ERROR"になり、本機で音楽を再生出来ないケースがあります。必ず、以下のいずれかの方法で初期化してください。

- 本機で初期化する。→133
- 付属ソフトウェアを使って初期化を行う。

4.6 タイマーを使う

standby/timer

multi control

mode

enter

open/close

CDの再生、MDの再生、メモリースティックの再生、ラジオ受信、MDへの録音、メモリースティックへの録音を、指定した時間帯に自動的に行い、さらにおやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEPタイマー、設定を保存して毎日働くタイマーがあります。

あらかじめ時刻合わせを済ませてから、タイマー設定を行ってください。 ➡20

4.6.1 タイマーで録音/再生する

本機では2種類のタイマー設定を登録することができます。(PROG.1、PROG.2)

- タイマー予約は、PROG.1とPROG.2を、同時に予約できます。
- PROG.1とPROG.2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

1 タイマー録音/再生をするときはあらかじめ準備しておく

- 録音側の準備をする

MD ➡57 〜 ➡58 **手順1〜3**

メモリースティック ➡62 〜 ➡63 **手順1〜3**

- タイマー録音は、ラジオ放送(**TUNER**)、外部デジタル/アナログ機器(**D-AUX**/**AUX**)からの録音ができます。

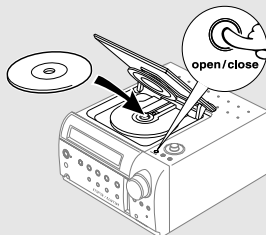
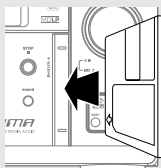
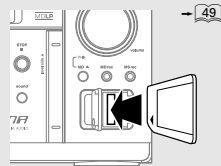
2 聴きたい、または録音したいソースを選ぶ。

- CD

ディスクをセットする ➡26

- MD

MDをセットする ➡40

- メモリースティック

メモリースティックをセットする ➡49

(SJ-7MS)

- ラジオ放送

放送局をプリセットしておく

➡53 ➡56

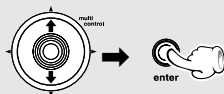
- 外部入力機器

AUX入力端子またはデジタル入力OPTICAL端子に接続された機器の再生、または録音の場合は"2.1.2 他の機器(別売品・市販品)との接続"を参照し接続を済ませて、外部機器のタイマー設定をする。

➡13 ➡14 ➡61

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3 タイマー予約モードにする

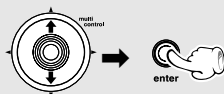
本体のみ

❶ mode(モード)キーを押す。

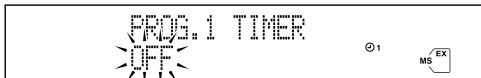
❷ multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作して"TIMER(タイマー) SET(セット)"を選びenter(エンター)キーを押す。

❸ multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作して、"PROG.1(プログラム)"を選び、enter(エンター)キーを押す。

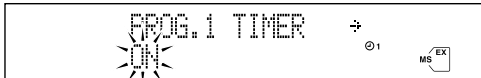
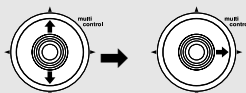
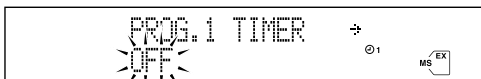
PROG.2(プログラム)に予約するときは、"PROG.2(プログラム)"を選択します。

❷ タイマーの選択

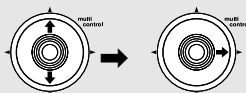
❸ PROG.1(プログラム)を選択

multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作するたびに文字表示が切り換ります。

① PROG.1(プログラム) .. PROG.1(プログラム)のタイマー設定をする
② PROG.2(プログラム) .. PROG.2(プログラム)のタイマー設定をする
③ SLEEP(スリープ) .... スリープタイマーの設定をする

- 間違えたときはmode(モード)キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわります。

4 タイマーをオンに設定する

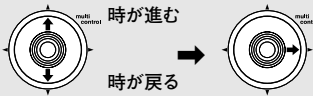
multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作して"ON" TIME(タイム)を選び、multi(マルチ) control(コントロール)キーを右に操作する。

- タイマーをオフに設定する場合は、"OFF"を選びenter(エンター)キーを押します。(毎日同時刻に働くタイマー設定を解除したり、タイマー設定を途中でやめるとき)

- 間違えたときはmode(モード)キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

5 タイマーの動作種類を設定する

multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作してタイマーの動作種類を選び、multi(マルチ) control(コントロール)キーを右に操作する。

multi(マルチ) control(コントロール)キーを上下に操作する押すたびに文字表示が切り換わります。

① ONETIME(ワンタイム) ..... 設定後1回だけタイマーが働きます。
② EVERYDAY(エブリデー) .. 設定に従って毎日働きます。

- 間違えたときはmode(モード)キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

6 オン時刻を設定する

❶ multi controlキーを上下に操作して"時"を設定し、multi controlキーを右に操作する。

時が進む

時が戻る

❷ multi controlキーを上下に操作して操作して"分"を設定し、multi controlキーを右に操作する。

分が進む

分が戻る

オン時刻

❶

❷

● 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

7 オフ時刻を設定する

❶ multi controlキーを上下に操作して"時"を設定し、multi controlキーを右に操作する。

時刻が進む

時刻が戻る

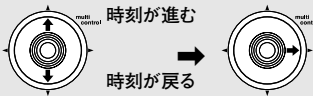
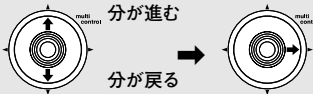
❷ multi controlキーを上下に操作して操作して"分"を設定し、multi controlキーを右に操作する。

分が進む

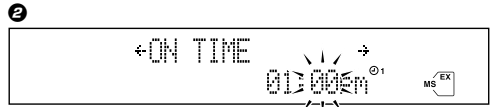
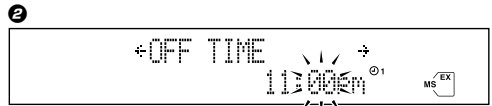
分が戻る

オフ時刻

❶

❷

● 間違えたときはmodeキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

8 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ multi controlキーを上下に操作してプレイモードを選ぶ。

① "PLAY"または"AI PLAY"を選ぶ。

PALY ......設定した音量のタイマー再生

REC

AI PLAY ...音量が設定値までだんだん大きくなるタイマー再生

② multi controlキーを右に操作する。

(次ページへ続く)

タイマー録音をするとき

❶ multi controlキーを上下に操作して録音モードを選ぶ。

① "REC"を選ぶ。

② multi controlキーを右に操作する。

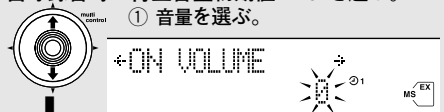
❷ multi controlキーを上下に操作して、深夜録音・留守録音時の再生音量初期値の"0"を選ぶ。

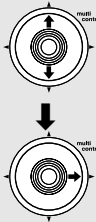
① 音量を選ぶ。

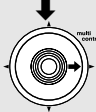
② multi controlキーを右に操作する。

(次ページへ続く)

4

応用編

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❷ multi controlキーを上下に操作して再生音量を選ぶ。

① 音量を選ぶ。

② multi controlキーを右に操作する。

AI PLAYを手順①で選択したときは、オン時刻になると徐々に音量が大きくなり、ここで設定した音量まで上がります。

❸ multi controlキーを上下に操作してソースを選ぶ。

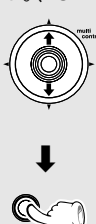
① 何を聴くか選ぶ。

- TUNER .... ラジオ放送
- D-AUX .... (外部デジタル機器)
- AUX .... (外部アナログ機器)
- MS .... メモリースティック(SJ-7MSのみ)
- MD .... MD
- CD .... CD、ファイナライズ処理済みCD-R/RW

PLAY SOURCE
TUNER

② multi controlキーを右に操作する。
TUNERを選択したとき以外は、enterキーを押し、タイマー予約設定を完了します。

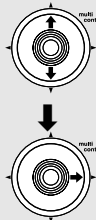
❹ multi controlキーを上下に操作して放送局を選ぶ。(TUNERを選択したときのみ)

① プリセットチャンネルを選ぶ

TUNER
FM P40 76.00MHz

② enterキーを押し、タイマー予約を完了します。

FM P40 76.00MHz
COMPLETE

タイマー録音をするとき

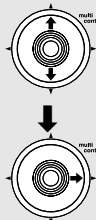
❸ multi controlキーを上下に操作してソースを選ぶ。

① 何を録音するか選ぶ。

- TUNER(ラジオ放送)
- D-AUX(外部デジタル機器)
- AUX(外部アナログ機器)

② multi controlキーを右に操作する。

- D-AUXを選んだとき、"DIGITAL UNLOCK"と表示された場合は、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。→146

"D-AUX"または"AUX"を選択したときは手順❺へ。

❹ multi controlキーを上下に操作して放送局を選ぶ。(TUNERを選択したとき)

① プリセットチャンネルを選ぶ。

② multi controlキーを右に操作する。

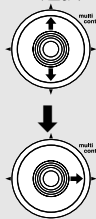
❺ SJ-7MS :
multi controlキーを上下に操作して録音する機器を選ぶ。

① 録音する機器を選ぶ。

- MD .... MDレコーダー
- MS .... メモリースティックレコーダー

② multi controlキーを右に操作する。

SJ-5WM/KF-7700 :
multi controlキーを右に操作する。手順❻へ進む。

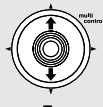
❻ multi controlキーを上下に操作して録音モードを選ぶ。
(MDを選択したとき)

①
- STEREO ..... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO .... モノラル録音モード

② enterキーを押し、タイマー予約設定を完了します。

- MD録音モードで"LP2"、"LP4"を選んだときのMDスタンプ機能は、現在設定されている状態で機能します。→48

(次ページへ続く)

タイマー録音をするとき

（メモリースティックを選択したとき）

① 1 LP（66kbs）
2 SP（105kbs）
3 EX（132kbs）

② enter（エンター）キーを押し、タイマー予約設定を完了します。

9 電源をオフ（スタンバイ）にする

タイマー設定が済んだら、電源がオフ（スタンバイ）にする

standby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーターが緑色に点灯し、タイマースタンバイ状態になります。

◎ standby /timer 点灯

- タイマーオン時間になると自動的に電源がオンし、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
  タイマーオフ時間になると自動的に電源がオフしスタンバイ状態になります。

- 以上でプログラムタイマー予約は終了です。
  PROG.2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順をおこなってください。

タイマーの実行を解除するには

手順1～4を行い、タイマーをオフに設定する

1 消灯

2 消灯

- 予約内容は記憶しています。

設定した内容のタイマーを再びセットする

手順1～4を行い、タイマーをオンに設定する

1 点灯

2 点灯

POINT

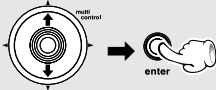
- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- タイマー設定後、電源がオフ（スタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、standby/timer（スタンバイ/タイマー）インジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →20
  停電があっても、プログラムされたタイマー予約は本機に記憶されています。

4.6.2 音楽を聴きながら眠る(SLEEPタイマー)(本体のみ)

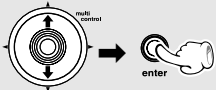
何分後に電源をオフ(スタンバイ)するか設定します。

CD、MD、メモリースティック再生中またはラジオ受信中などに操作します。

❶ modeキーを押す。

❷ multi controlキーを上下に操作して"TIMER SET"を選びenterキーを押す。

❸ multi controlキーを上下に操作して"SLEEP"を選び、enterキーを押す。

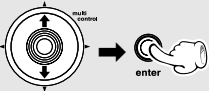
❸

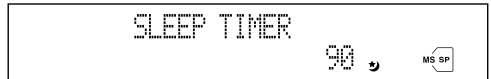
TIMER SELECT
SLEEP

❹ multi controlキーを上下に操作して時間を選び、enterキーを押す。

❹

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → OFF(解除)

SLEEP TIMER
90

- **設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。**

本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。(オートディマー機能)

解除するには

電源をオフ(スタンバイ)にするか、またはSLEEPキーを"OFF(解除)"になるまで繰り返し押す

POINT

- A.P.S.機能とPCコネクト機能動作について
  PCコネクト機能動作中、A.P.S.機能は、本機をPOWER OFFにしません。
- PCコネクト機能動作とタイマー動作について
  スリープタイマー動作
  　PCコネクト機能動作が始まると、スリープタイマーは"OFF"になります。
  プログラムタイマー・OFF動作
  　PCコネクト機能に切り換えますと、プログラムタイマーは一旦解除されます。

4.7 知っておきましょう

メンテナンス

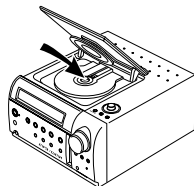
セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

レンズのお手入れ

レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブロワーなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

（SJ-7MS）

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. **電源をオンにします。**
2. **CDプレーヤー、MDレコーダー、メモリースティックから全てディスクを取り出します。**
   - **CD▶/II**、**MD▶/II**、**MS▶/II** を押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

   NO DISC　　NO STICK

3. **電源をオフにします。**
   - 電源がオフ（スタンバイ）になるまでは、電源プラグはコンセントから抜かないでください。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとしばらく保持しているメモリーの内容：
時計表示（5分間）

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

アンプ部
電源の状態（オンまたはスタンバイ）、ラストインプットセレクタ、ボリューム値、トーンコントロール値、AUXインプット値、オートパワーセーブの設定

チューナー部
受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO（オート）/MONO（モノラル）の設定、タイマーの設定内容

MDレコーダー部
録音モード、録音スピード

メモリースティック部
録音モード

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて

電源オフ（スタンバイ）あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（MD取り出し時に記録される）がMDに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずMDを取り出してください。

MD-Clip（クリップ）データについて

MD-Clip（クリップ）データ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clip（クリップ）のデータ内容が失われることがあります。

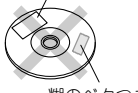
あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

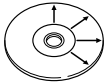
本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-G/CD-EG（CDグラフィックス）、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

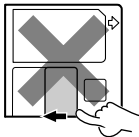
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

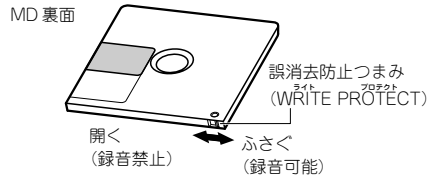
MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない
シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について
本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDをセットから取り出してください。

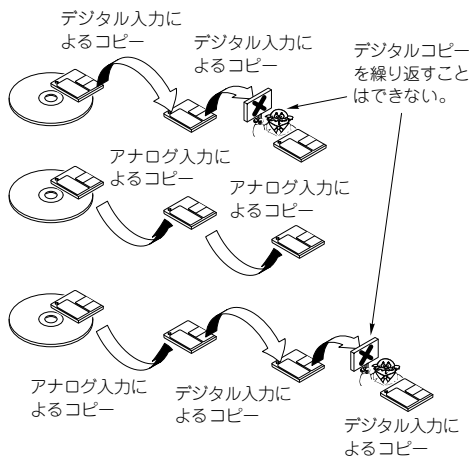
ディスクアクセサリーについて
レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた
定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ
録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて
ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。
社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

異常が起きた場合は

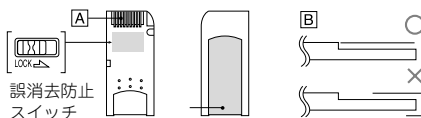
煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

修理のため、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口に、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。（スピーカーを除きます。）

メモリースティック使用上のご注意

- 端子部は、手や金属で触れないでください。A
- 誤消去防止スイッチは、「LOCK（ロック）」側にすると記録・消去ができなくなります。
- データの読み込み中・書き込み中に"メモリースティック"を抜かないでください。
- 下記の場合、記録したデータが破壊（消滅）されることがあります。
  - 読み込み中・書き込み中に"メモリースティック"を抜いたり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベルは、ラベル貼り付け部分から、はみ出さないように貼ってください。B
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解、改造しないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は故障の原因になります。避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

5.1 故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには（本体）

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、enter（エンター）キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "2.1 接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 →11 ● 音量を上げる。 ● MUTE（ミュート）をオフ（解除）にする。 →25 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。 →25
"standby/timer（スタンバイ/タイマー）"の表示が赤く点滅し，音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →12
"standby/timer（スタンバイ/タイマー）"の表示が緑色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →20
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →25
スピーカーの片側から音が出ない。	● 音量を上げる。 →24 ● "2.1 接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 →11 ● 左右のバランスを調整する。 →25
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →20
タイマーが作動しない。	● "時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 →20 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 →136 ● プログラムタイマー（◴1、◴2）表示を点灯させる。 →134～→138

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 ● 放送バンドを合わせる。 →53 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →53～→56
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、⏮、⏭キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →54～→56

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →19 ● 操作範囲内で操作する。 →19

CDプレーヤー部

症 状	処 置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 →141 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →141 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸発させる。 →140 ● CD-R/RWはファイナライズ処理をする。 →33
MP3／WMAファイル収録ディスクを再生するまでに時間がかかる。	● 故障ではありません。
音声が出ない。	● **CD ▶/II**キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →141
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →141 ● 振動のない場所に設置する。

MDレコーダー部(MD規格上の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"(ディスク フル)と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。 (トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) このとき、表示部の全体の残り時間表示は、**"0:00"**になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、表示部の全体の残り時間表示は、**" 0:00"**になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モード*2の曲同士はつなげません。 →118～→119
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間*3を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● アナログ録音時、録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"(リーディング)表示中の時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長くかかります。
タイトルが(1792文字)入らない。	● タイトルは1792文字入ります。タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。 →104

*1 録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):24秒(LP) LP4モードの場合:48秒
*2 STEREO(ステレオ録音モード)、LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)、LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)、MONO(モノラル録音モード)
*3 録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):4秒(LP) LP4モードの場合:8秒

MDレコーダー部（その他の症状）

症　状	処　置
MD ▶/❚❚キーを押しても音が出ない。	● 録音済みMDまたは再生用MDを入れて、MD ▶/❚❚キーを押す。→40
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なMDに取り換える。→141 ● AUX INPUT、REC GAIN、D-REC LEVELを調整する。→61 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。→58 ● "CAN'T COPY"と表示されたときは、デジタル録音できません。→142
AUX/D-AUX入力、音がひずむ。	● AUX INPUT、REC GAIN、D REC LEVELを調整する。→61
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
グループ登録されない。	次の場合、グループ登録操作は無効になります。 ● 99以上のグループ番号を指定した。 ● 255以上の曲番号をグループに登録しようとした。 ● MD上に存在しない曲番号をグループに登録しようとした。 ● すでにグループ登録されている曲を別のグループに登録しようとした。→122〜→127

メモリースティックトラブルシューティング

症状	原因	対処
メモリースティックの音が歪んでいる。	● 録音時のビットレートが低い。	● 高いビットレートを選んで、録音する。（付属ソフトウェア操作）
再生したら、急に音が止まった。	● メモリースティックの端子部が汚れている。	● メモリースティックを、数回抜き差しする。→49〜→50
再生期限付きの音楽データを再生出来ない。	● 日時が設定されていない。	● 現在日時を設定。→20
	● 有効期限外である。	● 有効期限外の場合、再生出来ません。
	● メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	● 「LOCK」をOFFにする。→142
	● RESTRICT設定が違う。	● RESTRICT設定を適切にする。モード設定操作。→51
タイトル欄に、空欄が表示される。	● 本機で使用できない文字が使用されている。	● 付属ソフトウェアを使って、本機使用可能な文字に置き換える。
メモリースティックが挿入できない。	● 裏表を逆に挿入している。	● 正しい方向に装着する。→49
他機器で使っていたメモリースティックが使えない。	● 汎用メモリースティックである。	● マジックゲート メモリースティック以外使えません。
	● パソコンなどでフォーマット（初期化）されている。	● 必要データをパソコン側に移し、本機でフォーマットし直す。→133
チェックアウト出来る曲が少ない。 録音できる時間が短い。	● メモリースティックに、音楽データ以外のデータが多く記録され、音楽データ記録に使用出来るメモリ容量が少なくなっている。	● 音楽データ以外をパソコン側に移し、音楽データを記録できるメモリ容量を増やす。→101〜→102

PCコネクト機能トラブルシューティング

症状	原因	対処
パソコン側が、接続を認識しない。	● USBコネクタが抜けている。	● 接続を確認する。 →13、→101〜→102
	● 付属ソフト"Mulia"がインストールされていない。	● インストールする。 →101〜→102
	● パソコン側の問題。	● パソコンを再起動する。
チェックアウト出来る曲が少ない。 録音できる時間が短い。	● メモリースティックに、音楽データ以外のデータが多く記録され、音楽データ記録に使用出来るメモリ容量が少なくなっている。	● 音楽データ以外をパソコン側に移し、音楽データを記録できるメモリ容量を増やす。P.147「メモリースティックから異常なデータを削除(Delete)するには」を参照ください。
パソコン接続時、ドライブが表示されるが、中身が見えない。	● メモリースティックが挿入されていない。	● メモリースティックを入れる。 →49
接続動作が不安定。	● USBハブ、USB延長ケーブルを使用している。	● USBハブ、USB延長ケーブルの使用をやめる。
modeキー、enterキー、POWER(I/⏻)キー以外を受けつけない。	―――	● PC DISCONNECTにする。 →102

5.1.1 メッセージ表示の一覧

共通

ディスプレイ表示	意　味	処　置
CAN'T COPY	● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● 本機に対応していないディスク、または入力信号である。	● アナログ録音に切り換えて録音する。 →59 →64 ● 故障ではありません。
READING	● TOC情報やその他のディスク情報を読んでいる。	● 故障ではありません。
WRITING	● 処理、設定などの各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
REC ERROR	● 録音中に不具合が発生した。	● 他のMDまたはメモリースティックに入れ換える。
CAN'T EDIT	● 長さが短かすぎる曲など、制限を越えて編集しようとしている。 ● メモリースティックにチェックアウトした曲をDIVIDEまたはCOMBINEしようとしている。	● 故障ではありません。
DIGITAL UNLOCK	● 外部デジタル機器が正しく接続されていない。	● **"2.1.2 他の機器(別売品・市販品)との接続"**をみて正しく接続する。 →13

CDプレーヤー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
NO DISC	● ディスクが入っていない。	● ディスクを入れる。 →26
CHECK DISC	● TOC情報が読めない。 ● ファイナライズしていないディスクを入れている。	● ディスクを入れ換える。 ● ファイナライズしたディスクを入れる。
PROTECTED FILE	● WMAファイル収録ディスクで著作権管理が有効に設定されているファイルを再生しようとしている。	● 故障ではありません。
WAIT xxMIN.	● 同じ曲を連続倍速録音しようとしている。	● 故障ではありません。 →68 →71

メモリースティックレコーダー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
NO STICK	● メモリースティックが挿入されていない。	● メモリースティックを挿入してください。
CAN'T PLAY	● 本機では再生できないファイル形式である。 ● 再生期限つきの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。	● 再生できないデータがある場合は、メモリースティックから削除する必要があります。詳しくは、「メモリースティックから異常なデータを削除(Delete)するには」 →147
	● 再生期限内の音楽データを再生できない。	● 時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。→20
	● 再生回数制限がある音楽データを再生時にメモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	● メモリースティックの誤消去防止スイッチをOFFにしてください。 →142
NO AUDIO	● マジックゲート メモリースティック以外のメモリースティックが挿入されている。	● マジックゲート メモリースティックが挿入されているか確認してください。 →49
	● 音楽データが入っていないマジックゲート メモリースティックが挿入されている。	● 音楽データの入っていないマジックゲート メモリースティックの場合は、付属ソフト"Mulia"を使って音楽データをチェックしてください。
ACCESS ERROR ATRAC ERROR MG ERROR TRACK ERROR	● データが破損している可能性がある。 ● データが破損している。	● メモリースティックを一度抜き差ししてみてください。 →64 ● チェックイン可能なデータをパソコン側に移し、本機でメモリースティックを初期化する。 →133
LOCKED	● メモリースティックの誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	● メモリースティックの誤消去防止スイッチをOFFにしてください。 →142
STICK FULL	● メモリースティックに録音可能エリアがない。	● 録音可能なメモリースティックを挿入してください。
TNO FULL	● 401曲目を録音しようとしている。	● 1枚のメモリースティックには401曲以上録音できません。 →110
TITLE FULL	● タイトル入力で81文字目を入力した。	● 入力できるタイトル文字数は80文字までです。 →110
FORMAT ERROR	● 本機で再生できないフォーマットのメモリースティックが挿入されている。(パソコンでフォーマットした場合など) ● データを改ざんした。	● チェックイン可能なデータをパソコン側に移し、本機でメモリースティックを初期化する。 →133
UNSUPPORTED MS	● 256MB以上のMG メモリースティックを挿入している。	● 本機が対応しているMG メモリースティックのメモリー容量は128MBです。
Watermark	● 音楽(データ)に埋め込まれた「電子透かし」情報により著作権管理が働き、録音動作を中止した。	●「電子透かし」で保護された曲は録音できません。

メモリースティックから異常なデータを削除(Delete)するには

「CAN'T PLAY」、「FORMAT ERROR」が表示された時は、メモリースティックの一部または全てのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

1. 本機をパソコンに接続し、付属ソフト"Mulia"のチェックイン/アウト画面を表示させる。(→101～→102)
2. データの異常の原因がはっきり分かっている場合(再生期限の過ぎたデータ等)は、付属ソフト"Mulia"のチェックイン/アウト画面で削除(Delete)する。
3. それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、付属ソフト"Mulia"のボタンを押して、チェックイン可能な全てのパソコンにチェックインする。
4. パソコンからはずして、本機のFORMATの操作でメモリースティックを初期化(FORMAT)する。(→133)

POINT

初期化(FORMAT)すると、本機以外でメモリースティックに記録したデータも削除されます。
他のデータも混在している場合は、対応器機でデータの中身を確認してからフォーマットしてください。

MDレコーダー部

ディスプレイ表示	意　味	処　置
NO DISC (ノー ディスク)	● MDが入っていない。	● MDを入れる。 →40
DISC FULL (ディスク フル)	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音可能なMDに入れ換える。 →57 ● 一枚のディスクには256曲以上録音できません。
BLANK DISC (ブランク ディスク)	● 何も録音されていないMDである。	● 再生するときは、録音済みのMDに入れ換える。 →40
NO TRACKS (ノー トラックス)	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
UTOC ERROR (ユートック エラー)	● UTOC(ユートック)*の内容が異常である。	● 他のMDに入れ換える。 →40
PROTECTED (プロテクテッド)	● MDが**"録音禁止"**されている。	● **"録音可能"**にする。 →141
PLAY ONLY (プレイ オンリー)	● 再生専用のMDである。	● 録音用MDと入れ換える。 →40
MECHA ERROR (メカ エラー)	● 機械的な不具合が発生した。 MDのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● MDを取り出して、入れなおす。 MDを入れ換える。 →40
TITLE FULL (タイトル フル)	● タイトル入力で81文字目を入力した。	● 入力できるタイトル、テキストは80文字までです。 →103 〜 →108

＊ UTOC .... TOC(トック)以外に録音用MDに特有な情報をUTOC(ユートック)と呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

5.2 保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書　(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：　修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話(　　　　　)　　　　-

5.3 区点コード表

区点コード表の検索のしかた

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	➡01600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								

区点コード表を使って、目的となる文字のコードを捜します。

(例)愛

1. 表から"愛"の文字を捜す。
2. 区点番号"01600"の行の6番目の文字であるので、区点番号"01606"をメモなどに控える。
3. "4.3 MD・メモリースティックのタイトル編集機能"を参照して、文字を入力する。 →103 〜 →110

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	00100			、	。	，	．	・	：	；	？
	00110	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	＼
	00120	ヾ	ヽ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	—
	00130	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
	00140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	00150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	00160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	00170	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	00180	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	00190	★	○	●	◎	◇					
	00200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	00210	→	←	↑	↓	〓					
英・数字	00310							０	１	２	３
	00320	４	５	６	７	８	９				
	00330				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
	00340	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
	00350	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
	00360						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
	00370	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	00380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
	00390	ｚ									
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	00400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	00410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	00420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	00430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	00440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	00450	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	00460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	00470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	00480	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	00500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	00510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	00520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	00530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	00540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	00550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	00560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	00570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	00580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ギリシャ	00600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	00610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	00620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	00630				α	β	γ	δ	ε	ξ	η
	00640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	00650	σ	τ	υ	φ	χ	φ	ω			
ロシア	00700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	00710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	00720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	00730	Ь	Э	Ю	Я						
	00740										а
	00750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	00760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	00770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	00780	ю	я								
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	01600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	01610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	01620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	01630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	01640	鞍	杏								
い	01640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	01650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	01660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	01670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	01680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	01690	引	飲	淫	胤	蔭					
	01700		院	陰	隠	韻	吋				
う	01700							右	宇	烏	羽
	01710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	01720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	01730	云	運	雲							
え	01730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	01740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	01750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	01760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	01770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	01780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	01780								於	汚	甥
	01790	凹	央	奥	往	応					
	01800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	01810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	01820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	01820									下	化
	01830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	01840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	01850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	01860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	01870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	01880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	01890	恢	懐	戒	拐	改					
	01900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	01910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	01920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	01930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	01940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	01950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	01960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	01970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	01980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	01990	噛	鴨	栢	茅	萱					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	02000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	02010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	02020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	02030	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	02040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	02050	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	02060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	02070	贋	雁	頑	顔	願					
き	02070						企	伎	危	喜	器
	02080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	02090	旗	既	期	棋	棄					
	02100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	02110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	02120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	02130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	02140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	02150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	02160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	02170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	02180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	02190	禦	魚	亨	享	京					
	02200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	02210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	02220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	02230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	02240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	02250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	02260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	02260										九
	02270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	02280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	02290	串	櫛	釧	屑	屈					
	02300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	02310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	02320	郡									
け	02320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	02330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	02340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	02350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	02360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	02370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	02380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	02390	建	憲	懸	拳	捲					
	02400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	02410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	02420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	02430	絃	舷	言	諺	限					
こ	02430						乎	個	古	呼	固
	02440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	02450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	02460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	02470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	02480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	02490	効	勾	厚	口	向					
	02500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	02510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	02520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	02530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	02540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	02550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	02560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	02570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	02580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	02590	忽	惚	骨	狛	込					
	02600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	02610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	02610										些
	02620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	02630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	02640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	02650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	02660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	02670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	02680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	02690	鮭	笹	匙	冊	刷					
	02700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	02710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	02720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	02730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	02730								仕	仔	伺
	02740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	02750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	02760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	02770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	02780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	02790	字	寺	慈	持	時					
	02800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	02810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	02820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	02830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	02840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	02850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	02860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	02870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	02880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	02890	綬	需	囚	収	周					
	02900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	02910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	02920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	02930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	02940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	02950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	02960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	02970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	02980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	02990	恕	鋤	除	傷	償					
	03000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	03010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	03020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	03030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	03040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	03050	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	03060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	03070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	03080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	03090	醸	錠	嘱	埴	飾					
	03100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	03110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	03120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	03130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	03140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	03150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	03150									笥	諏
	03160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	03170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	03180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	03190	椙	菅	頗	雀	裾					
	03200		澄	摺	寸						
せ	03200					世	瀬	畝	是	凄	制
	03210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	03220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	03230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	03240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	03250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	03260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	03270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	03280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	03290	煽	旋	穿	箭	線					
	03300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	03310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	03320	全	禅	繕	膳	糎					
そ	03320						噌	塑	岨	措	曾
	03330	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	03340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	03350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	03360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	03370	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	03380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	03390	霜	騒	像	増	憎					
	03400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	03410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	03420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	03430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	03440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	03450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	03460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	03470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	03480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	03490	諾	茸	凧	蛸	只					
	03500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	03510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	03520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	03530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	03540	暖	檀	段	男	談					
ち	03540						値	知	地	弛	恥
	03550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	03560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	03570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	03580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	03590	丁	兆	凋	喋	寵					
	03600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	03610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	03620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	03630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	03630								津	墜	椎
	03640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	03650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	03660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	03660							亭	低	停	偵
	03670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
て	03680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	03690	艇	訂	諦	蹄	逓					
	03700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	03710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	03720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	03730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	03730									兎	吐
	03740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	03750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	03760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	03770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	03780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	03790	答	筒	糖	統	到					
	03800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	03810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	03820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	03830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	03840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	03850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	03860	頓	呑	曇	鈍						
な	03860					奈	那	内	乍	凪	薙
	03870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	03880	軟	難	汝							
に	03880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	03890	虹	廿	日	乳	入					
	03900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	03900									濡	
ね	03900										禰
	03910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	03920	粘									
の	03920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	03930	脳	膿	農	覗	蚤					
は	03930						巴	把	播	覇	杷
	03940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	03950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	03960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	03970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	03980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	03990	爆	縛	莫	駁	麦					
	04000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	04010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	04020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	04030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	04040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	04050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひ	04050										匪
	04060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	04070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	04080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	04090	枇	毘	琵	眉	美					
	04100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	04110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	04120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	04130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	04140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	04150	敏	瓶								
ふ	04150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	04160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	04170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	04180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	04190	伏	副	復	幅	服					
	04200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	04210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	04220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	04220							丙	併	兵	塀
	04230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	04240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	04250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	04260	鞭									
ほ	04260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	04270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	04280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	04290	抱	捧	放	方	朋					
	04300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	04310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	04320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	04330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	04340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	04350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	04360	本	翻	凡	盆						
ま	04360					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	04370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	04380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	04390	繭	麿	万	慢	満					
	04400		漫	蔓							
み	04400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	04410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	04410										務
	04420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	04420										冥
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
め	04430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	04440	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	04440							摸	模	茂	妄
	04450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	04460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	04470	紋	門	匁							
や	04470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	04480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	04490	鑓									
ゆ	04490		愉	愈	油	癒					
	04500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	04510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	04520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	04520										予
	04530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	04540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	04550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	04560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	04560										羅
	04570	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	04580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	04580									利	吏
	04590	履	李	梨	理	璃					
	04600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	04610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	04620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	04630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	04640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	04650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	04660	瑠	塁	涙	累	類					
れ	04660						令	伶	例	冷	励
	04670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	04680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	04690	漣	煉	簾	練	聯					
	04700		蓮	連	錬						
ろ	04700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	04710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	04720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	04730	肋	録	論							
わ	04730				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	04740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	04750	碗	腕								
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一	04800		弌	丐	丕						
丨	04800					个	丱				
丶	04800							丶	丼		
丿	04800									丿	乂
	04810	乖	乘								
乙	04810			亂							
亅	04810				亅	豫	亊	舒			
二	04810								弍	于	亞
	04820	亟									
亠	04820		亠	亢	京	亳	亶				
人	04820							从	仍	仄	仆
	04830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	04840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
	04850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	04860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
	04870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	04880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
	04890	傀	傚	傅	傴	傲					
	04900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
	04910	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	04920	儡	儺	儷	儼	儻					
儿	04920						儿	兀	兒	兌	兔
	04930	兢	竸								
入	04930			兩	兪						
八	04930					兮	冀				
冂	04930							冂	囘	册	冉
	04940	冏	冑	冓	冕						
冖	04940					冖	冤	冦	冢	冩	冪
冫	04950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
几	04960	几	處	凩	凭	凰					
凵	04960						凵	凾			
刀	04960								刄	刋	刔
	04970	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	04980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
	04990	劒	剱	劈	劑	辨					
	05000		辧								
力	05000			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	05010	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸			
勹	05010								勹	匆	匈
	05020	甸	匍	匐	匏						
匕	05020					匕					
匚	05020						匚	匣	匯	匱	匳
匸	05030	匸	區								
十	05030			卆	卅	丗	卉	卍	凖		
卜	05030									卞	
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
卩	05030										卩
	05040	卮	夘	卻	卷						
厂	05040					厂	厖	厠	厦	厥	厮
	05050	厰									
厶	05050		厶	參	篡						
又	05050					雙	叟	曼	燮		
口	05050									叮	叨
	05060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
	05070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	05080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
	05090	咥	咬	哄	哈	咨					
	05100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
	05110	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	05120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
	05130	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	05140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
	05150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	05160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
	05170	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	05180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓		
囗	05180									囗	囮
	05190	囹	圀	囿	圄	圉					
	05200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	
土	05200										圦
	05210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	05220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
	05230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	05240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
	05250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	05260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟			
士	05260								壯	壺	壹
	05270	壻	壼	壽							
夂	05270				夂						
夊	05270					夊	夐				
夕	05270							夛	梦	夥	
大	05270										夬
	05280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
	05290	奢	奠	奧	奬	奩					
女	05300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
	05310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	05320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
	05330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	05340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
	05350	孀									
子	05350		孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子	05360	學	斈	孺							
宀	05360				宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	05370	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	05380	寳									
寸	05380		尅	將	專	對					
小	05380						尓	尠			
尢	05380								尢	尨	
尸	05380										尸
	05390	尹	屁	屆	屎	屓					
	05400		屐	屏	孱	屬					
屮	05400						屮				
山	05400							乢	屶	屹	岌
	05410	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	05420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
	05430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	05440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
	05450	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	05460	巓	巒	巖							
巛	05460				巛						
工	05460					巫					
已	05460						已	巵			
巾	05460								帋	帚	帙
	05470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	05480	幟	幢	幤	幇						
干	05480					幵	并				
幺	05480							幺	麼		
广	05480									广	庠
	05490	廁	廂	廈	廐	廏					
	05500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	05510	廬	廱	廳	廰						
廴	05510					廴	廸				
廾	05510							廾	弃	弉	彝
	05520	彜									
弋	05520		弋	弑							
弓	05520				弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
	05530	彎	弯								
彑	05530			彑	彖	彗	彙				
彡	05530							彡	彭		
彳	05530									彳	彷
	05540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
	05550	徠	徨	徭	徼						
	05550					忖	忻	忤	忸	忱	忝
心	05560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
	05570	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	05580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
心	05590	悁	悍	惧	悃	悚					
	05600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
	05610	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	05620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
	05630	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
	05640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
	05650	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
	05660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
	05670	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	05680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	
戈	05680										戈
	05690	戉	戍	戌	戔	戛					
	05700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳		
戶	05700									扁	
手	05700										扎
	05710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
	05720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
	05730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	05740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
	05750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	05760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
	05770	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	05780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
	05790	撓	撥	撩	撈	撼					
	05800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
	05810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
	05820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	
攴	05820										攴
	05830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
	05840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變			
斗	05840								斛	斟	
斤	05840										斫
	05850	斷									
方	05850		旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	
无	05850										无
	05860	旡									
日	05860		旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
	05870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	05880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
	05890	曁	暹	曉	暾	暼					
	05900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	
曰	05900										曰
	05910	曵	曷								
月	05910			朏	朖	朞	朦	朧	霸		
木	05910									朮	朿
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
木	05920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
	05930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
	05940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
	05950	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
	05960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
	05970	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	05980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
	05990	椢	椦	棡	椌	棍					
	06000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
	06010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
	06020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
	06030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
	06040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
	06050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	06060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
	06070	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	06080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
	06090	檍	檠	檄	檢	檣					
	06100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
	06110	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
	06120	欖	鬱	欟							
欠	06120				欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
	06130	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡			
止	06130								歸		
歹	06130									歹	歿
	06140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
	06150	殯	殲	殱							
殳	06150				殳	殷	殼	毆			
毋	06150								毋	毓	
毛	06150										毟
	06160	毬	毫	毳	毯	麾	氈				
氏	06160							氓			
气	06160								气	氛	氤
	06170	氣									
水	06170		汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	06180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
	06190	泅	泝	沮	沱	沾					
	06200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
	06210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
	06220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
	06230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
	06240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
	06250	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
	06260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
	06270	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	06280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
	06290	滲	漱	滯	漲	滌					
	06300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
	06310	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
	06320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
	06330	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
	06340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
	06350	瀲	灑	灣							
火	06350				炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
	06360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
	06370	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	06380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
	06390	燠	燬	燧	燵	燼					
	06400		燹	燿	爍	爐	爛	爨			
爪	06400								爭	爬	爰
	06410	爲									
爻	06410		爻	爼							
爿	06410				爿	牀	牆				
片	06410							牋	牘		
牛	06410									牴	牾
	06420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧			
犬	06420								犹	犲	狃
	06430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
	06440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
	06450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
	06460	獺									
玉	06460		珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
	06470	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	06480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
	06490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
瓜	06500		瓠	瓣							
瓦	06500				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
	06510	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	
甘	06510										甞
生	06520	甦									
用	06520		甬								
田	06520			甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
	06530	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
	06540	疊	疉	疂							
疒	06540				疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
	06550	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
	06560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
	06570	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	06580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
	06590	癩	癪	癧	癬	癰					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
疒	06600		癲								
癶	06600			癶	癸	發					
白	06600						皀	皃	皈	皋	皎
	06610	皖	皓	皙	皚						
皮	06610					皰	皴	皸	皹	皺	
皿	06610										盂
	06620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	
目	06620										盻
	06630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
	06640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
	06650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
	06660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚				
矛	06660							矜			
矢	06660								矣	矮	
石	06660										矼
	06670	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
	06680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
	06690	碾	碼	磅	磊	磬					
	06700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
	06710	礫									
示	06710		祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
	06720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳			
禸	06720								禹	禺	
禾	06720										秉
	06730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
	06740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
	06750	穢	穩	龝	穰						
穴	06750					穹	穽	窈	窗	窕	窘
	06760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
	06770	竊									
立	06770		竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	06780	竦	竭	竰							
竹	06780				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
	06790	笞	笵	笨	笶	筐					
	06800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
	06810	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
	06820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
	06830	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
	06840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
	06850	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
	06860	籘	籟	籤	籖	籥	籬				
米	06860							籵	粃	粐	粤
	06870	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
	06880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
	06890	糲	糴	糶							
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
糸	06890				糺	紆					
	06900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
	06910	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
	06920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
	06930	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
	06940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
	06950	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
	06960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
	06970	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	06980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
	06990	纎	纛	纜							
缶	06990				缸	缺					
	07000		罅	罌	罍	罎	罐				
网	07000							网	罕	罔	罘
	07010	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
	07020	羇									
羊	07020		羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
	07030	羮	羶	羸	譱						
羽	07030					翅	翆	翊	翕	翔	翡
	07040	翦	翩	翳	翹	飜					
老	07040						耆	耄	耋		
耒	07040									耒	耘
	07050	耙	耜	耡	耨						
耳	07050					耿	耻	聊	聆	聒	聘
	07060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
聿	07070	聿	肄	肆	肅						
肉	07070					肛	肓	肚	肭	冐	肬
	07080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
	07090	脛	脩	脣	脯	腋					
	07100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
	07110	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
	07120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
	07130	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
	07140	臠									
臣	07140		臧								
至	07140			臺	臻						
臼	07140					臾	舁	舂	舅	與	舊
舌	07150	舍	舐	舖							
舟	07150				舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
	07160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	
艮	07160										艱
色	07170	艷									
艸	07170		艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	07180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
	07190	苞	茆	苜	茉	苙					
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
艸	07200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
	07210	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
	07220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
	07230	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
	07240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
	07250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
	07260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
	07270	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	07280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
	07290	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
	07300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
	07310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
	07320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
	07330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
虍	07340	虍	乕	虔	號	虧					
虫	07340						虱	蚓	蚣	蚩	蚪
	07350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
	07360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
	07370	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	07380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
	07390	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
	07400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
	07410	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
	07420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
	07430	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
血	07440	衄	衂								
行	07440			衒	衙	衞	衢				
衣	07440							衫	袁	衾	袞
	07450	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
	07460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
	07470	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	07480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
	07490	褸	襌	褝	襠	襞					
	07500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷		
襾	07500									襾	覃
	07510	覈	覊								
見	07510			覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
	07520	覺	覽	覿	觀						
角	07520					觚	觜	觝	觧	觴	觸
言	07530	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
	07540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
	07550	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	07560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
	07570	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	07580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
言	07590	證	譖	譛	譚	譫					
	07600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
	07610	讓	讖	讙	讚						
谷	07610					谺	豁	谿			
豆	07610								豈	豌	豎
	07620	豐									
豕	07620		豕	豢	豬						
豸	07620					豸	豺	貂	貉	貅	貊
	07630	貍	貎	貔	豼	貘					
貝	07630						戝	貭	貪	貽	貲
	07640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
	07650	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
	07660	賍	贔	贖							
赤	07660				赧	赭					
走	07660						赱	赳	趁	趙	
足	07660										跂
	07670	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	07680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
	07690	蹂	踵	踰	踴	蹊					
	07700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
	07710	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
	07720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡			
身	07720								躬	躰	軆
	07730	躱	躾	軅	軈						
車	07730					軋	軛	軣	軼	軻	軫
	07740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
	07750	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
	07760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤			
辛	07760								辜	辟	辣
	07770	辭	辯								
辶	07770			辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
	07780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
	07790	逧	逶	逵	逹	迸					
	07800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
	07810	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
	07820	邊	邉	邏							
邑	07820				邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
	07830	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰				
酉	07830							酊	酖	酘	酣
	07840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
	07850	醪	醵	醴	醺	釀	釁				
釆	07850							釉	釋		
里	07850									釐	
金	07850										釖
	07860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金	07870	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	07880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
	07890	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
	07900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
	07910	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
	07920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
	07930	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
	07940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
	07950	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿			
門	07950								門	閂	閊
	07960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
	07970	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	07980	關	闡	闥	闢						
阜	07980					阡	阨	阮	阯	陂	陌
	07990	陏	陋	陷	陜	陞					
	08000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
	08010	險	隧	隱	隲	隰	隴				
隶	08010							隶	隸		
隹	08010									隹	雎
	08020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕			
雨	08020								雹	霄	霆
	08030	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
	08040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉		
青	08040									靜	
非	08040										靠
面	08050	靤	靦	靨							
革	08050				勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
	08060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
	08070	鞴	韃	韆	韈						
韋	08070					韋	韜				
韭	08070							韭	齏	韲	
音	08070										竟
	08080	韶	韵								
頁	08080			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
	08090	顏	顋	顫	顯	顰					
	08100		顱	顴	顳						
風	08100					颪	颯	颱	颶	飄	飃
	08110	飆									
食	08110		飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
	08120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
首	08130	饐	饋	饑	饒	饌	饕				
香	08130							馗	馘		
馬	08130									馥	
	08130										馭
	08140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
馬	08150	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
	08160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
	08170	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	08170							骭	骰	骼	髀
	08180	髏	髑	髓	體						
高	08180					髞					
髟	08180						髟	髢	髣	髦	髯
	08190	髫	髮	髴	髱	髷					
	08200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣		
鬥	08200									鬥	鬧
	08210	鬨	鬩	鬪	鬮						
鬯	08210					鬯					
鬲	08210						鬲				
鬼	08210							魄	魃	魏	魍
	08220	魎	魑	魘							
魚	08220				魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
	08230	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
	08240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
	08250	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
	08260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
	08270	鱠	鱧	鱶	鱸						
鳥	08270					鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
	08280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
	08290	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
	08300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
	08310	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
	08320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
	08330	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞					
鹵	08330						鹵	鹹	鹽		
鹿	08330									麁	麈
	08340	麋	麌	麒	麕	麑	麝				
麥	08340							麥	麩	麸	麪
	08350	麭									
麻	08350		靡								
黄	08350			黌							
黎	08350				黎	黏	黐				
黒	08350							黔	黜	點	黝
	08360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷			
黹	08360								黹	黻	黼
黽	08370	黽	黿	鼈							
鼓	08370				鼓	鼕					
鼠	08370						鼡	鼬			
鼻	08370								鼾		
齊	08370									齊	
齒	08370										齒
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
齒	08380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
	08390	齲	齶								
	08390			龕							
龍	08390				龜						
龜	08390					龠					
龠	08400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
区分	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

5.4 定格

本体部

[アンプ部]
実用最大出力(EIAJ規格) .... 25 W + 25 W / 6 Ω
スーパーウーファープリアウト .... 2 V / 10 kΩ
入力感度/インピーダンス
AUX .... 400 mV / 33 kΩ
出力レベル/インピーダンス
REC OUT .... 1.2 V / 10 kΩ
周波数特性
AUX .... 50 Hz〜50 kHz(0 dB, -3 dB)

[チューナー部]
FMチューナー部
受信周波数範囲............................. 76 MHz〜90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
受信周波数範囲......................... 531 kHz〜1,629 kHz

[MDレコーダー／プレーヤー部]
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
回転数............................... 400 rpm〜900 rpm(CLV)
音声圧縮方式 .... ATRAC
D/Aコンバーター ....20 ビット
ワウ・フラッター(EIAJ規格) .... 測定限界以下
デジタル入力　オプチカル .... -15 dBm〜-24 dBm
(発光波長660 nm)

[CDプレーヤー部]
読み取り方式 ....非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
D/Aコンバーター .... 1 ビット
サンプリング周波数.................................... 44.1 kHz
周波数特性(JEITA) .... 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター(JEITA) .... 測定限界以下

[マジックゲート メモリースティックレコーダー／
プレーヤー部] (SJ-7MSのみ)
音声圧縮方式 ATRAC3
ビットレート .... 132 k/105 k/66 k bps
音声圧縮方式 ATRAC3
D/Aコンバーター .... 16 ビット
サンプリング周波数.................................... 44.1 kHz
周波数特性(EIAJ規格) .... 20 Hz〜20,000 Hz
ワウ・フラッター(EIAJ規格) .... 測定限界以下

[電源部・その他]
電源電圧・電源周波数 .... AC 100 V, 50 Hz/60 Hz
定格消費電力(電気用品安全法に基づく表示) ...... 52 W
最大外形寸法 ....幅　240 mm
高さ　136 mm
奥行　328 mm
質量(重量) (正味)
SJ-5WM/KF-7700 4.86 kg
SJ-7MS 4.92 kg

スピーカー部

エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
ウーファー .... 120 mm
ツイーター .... 25 mmドーム型
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力... 30 W
最大外形寸法　.................................. 幅　150 mm
高さ　285 mm
奥行　222 mm
質量(重量) .... 2.5 kg(1本)

POINT
1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(水が凍るような)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

付属アプリケーション"Mulia"での著作権保護による制限事項

付属アプリケーション"Mulia"は、音楽コンテンツの著作権保護の仕組みとして開発された著作権保護技術「OpenMG」を採用しています。「OpenMG」は、著作権保護されてデータをパソコンで取り扱うために、SDMIの取り決めに従って高度な暗号化技術を用いています。
御使用いただくとき、以下のような制限事項が有ります。御了承ください。

- 付属アプリケーション "Mulia"を用いてパソコンのハードディスクに入れられた音楽は、他のパソコンにコピーしても再生することは出来ません。
- パソコンから外部機器又はメディアに転送(check out)した音楽データは、そのデータを他のパソコン等にコピーしても再生出来ません。
- 外部機器又はメディアに転送(check out)した音楽データは、転送元であるパソコン以外に転送(check in)することは出来ません。
- 複数のパソコンに同一の付属アプリケーション"Mulia"をインストールすることは出来ません。
- 付属アプリケーション "Mulia"は、SDMIの取り決めにより、コピー禁止信号が埋め込まれている音楽データを取り扱うことは出来ません。
- 著作権者やサービス事業者の意志により、音楽データに、利用方法に関する利用条件(Usage Rule)が付加される場合が有ります。その条件に沿った操作のみが可能になります。
- 音楽CD等で利用条件が付加されていないとき、SDMIの基本ルール(Default Usage Rule)に沿った操作のみが可能です。この基本ルールでは、「一つの音楽データにつき、check out制限回数は3回まで」となっています。
- 付属アプリケーション "Mulia"は、SDMIの取り決めに基づいて作られています。将来この規定が改訂される場合、改訂内容によっては、一部の機能が使えなくなる可能性が有ります。

SDMI (Secure Digital Music Initiative)
全世界に共通して使用できる著作権保護技術の統一方式を開発するために、約130以上の企業·団体がレコード業界·コンピュータ業界·民生エレクトロニクス業界などから集まり構成されたフォーラムです。音楽ファイルの違法な使用を阻止し、合法的な音楽配信サービスを促進するための枠組み作りを行っています。

- OpenMGおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MagicGate Memory Stick(マジックゲート メモリースティック)および　は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick(メモリースティック)および　は、ソニー株式会社の商標です。
- MagicGate(マジックゲート)および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。

Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDB®, copyright 1999, 2000, 2001 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software, copyright 1999, 2000, 2001 CDDB, Inc. U.S. Patents Numbers #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, and other patents issued or pending.

CDDB is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and the Gracenote CDDB logo are trademarks of Gracenote. Music Recognition Service and MRS are service marks of Gracenote.

Gracenoteとは、CDCB, Inc.であり、Gracenoteとして(d/b/a『Gracenote』)営業しています。CD関連データはGracenote CDDB(R)のものです。版権1999、2000、2001、Gracenote。
Gracenote CDDBクライアントソフトウェア版権1999、2000、2001 CDDB, Inc.。米国特許番号#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773。他の特許も取得済または申請中。
CDDBはGracenoteの登録商標です。GracenoteロゴとGracenote CDDBロゴは、Gracenoteの商標です。Music Recognition Service(音楽認識サービス)とMRSはGracenoteのサービスマークです。
音楽認識技術とMeta-Databaseは、GracenoteとThe Gracenote CDDB Music Recognition Serviceによって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連コンテンツ配信分野での業界標準です。
詳しいことについては、Webサイト"www.gracenote.com."を閲覧ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話(03) 3477-5335　FAX(03) 3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話(06) 6394-8085　FAX(06) 6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。